

会津若松市斎場 新築工事 設計図

電気設備工事



福島県電気設備工事仕様書 (昭和61年版)

I. 工事概要

1. 工事場所 会津若松市 郡 門田 大字 黒岩 字 石尾 4833 地内

2. 建物概要

Table with columns: 建物名称, 構造, 階数, 延べ面積 (㎡), 消防法施行令別表第一による用途区分, 備考. Row 1: 倉庫, RC, 2, 1003.5575, 15.

3. 工事種目 (◎印のついたものを適用する。)

Table with columns: 工事種目, 工事種別, 工事区分. Lists various electrical and plumbing items like lighting, power, and communication equipment.

II. 工事仕様

1. 共通仕様

図面及び特記仕様に記載されていない事項は「建設省住宅局監修公共住宅建設工事共通仕様書電気編(昭和60年版)」(以下「公共住宅共通仕様書」と言う)及び「建設大臣官房官庁営繕部監修電気設備工事共通仕様書(昭和60年版)」(以下「営繕共通仕様書」と言う)による。

2. 特記仕様

本仕様の取扱いについては次による。

- (1) 章・項目は番号に○印のついたものを適用する。
(2) 特記事項は◎印または文字に○印をつけたものあるいは書込みのあるものを適用する。
(4) ◎印のない場合は※印を付けたものを適用する。
(4) ◎印と◎印を付けた場合はともに適用する。
(3) 特記事項に記載の()内表示記号で(住○○○)と表示されているものは、「公共住宅共通仕様書」の(章・節・項)を示し、(営○○○○)と表示されているものは、「営繕共通仕様書」の(編・章・節・項)を示す。なお(住総○○○)と表示されているものは、「公共住宅共通仕様書の総則編」(住建○○○)と表示されているものは建築編を示す。

Table with columns: 章, 項目, 特記事項. Lists specific standards and manuals for electrical equipment.

Design drawings and priority items section. Includes items 2-20 such as design drawings, materials, site preparation, waste handling, safety, and completion drawings. Includes a table for ground electrode types and positions.

General items section. Includes items 21-27 for color, signage, and materials, and items 28-15 for electrical and lighting specifications. Includes a table for lighting fixture types and suspension bolts.

Table with 3 columns: Item No., Description, and Specification. Includes sections for lighting fixtures (16-18), motors (19-21), and power lines (22-24).

Table with 3 columns: Item No., Description, and Specification. Includes sections for electrical methods (25-27), transformers (28-30), and power distribution (31-33).

Table with 3 columns: Item No., Description, and Specification. Includes sections for power equipment (34-36), audio equipment (37-39), and display equipment (40-42).

Table with 2 columns: Item No. and Specification. Includes sections for 13 インターホン設備, 14 電気設備, 15 住宅情報設備, 16 テレビ共同受信設備, 17 自動火災報知設備, and 18 自動閉鎖設備. Specifications include communication methods, power sources, and equipment types.

Table with 2 columns: Item No. and Specification. Includes sections for 19 構内交換設備, 20 中央監視制御設備, and 21 外灯設備. Specifications cover system configurations, management targets, and lighting requirements.

注1 機器取付高

Table of equipment installation heights. Columns include equipment name, measurement point, and height (mm). Lists various electrical and communication devices with their respective mounting heights.

注2 電線の色別

ビニル電線を使用するときは、原則として下記のとおり電線を色別する。空配管にはビニル被覆鉄線(心線1.2mm)を入れる。

(イ) 電力設備

Table of wire color codes for power equipment. Columns: Voltage type, Wiring method, Grounding method, and Voltage side. Lists color codes for high, low, and DC voltage systems.

【備考】接地線は、緑又は緑/黄

(ロ) 通信設備

Table of wire color codes for communication equipment. Columns: Equipment name and Color. Lists color codes for time clocks, displays, intercoms, and fire alarm systems.

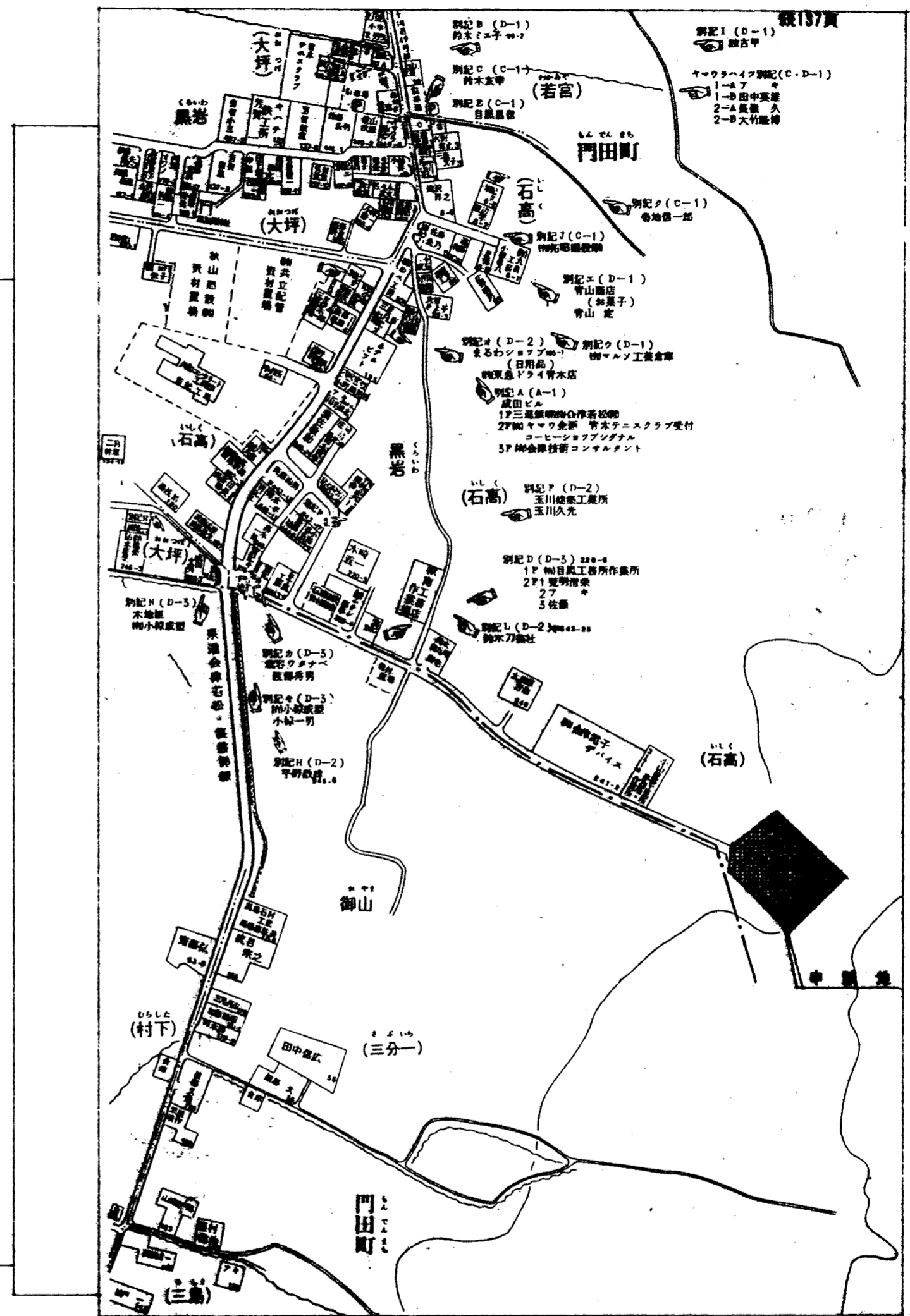
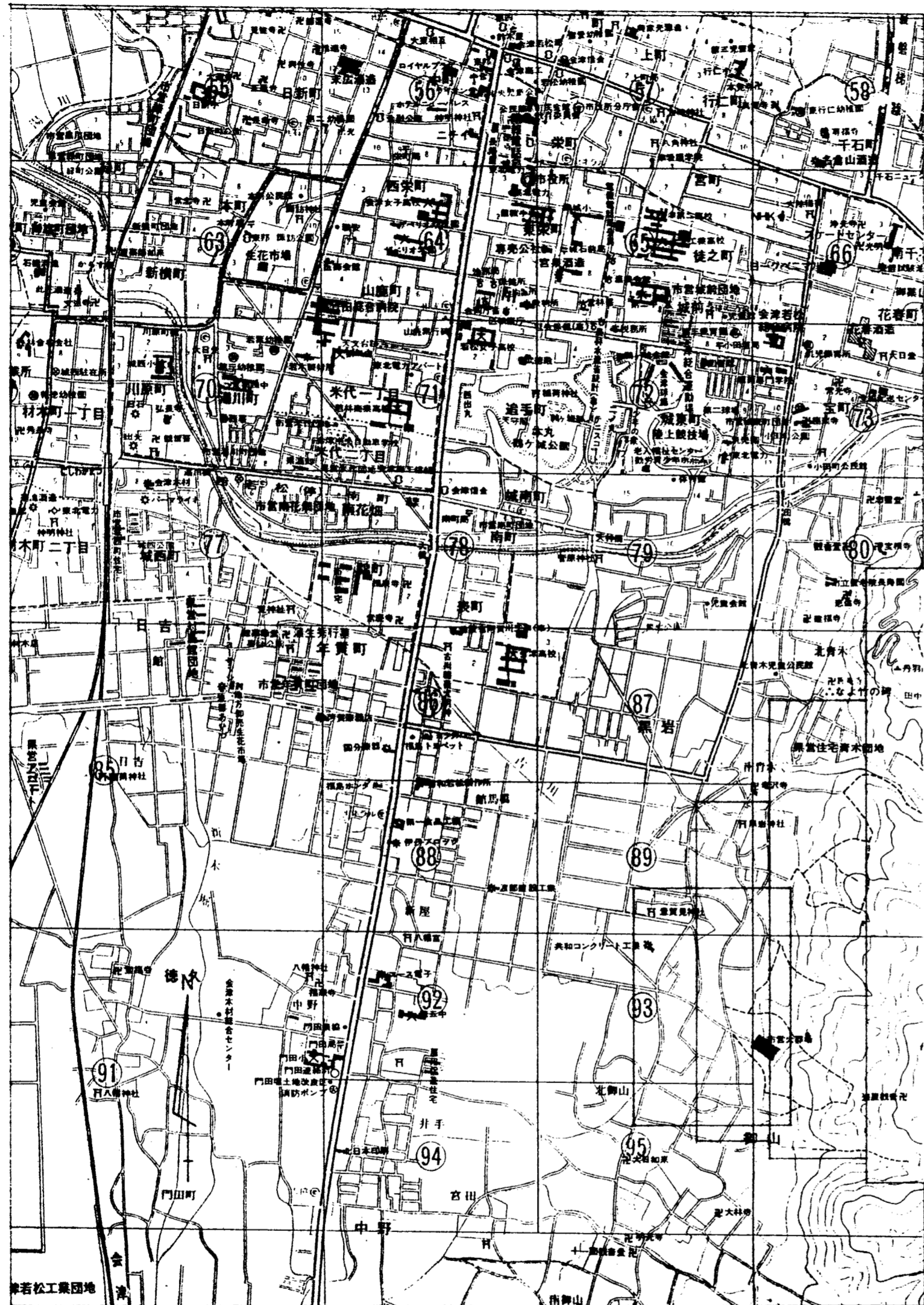
【備考】()内の色は、マイナス側または共通側を示す。

5. 工事範囲

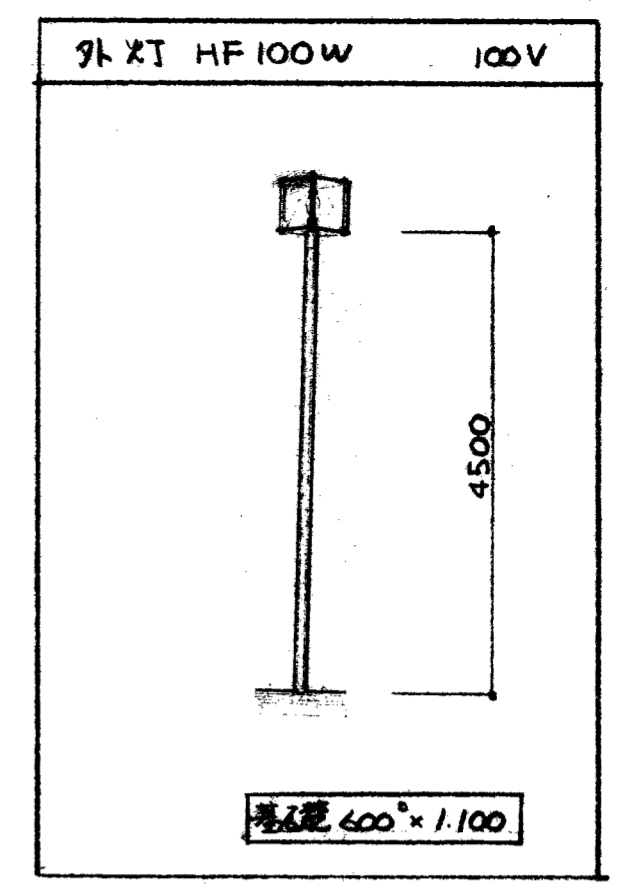
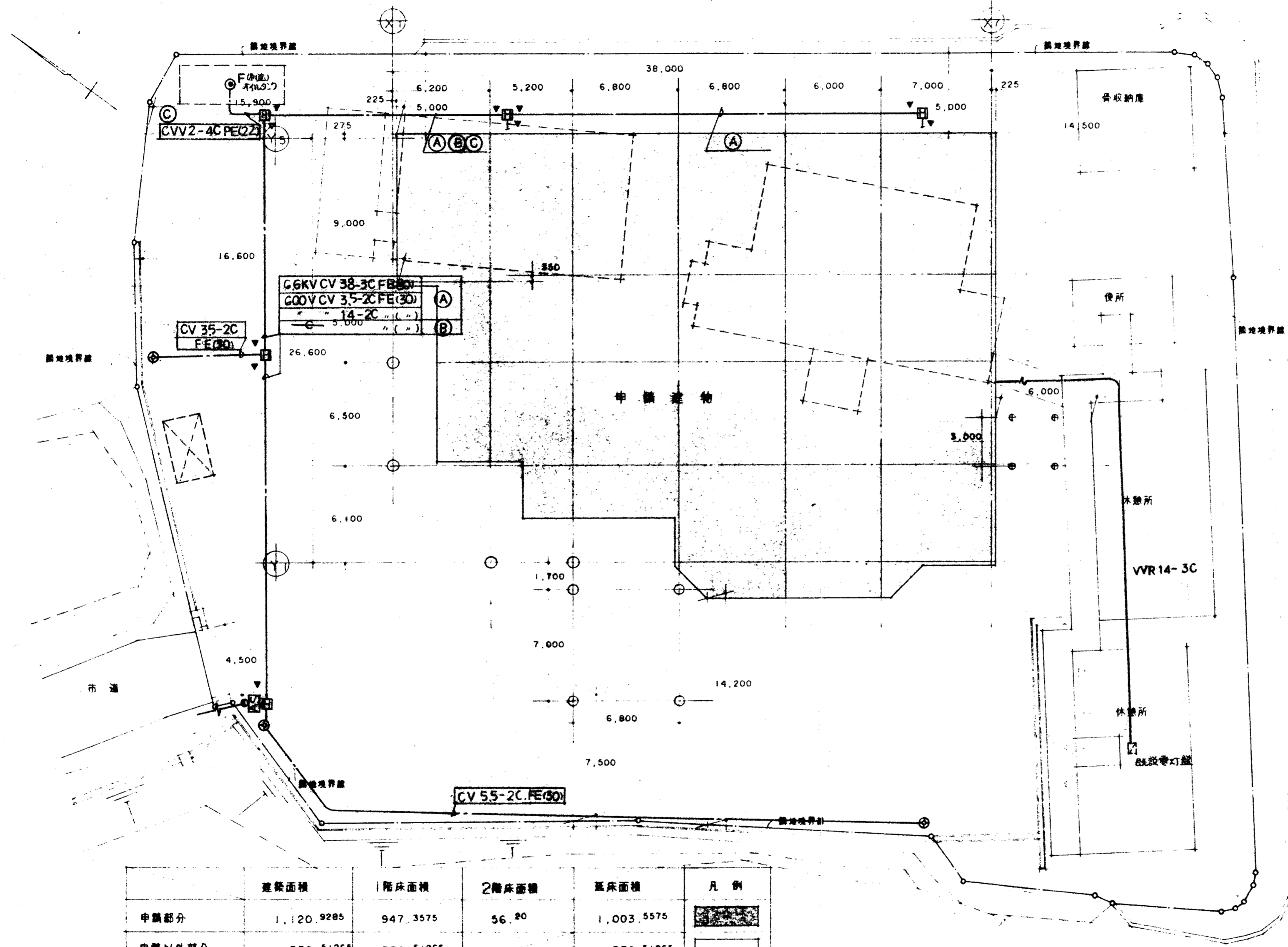
種別	有		備考
	含む	別途	
電気	受変電	○	
	自家発電	○	
	蓄電池		
	非常照明誘導灯	○	
	電灯・コンセント	○	
	照明器具	○	
	避雷針	○	
	インターホン		
	拡声	○	
	電気時計		
	表示管制		
	テレビ・ラジオ共同受信	○	
給排水衛生	給湯		
	排水・通気		
	衛生器具		
	消火栓		
	ガス		
	し尿浄化槽		
冷暖房	空調		
	暖房		
	冷房		
昇降機	エレベーター		
	ダムウエーター		
準備	敷地造成		
	既存物件の処理		
	擁壁		
	道路補償		
仕上	可動間仕切		
	造付家具		
外構	カーテンボックス		
	造園		
	構内施設		
その他	外灯		
	屋外排水		
	駐車場設備		
	シャッター		
	自動ドア		
	エアーカーテン		
	非常用救助袋		
	移動家具		
	その他の備品		
	カーテン類		
	カーペット類		
	マット類		
	ダストシュート		
	郵便受		
	靴洗器具		
表示板文字			
掲示板			
装飾物			

6. 建築・機械電気各工事の分担区分表
(※適用欄○印が該当する)

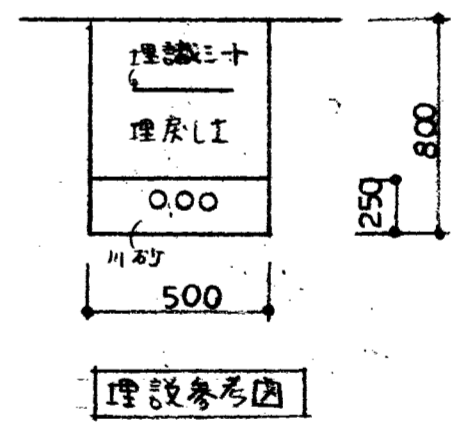
工事項目	適用	工事区分				備考
		建築	空調	電気	昇降機	
機械出入口の設置・E.L.V.用含む						開口部補強及び搬入後閉鎖含む
機械搬入用吊り下げビーム又はフック						位置、1数
ボイラー用自家発電用煙突工事・接続フランジ含む (耐火被覆の穴明けを含む)						煙突までの煙導及び接続は各設備工事
梁の貫通スリーブの補強						スリーブ及び周辺モルタル充填は設備工事
床・壁の貫通穴及び貫通スリーブ						周辺補強は建築工事
各壁面ガラリ、フード並びに通風板						機械換気用については設備工事
パイプシャフト及び点検口、シャフト内ダクトスペース						パイプユニット取付用金物は設備工事
○天井・壁・床の改め口 点検機作用						
○天井・壁・床・貫通パイプ箇所の穴明け						
屋内外トレンチ及び便所ピットの築造						
外装関連貫通パイプ等周辺のコーキング						
電々ケーブル引込みマンホール						特殊なものは建築工事
電力ケーブル引込みマンホール						
電気等の床ピット及びカバー、蓋、U.L.						
変圧器等床ピット基礎工事						
○自家発電機器の床補強・機器基礎工事						
の床ピット及び蓋工事						
の天井・壁・フック工事						
の地下オイルタンク、オイル配管工事						自家発電室内は電気工事
の水配管工事						
埋込照明器具及びスピーカの取付用下地補強						切込み並びに補強共(墨出しは電気)
軽鉄間仕切壁に取付ける熱パイプ貫通の補強						
電動シャッターの配管配線(接続迄)						本体は建築
オートドアの電源供給配管・配線(接続迄)						
防火戸の煙連動制御盤及び配管・配線(接続迄)						
可動間仕切内配管工事(接続迄)						
○アンテナ・マスト等基礎工事						
蓄熱槽の築造工事						断熱工事、連通管、マンホールトラップ、清掃を含む
オイルタンク基礎及び外廊のコンクリート工事						
冷凍機・冷却塔の床補強・機器基礎工事						機器アンカー並びに仕上工事は空調
ポンプ、空調機、ファン等の機器基礎工事						
天井、吹出し等の取付用下地枠						切込み補強共(墨出しは空調)
照明器具併設吹出し口						
吸気用ガラリ						
窓下ファンコイルユニットの化粧囲い						吹出口、点検口を含む
ファンコイル用配管配線(3Pコンセント迄)						100V電源
手元調整器						
自動制御関係計器類						
自動盤(現場)以降の配管配線						
天井換気扇(100V単独運転の電源は電気工事)						全熱交換形のコントロールスイッチは空調
壁換気扇						
地下各種水櫃及びピットの躯体						マンホール・ダクト・清掃を含む
地上受水櫃基礎、フェンス築造						
高架水櫃、貯湯槽ポンプ等の床補強及び機器基礎						機器アンカー及び仕上工事は衛生
機械室厨房等の排水溝及び蓋工事						ガソリントラップ・グリストラップを含む
大井・床・壁の点検口						点検用梯子・保守台を含む
造り付流し、ガス台 配管の特殊な穴明けを含む						台内配管の周辺ふさはしは衛生
便器取付開口部						切込み・補強共(墨出し)は衛生
雨樋						立樋受以降の横引配管は衛生
フロートスイッチ、フロートレススイッチ取付						
同上用配管配線						
浄化槽用動力工事						
鏡及び化粧棚(洗面器上部)						意匠図に示した特殊なものは建築
屋外防火用水櫃						
屋外浄化槽躯体及周囲フェンス築造						
軽鉄間仕切に取付ける消火栓機器等の補強						切込み並びに補強(墨出し)は衛生
パイプ貫通含む						
機械室・シャフト・ピット躯体						機械室軽量コンクリート打設含む
出入口・インジケーター押釦の穴明け						補強は建築
機械室床機械取付用穴明け						墨出しは昇降機
機械室内配線ダクト穴明け						は電気
機械室内仕上及び天井機械吊り上げ用フック						
出入口等取付後の床・壁・天井仕上						
換気設備及び付属電気設備						
電源引込						
接地工事						
昇降路外の監視盤・操作用板及びインターホン用配線引込み						配管は電気
B.G.M用配線引込工事						
機械室ピット内コンセント工事						
エレベーター監視盤製作及び取付						



案 内 図



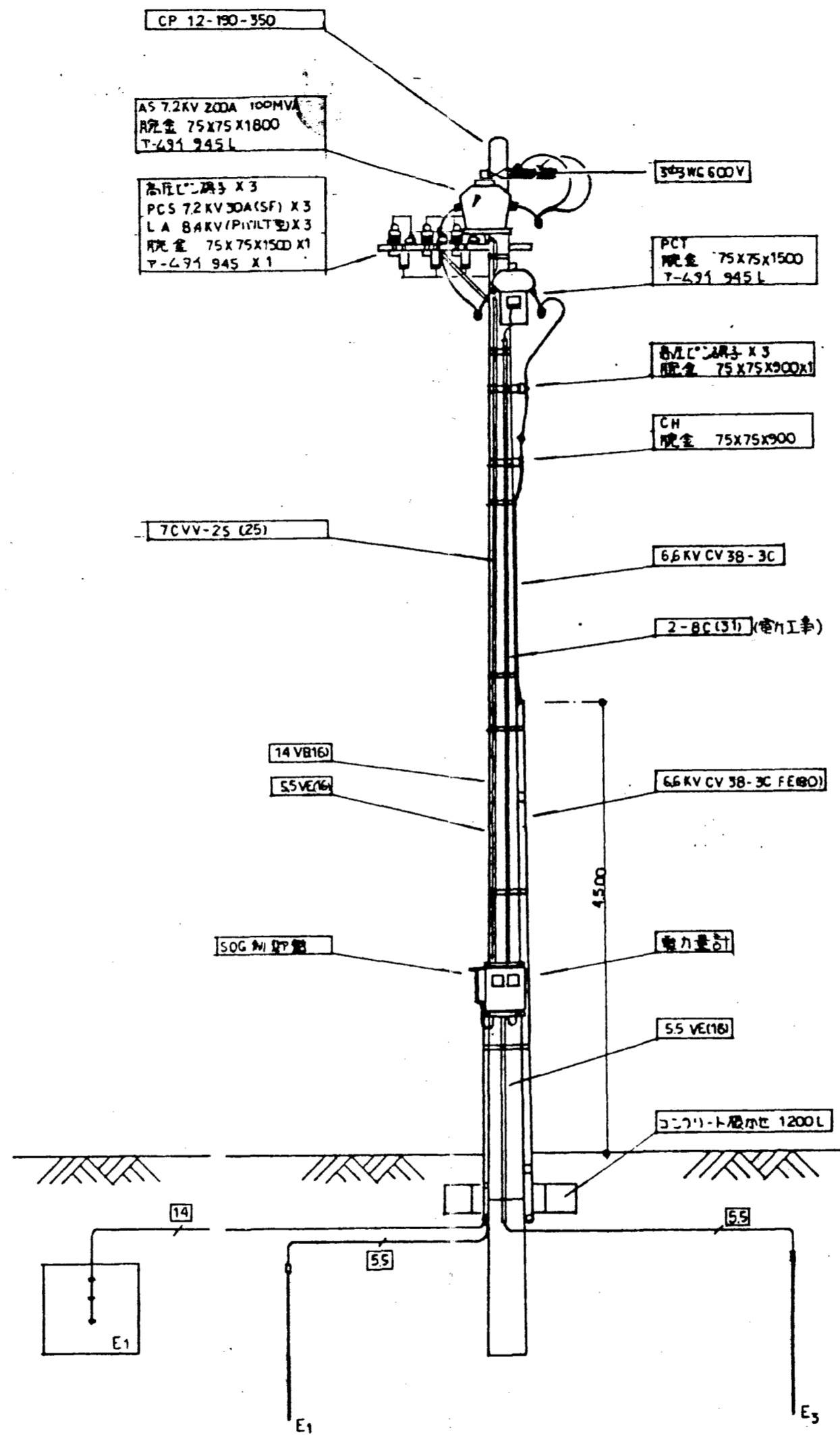
■	ハンドホールド 900 ^φ x 900 79 600 ^φ 壁耐
▼	1:70リット製標示杭
	外灯用Eは単独で配Iのこと

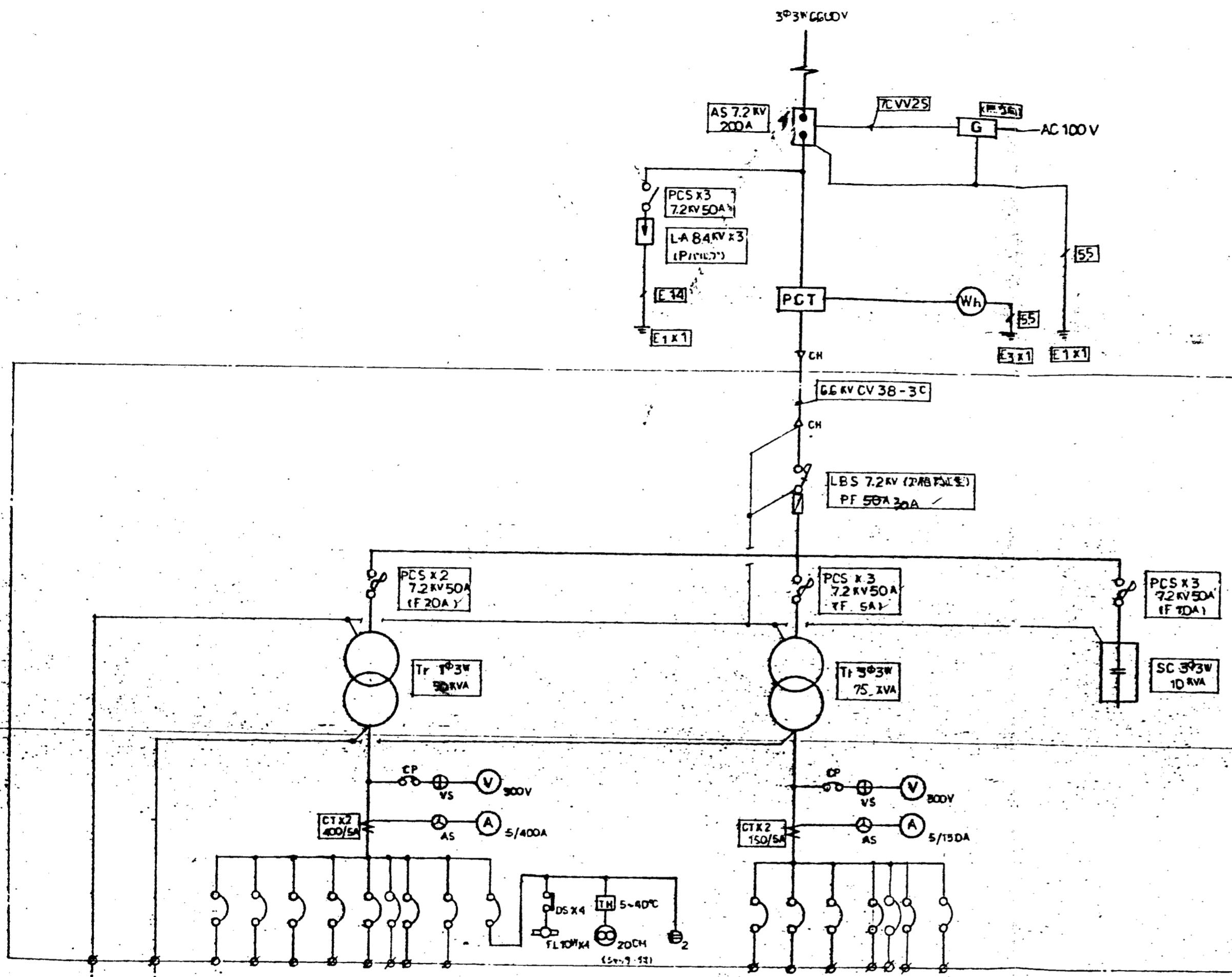


建坪率	1,453.4415	43.48 %
容積率	3,343.0805	39.97 %

	建築面積	1階床面積	2階床面積	延床面積	凡例
申請部分	1,120.9285	947.3575	56.20	1,003.5575	
申請以外部分	332.51265	332.51265		332.51265	
合計	1,453.4415	1,279.87015	56.20	1,336.07015	
解体部分	351.4685	332.1485		332.1485	

配置図 S=1/200

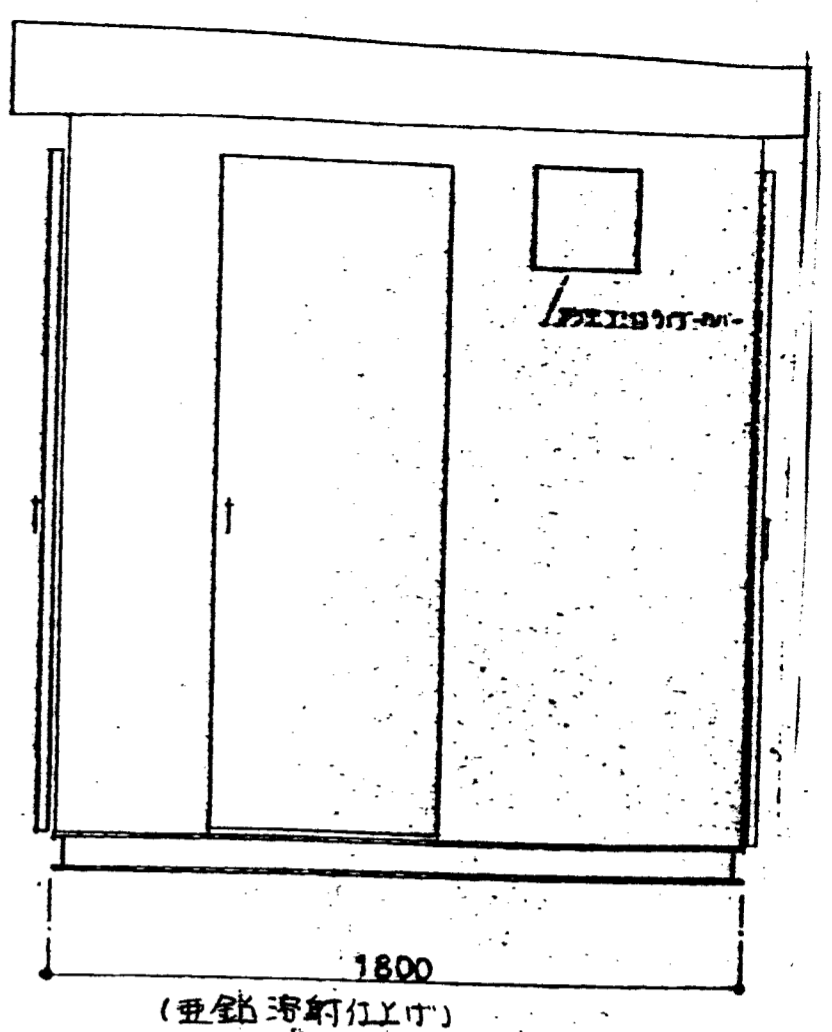
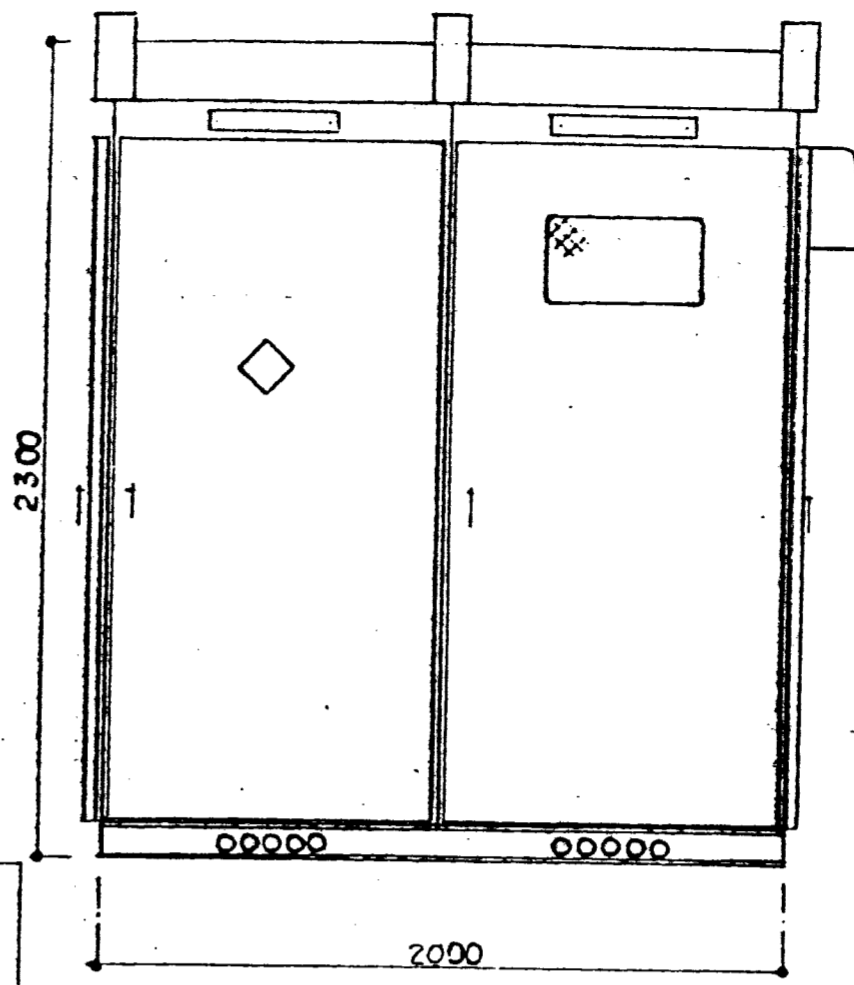




L.P -1
MCB 3P 225/225A
MCB 3P 100/100 A
MCB 3P 225/100 A
MCB 3P 100/100A
GRV
MCB 2P 50/20A
MCB 2P 50/30A

P -1
MCB 3P 400/300A
L.P -1
MCB 3P 100/100 A
MCB 3P 50/50 A
MCB 3P 100/60 A
MCB 3P 100/60 A
MCB 3P 50/30 A

高压单线接线图



1φ3W AC 200/100V 50HZ

LP-1 (埋込型)

MCB 3P100AF/75AT
L = S₂

150 VA	火報	Ⓐ
150	時計等	Ⓒ
50	非常放送	Ⓔ

Ⓑ	警報	50 VA
Ⓓ	放煙警報	10
Ⓕ	予備	

ELB 3P100AF/100AT
(30mA 0.1Sec)

運轉表示
70734912
J-E

2000	ヒーター	①
1800	電灯	①
1400	"	③
1300	"	⑤

②	電灯	800
④	"	1100
⑥	"	1250

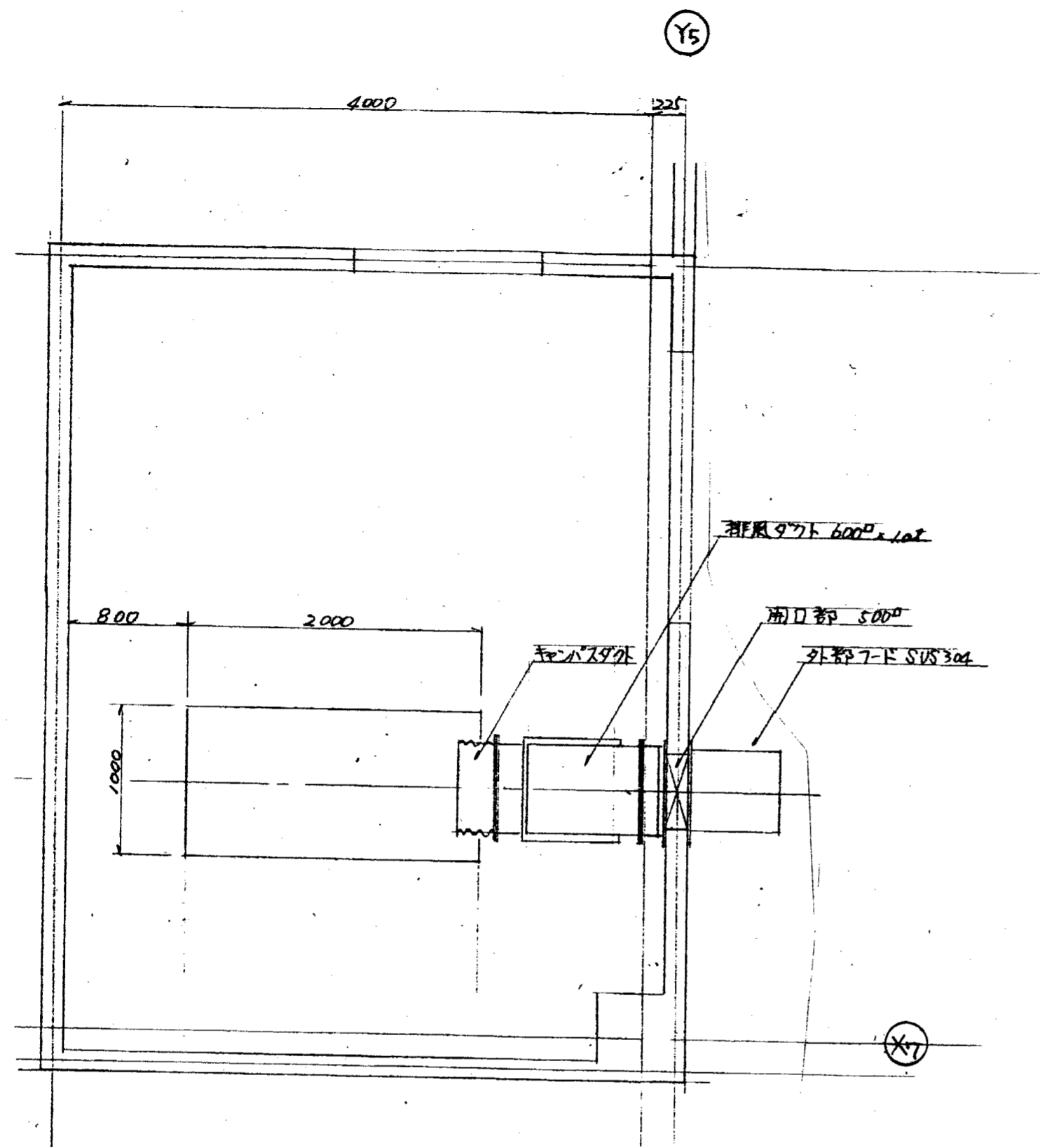
AS TM24
52

680	外灯	⑦
500	コンセント	⑨
500	"	⑪
600	"	⑬
100	"	⑮
400	"	⑰
	予備	⑲
	"	⑳
	"	㉑
	"	㉓

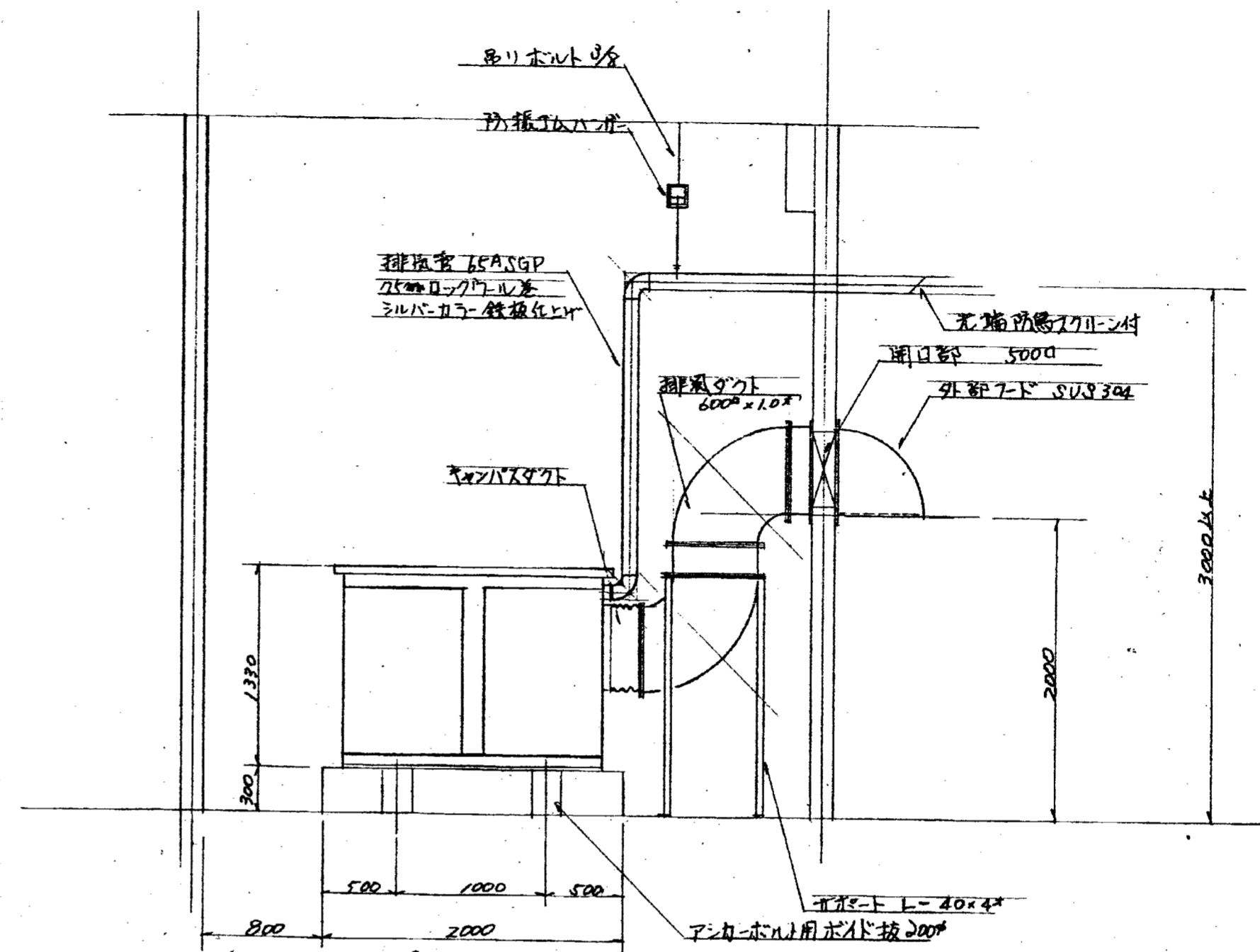
⑧	コンセント	700
⑩	T-Si	100
⑫	コンセント	1200
⑭	"	700
⑯	"	600
⑰	"	300
⑲	予備	
㉑	"	
㉓	"	

NS x 24

- ① MCB 2P 50AF/20AT x 1
- ① ~ ㉓ MCB 1P 50AF/20AT x 24

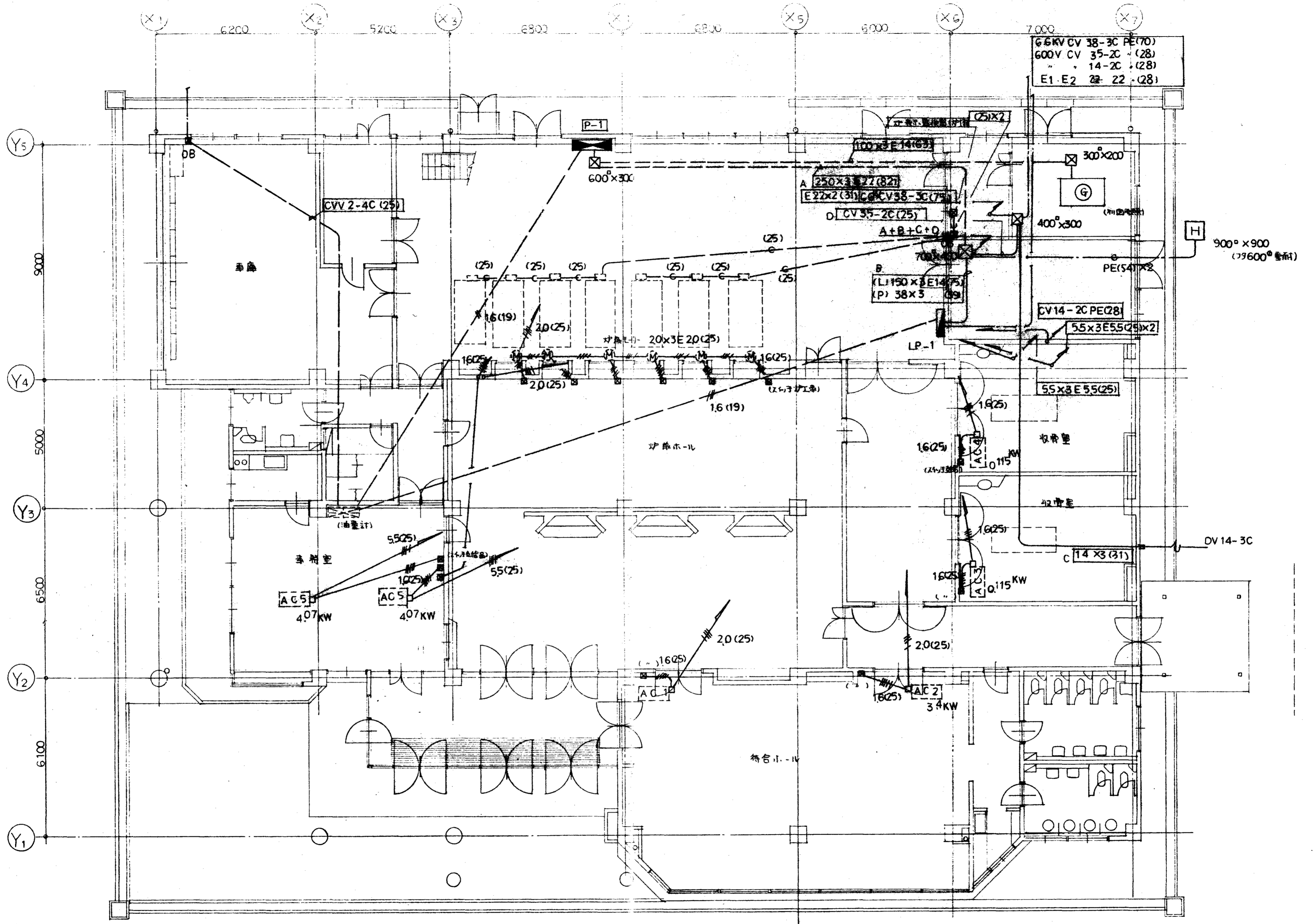


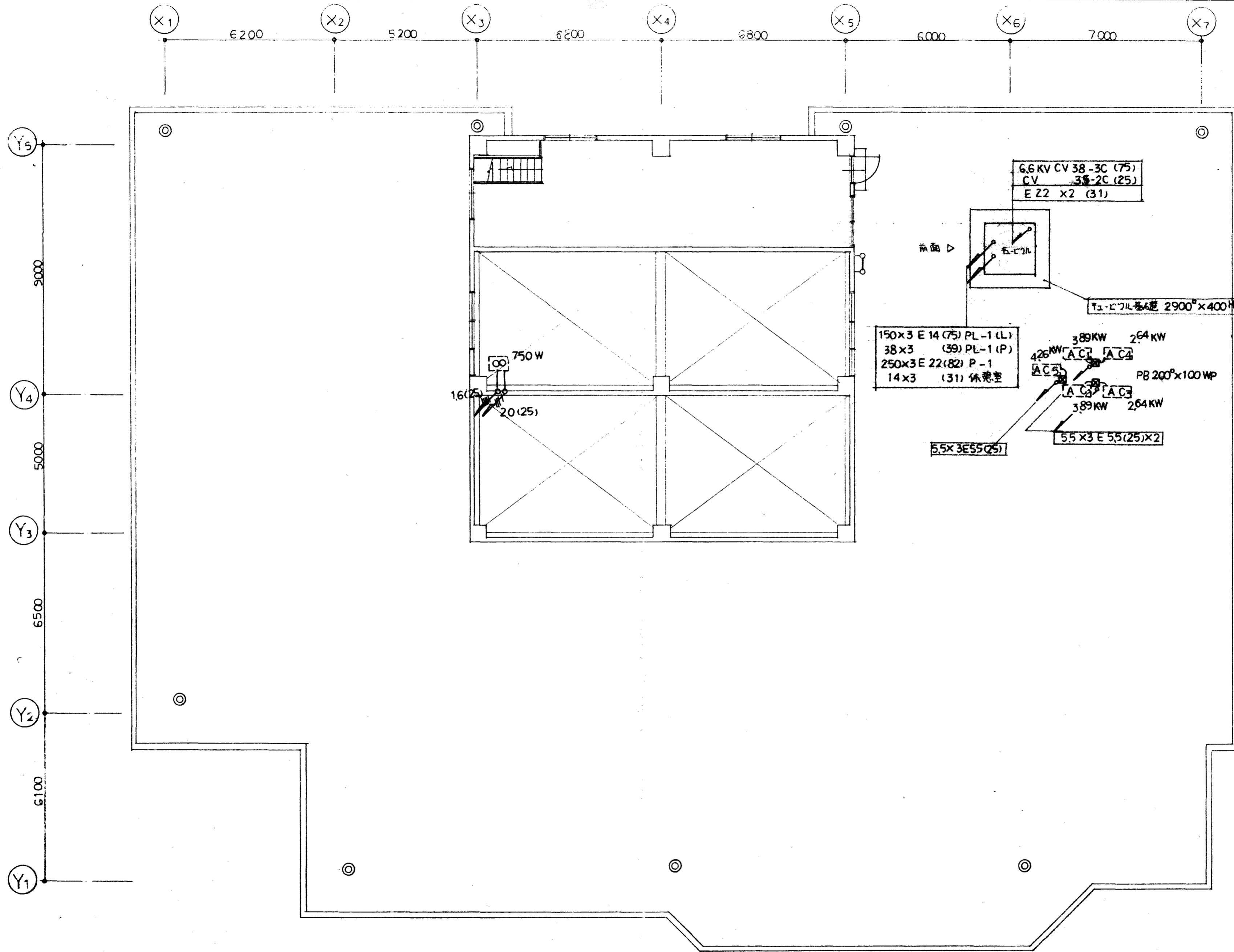
平面図 1/50



断面図 1/50

空冷式 303W 200V 55KVA
 インバータ 3000RPM





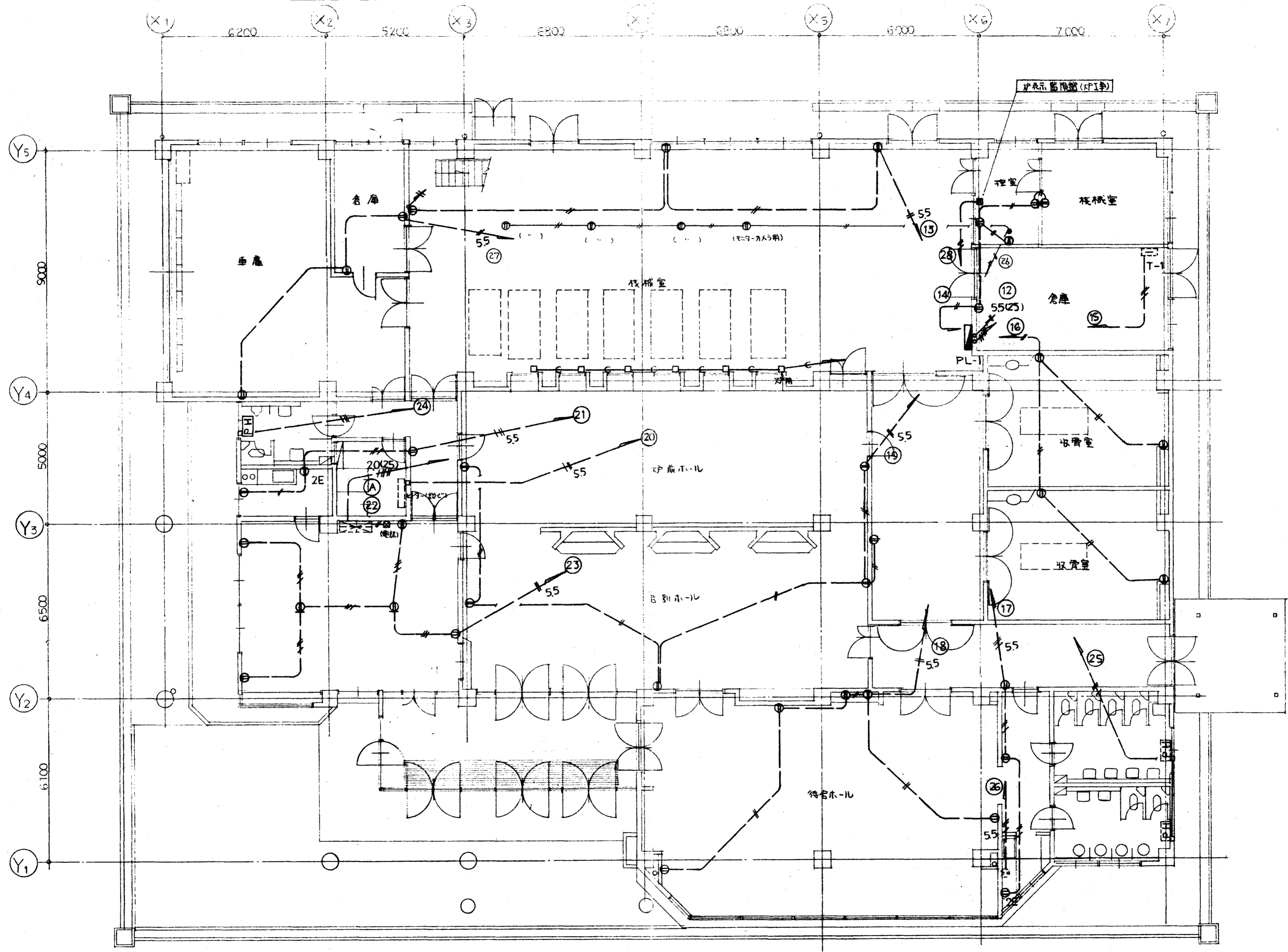
会津若松市斎場新築 工事設計図

製 2階平面図
図 動力設備

G=1:100

No

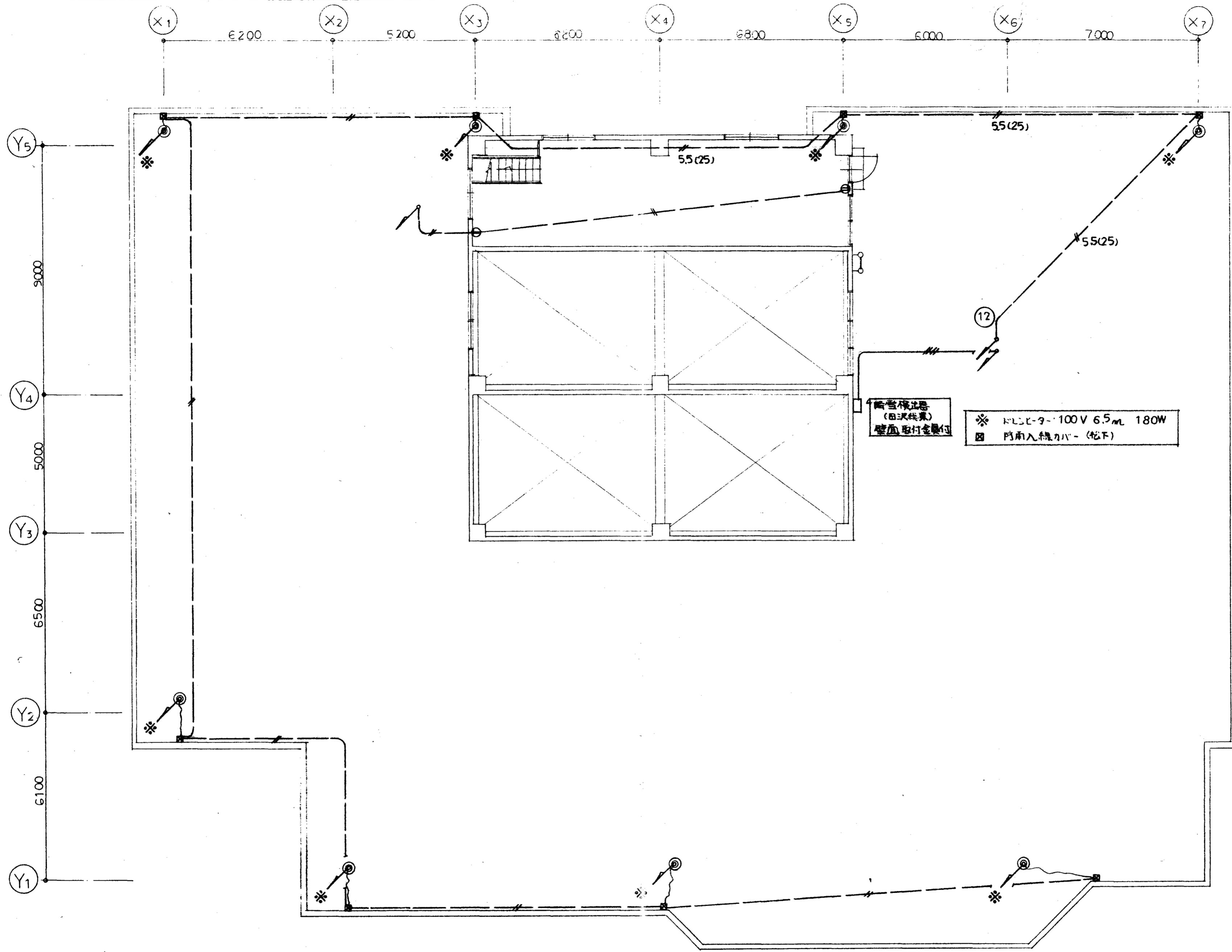
E-13



パネルE-3-100V 500W サ-エスダット (7) (付) (1307)

●	埋込コンセント	2P15A x 2	—	20 x 2 (19)
●	2E	E13	—	20 x 3 (〃)
Ⓚ	床上下式 (特)		—	20 x 4 (25)

会津若松市斎場新築		工事設計図		No
製	1階平面図	S=1:100	E-14	
図	コンセント設備			



会津若松市斎場新築

工事設計図

No

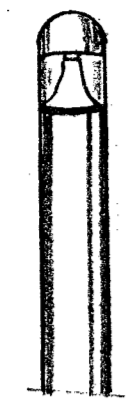
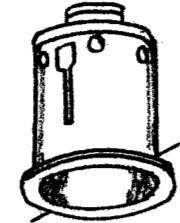

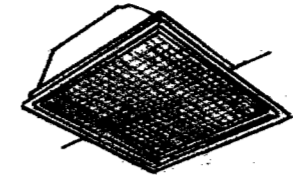


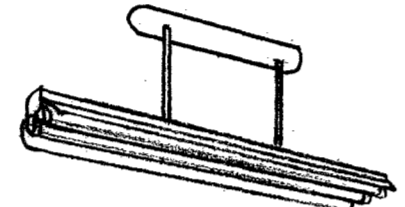


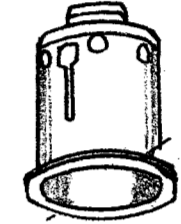

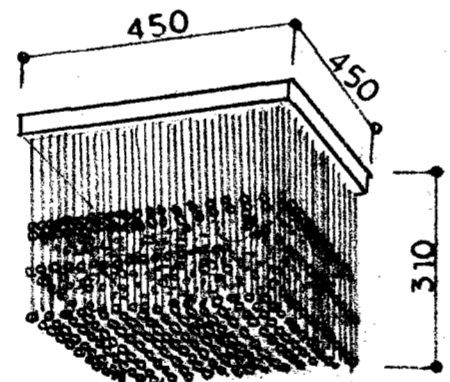
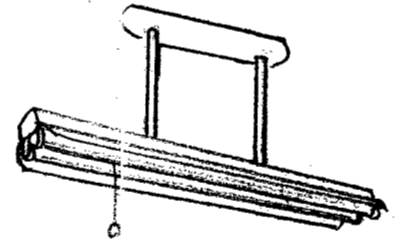
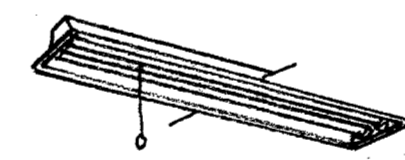
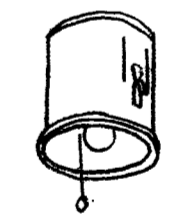
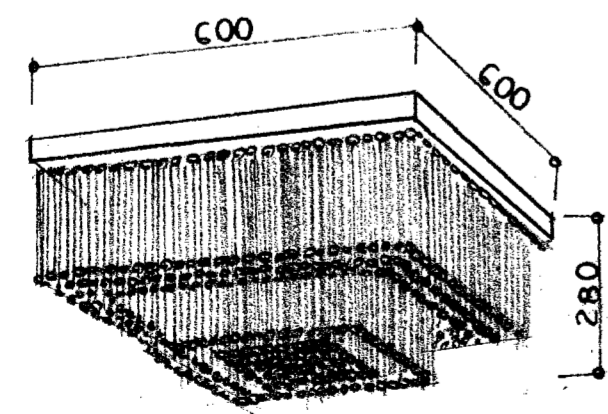
製

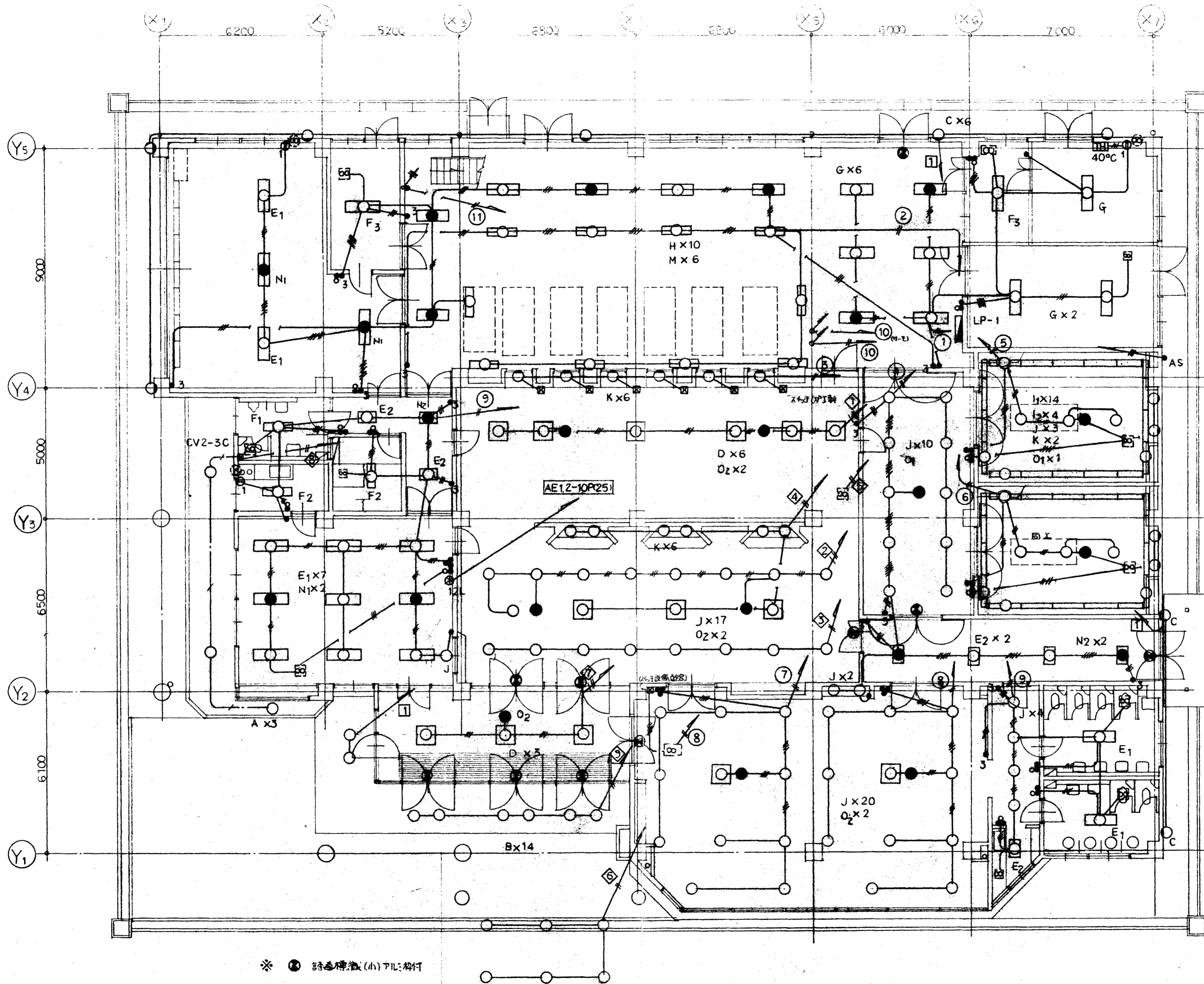
図

2階平面②

S=1:100

E-15

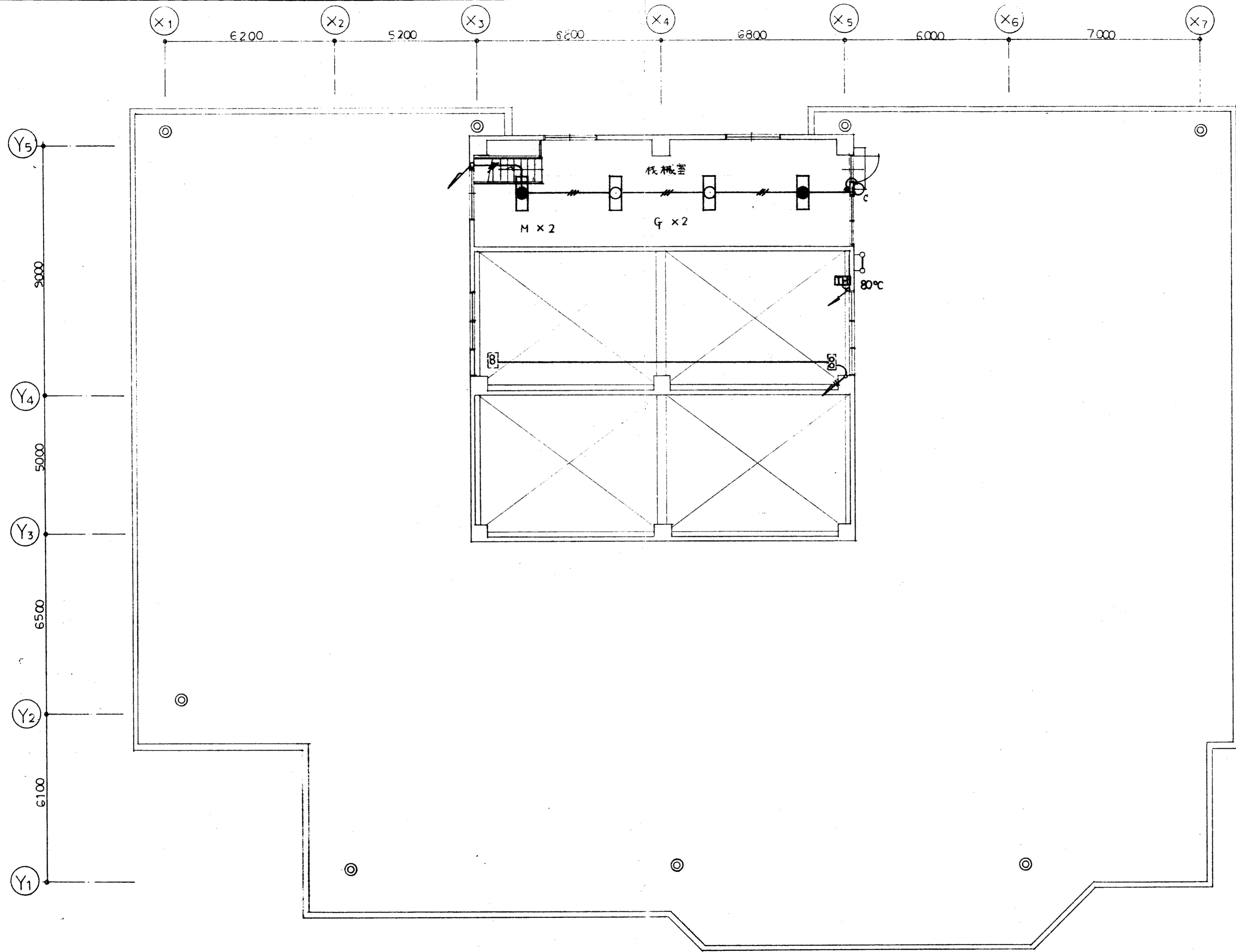
<p>A IL 40 W WP H:1000 カーテンライト 黒色</p> 	<p>B IL 100 W ホワイト・ローズ色</p> 	<p>C IL 60 W WP (日光) 乳白ガラス、アクリル樹脂黒色ガラス</p> 	<p>D FL 40 W x 4 RH 700x1100-5 (山田)</p> 	<p>E 1 FL 40 W x 2 RH 2 " 20 W x 2 GH</p>  <p>(官電協)</p>
<p>F 1 FL 40 W x 1 RH 2 " WP 3 " 40 W x 2</p>  <p>(官電協)</p>	<p>G FL 40 W x 2 RH (147°平)</p>  <p>(同左)</p>	<p>H FL 40 W RH</p>  <p>(同左)</p>	<p>I 1 FL 40 W RH 2 FL 20 W GH</p>  <p>(同左)</p>	<p>J IL 100 W ホワイト・ローズ色 (丸角)</p> 
<p>K IL 40 W 金メッキガラス (山田)</p> 	<p>L IL 40 W x 4 金メッキガラス (山田)</p> 	<p>M FL 40 W x 2 50% RH 電池内蔵形</p>  <p>(官電協)</p>	<p>N 1 FL 40 W x 2 50% RH 電池内蔵形 2 " 20 W x 2 55% GH 電池内蔵形</p>  <p>(同左)</p>	<p>O 1 IL 20 W ホワイト・ローズ色 電池内蔵形 2 " 40 W 電池内蔵形</p> 
<p>P IL 60 W x 4 金メッキガラス (山田)</p> 				<p>メーカー名は参考とす 電圧は必ず100Vとす</p>



※ ● 諸品仕様(小)に別添付

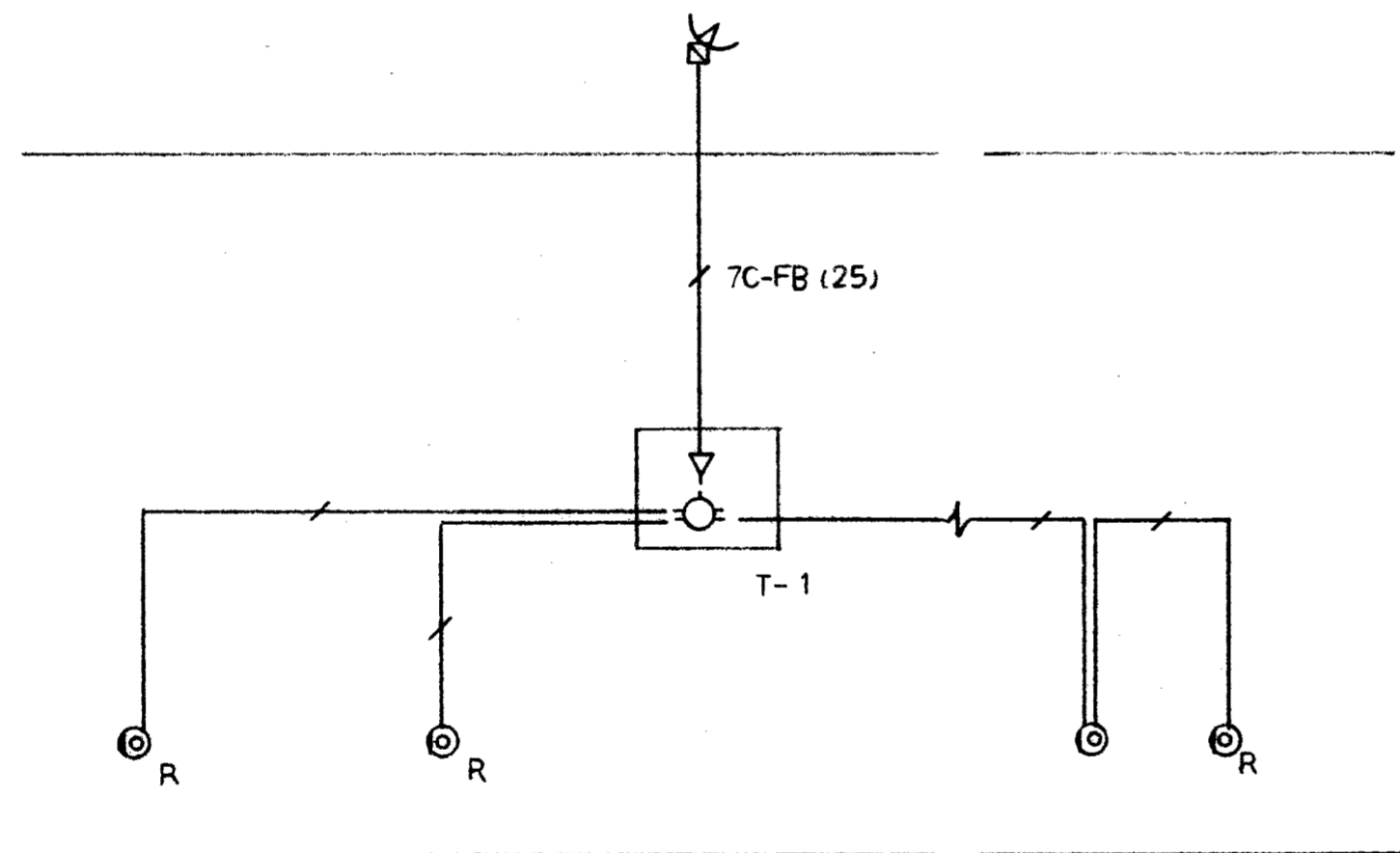
— 16 × 2 (19)	— 16 × 4 (25)
— 2.0 × 2 (..)	— 16 × 5 (..)
— 16 × 3 (..)	— 20 × 3 (19)

会津若松市斎場新築		工事設計図	No
製	1/100	S=1:100	E-17/

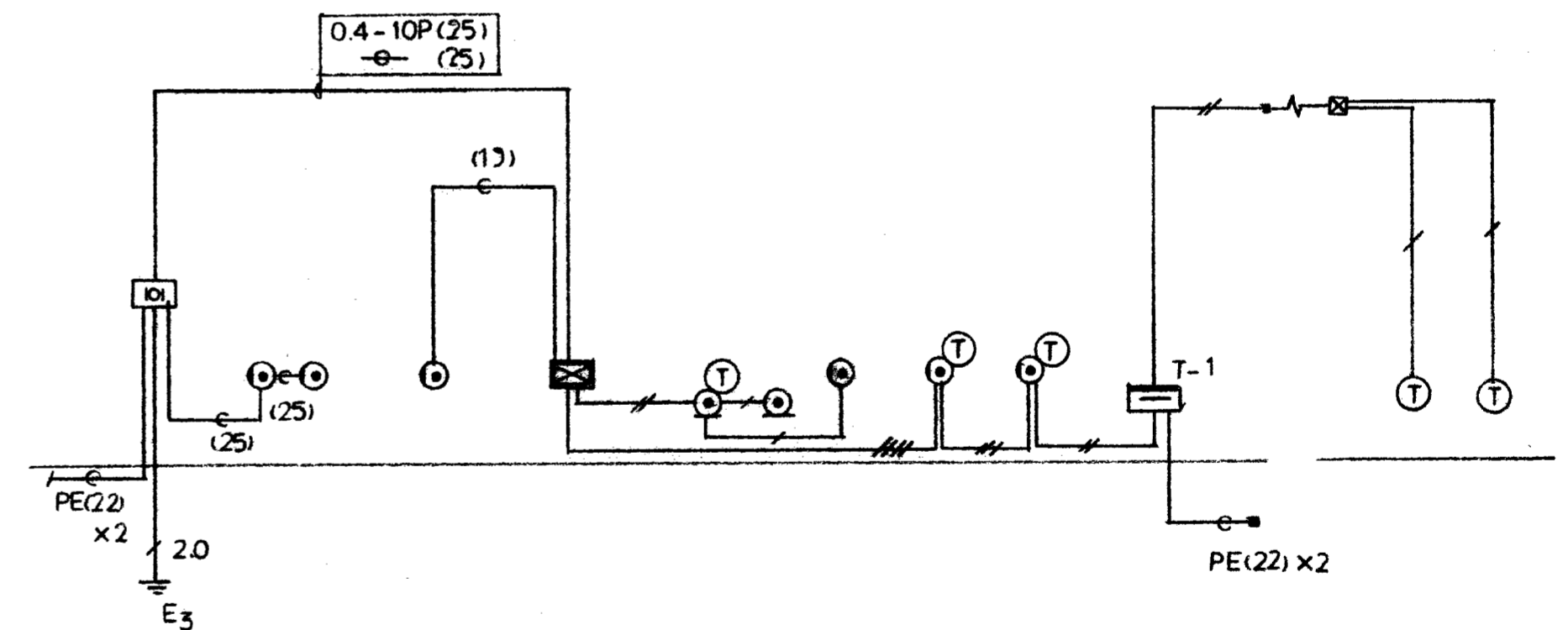


▽	7'-29- SHF用 30db
○	4分配器
◎	直列ユニット 中間
◎R	端末
5C	5C-FB (19)

□	保安器 5P 変圧器内型
T-1	端子箱 7'-29- 4分配器ユニット 30P
☒	電話主装置 外線 2、内線 8、700ユニット
Ⓣ	待機用電話機 700ユニット
Ⓣ	一般用 " "
◎	アット壁 角ノズル70L-1
◎	" 床
— / —	ICT 0.4 - 2P x 1 (19)
— // —	" " x 2 "
— / / —	" " x 3 "
— / / / —	" " x 4 (25)
— (19) —	呼込 1.2 x 1 (19)
— (25) —	" " (25)

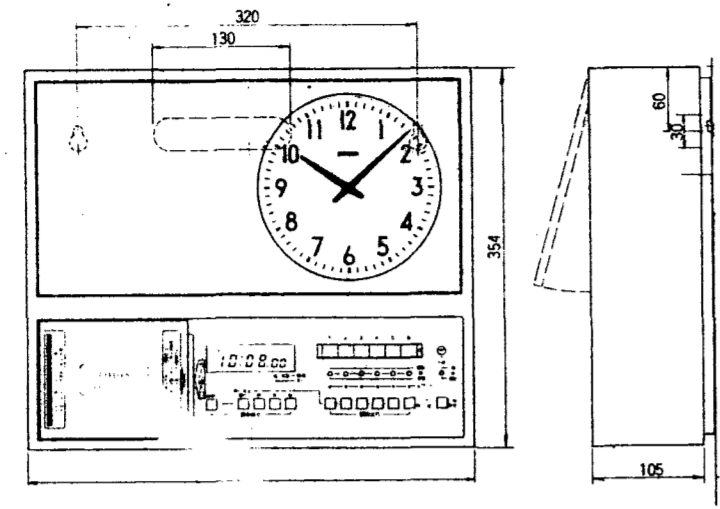


テレビ共聴機系統図



電話設備系統図

⌚ 親時計



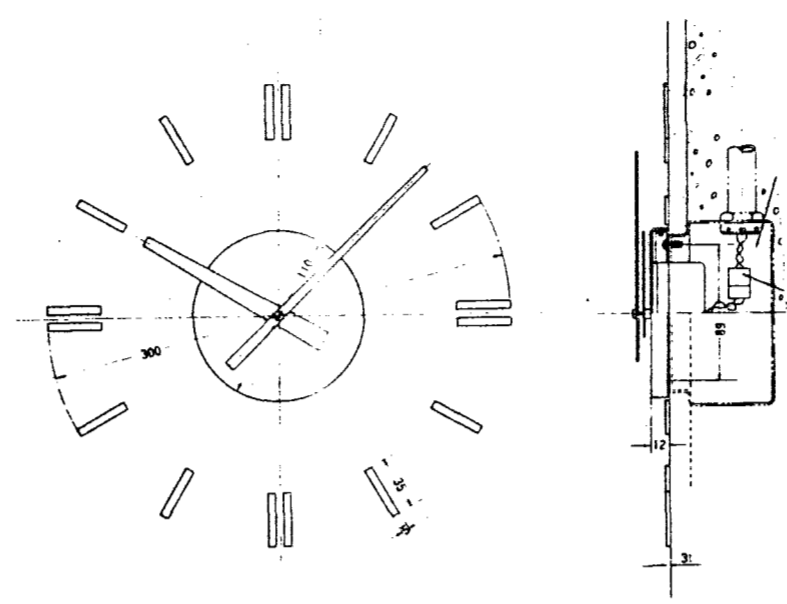
水晶振動周波数 4194.304KHz
 精度 標準±0.7秒以内
 ラジオコントロール付の場合標準誤差0
 使用温度範囲 -10℃～+50℃
 標準保証温度範囲 0℃～+40℃
 時刻表示 30秒間欠表示
 秒調整 0秒修正方式
 子時計出力信号 DC24V 30秒有極信号、無接点方式
 過電流防止及びサージアブソーバ付

子時計出力周波数 1周波
 子時計駆動電流 最大30mA以内(1周12mAとして)
 子時計修正 自動修正方式、異常パルス検出発生防止装置付
 信号電圧降下時一時停止装置付
 入力電源 AC100V 50/60Hz サージアブソーバ付 15W
 保管時電源 密封型ニッケルカドミウム蓄電池内蔵
 DC24V 1周、DC12V 1周使用
 過電流防止装置付
 電池寿命 約30年間(時間メモリー部1週間)
 ケース 鋼板製クォーツ(2.5Y9/T) ネツツ
 重量 約10.5kg

チャイム装置 (C)
 チャイム 電子式(曲目 ウェストミンスター寺院の鐘)
 出力 インピーダンス10kΩ ±25dB ±3dB
 アンプ駆動信号 1回路、メーク抵抗信号(接点容量 AC125V 5A)

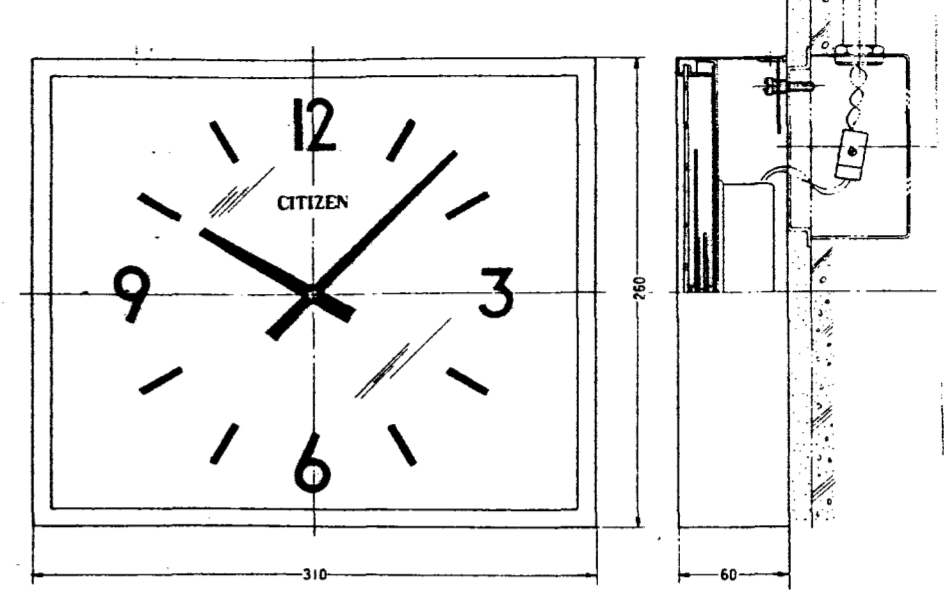
プログラムタイマー装置 (T)
 制御方式 CPU方式 回路・時刻の設定はカードによる
 出力回路 6回路
 (チャイム付の場合、うち1回路はチャイム専用)
 設定単位 1週間を1分単位(24時間)
 設定回数 6回路合計240回路ランダムに設定可能
 但し、1回路に240回全周設定も可能
 曜日設定 各回路毎任意に設定可能
 休日設定 基本設定の変更を行わず任意の曜日を休日
 指定し、その曜日も過ぎると自動復帰
 開始出力 出力パルス幅1秒単位(1秒～59秒まで可変)
 タイマー出力 設定時刻から設定時刻まで継続
 出力信号容量 メーク接点信号(接点容量 AC125V 2A)
 時刻表示 曜日、時、分、秒 青色発光表示(停電時消灯)

⌚ A 子時計

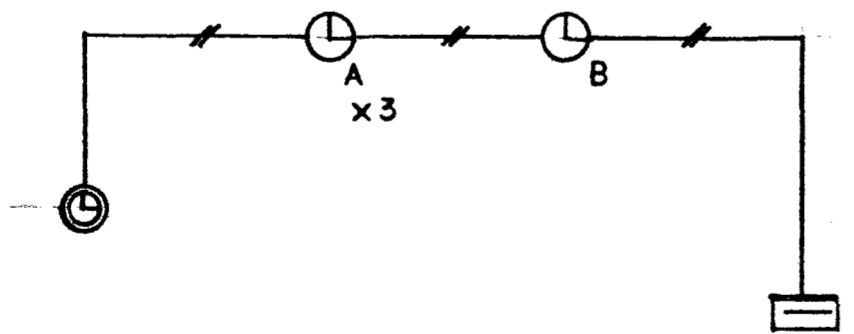


文字板 建物壁面
 文字 真鍮・ホワイトブロンズメッキ
 指針 真鍮・ホワイトブロンズメッキ
 化粧板 真鍮・ホワイトブロンズメッキ
 動作 DC24V 有極30秒遅針
 コイル抵抗 2,000Ω
 消費電流 12mA

⌚ B 子時計

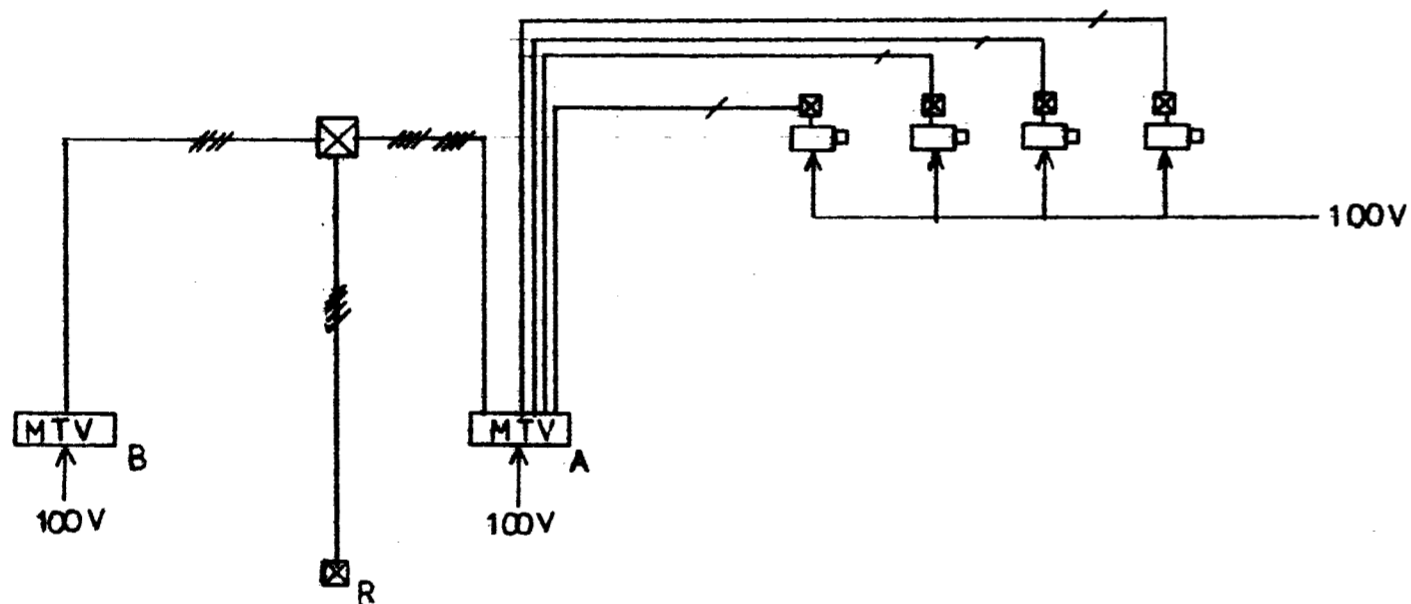


文字板 アルミ白色
 文字 黒色
 指針 アルミ黒色
 動作 DC24V 有極30秒遅針
 コイル抵抗 2,000Ω
 消費電流 12mA



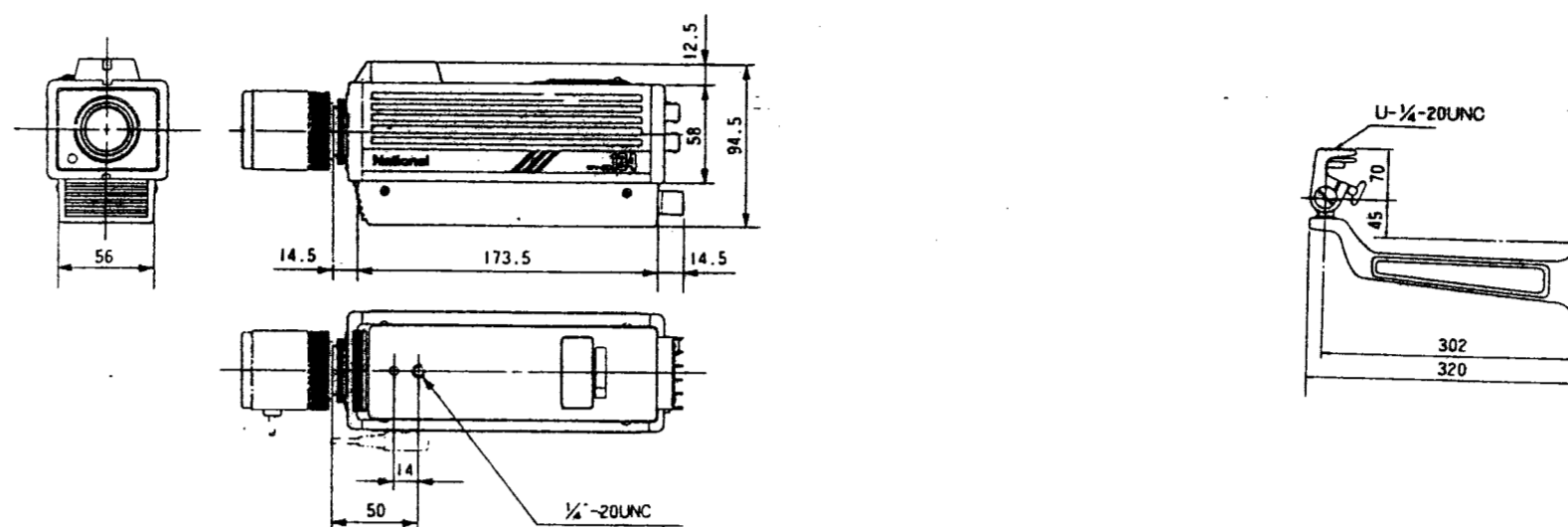
系統図

MTV A	モニターテレビ 4台、ラックマウント付
MTV B	" " "
□	モニターカメラ 吊具付
R	テレビ受信箱 x 4 新金プレート
OB-P	アクトレットボックス 102x44 1/2インチ角プレート
5C	5C-FB x 1 (19)
5C	" x 2 (25) x 2



系統図

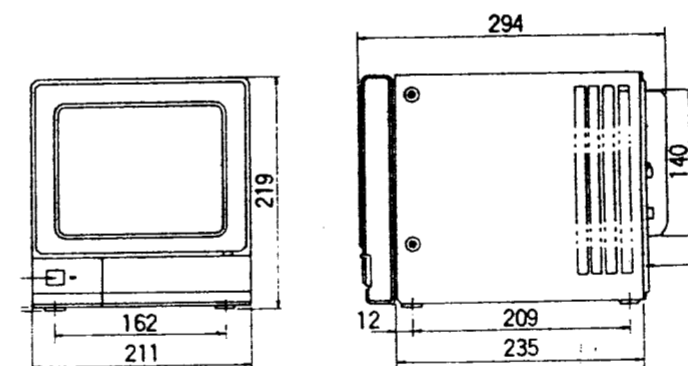
モニターカメラ 吊具具付



撮像素子	インターライン駆動方式CCD (カラーフィルタ付)画素数510(H)×492(V)	感度調整	別売専用EEレンズによる自動絞り方式(40,000~66,000:1)
走査面積	6.6mm(V)×8.8mm(H) (2/3インチ相当)	S/N比	46dB以上 (感度低下,ガンマ補正なし,AGC OFF)
レンズマウント	Cマウント(テレビカメラ用)	スイッチ機能	ホワイトバランス選択, グンロック解除,カメラON/OFF, サブキャリア位相調整, カメラ番号ON/OFF,カメラ番号選択
カラー化方式	単色RGB方式	調整機能	ホワイトバランス(R-B), サブキャリア位相調整
同期方式	内部同期外部同期	電源	AC100V(AC24V) 50/60Hz
走査方式	2:1インターレース	消費電力	約8W(約9W)
水平走査周波数	15.734kHz	周囲温度	-10°C~+50°C
垂直走査周波数	59.9Hz	寸法	70(幅)×94.5(高さ)×191(奥行)mm (レンズを除く)
映像出力	NTSC1.0Vp-p/75Ωコンポジット信号 (BNC接続)	重量	約1.2kg
外部同期入力 (GEN-LOCK)	VBS1.0Vp-p/75Ω(BNC接続)	仕上	ブラウンメタリック塗装
解像度	水平:330本以上(中心部にて) 垂直:350本以上(中心部にて)		
最低照度	10 lux (F1.4,光源色温度5,100°K,反射率90%以上)		
標準観測条件照度	1,200 lux(F2.8)		

適用機種	17mm(2/3インチ)ニュービコンテレビカメラ, 固体撮像テレビカメラ	入力インピーダンス	ハイインピーダンス (40kΩ以上)
焦点距離	f=16mm	絞り精度	±20% (映像信号レベル, +20°Cにて)
最大口径比	F=1:1.4	絞り全域動作所要時間	約1.0秒以内 (映像出力信号V0.7Vp-pにて)
イメージサイズ	6.6×8.8mm	感度調整	V0.5~1.0Vp-p連続可変
写角	水平 30°40' 垂直 23°05'	焦点距離	標準ヘリコイド, 回転角58°
歪み	0.5%	マウント	Cマウント/オリエンT式
フランジバック	17.526mm	フィルター取り付け	#43, F=0.75
自動絞り範囲	1:66,000	動作温度	-20°C~+50°C
相当絞り	1.4~360	寸法	φ46.5(最大径)×46.7(高さ:マウントまで) mm
最大消費電力	35mA	重量	約130g
入力信号	コンポジット信号またはノンコンポジット信号 V0.7Vp-p(ノンコンポジット信号)入力にて設定済み	仕上	シルバーメタリック焼付塗装

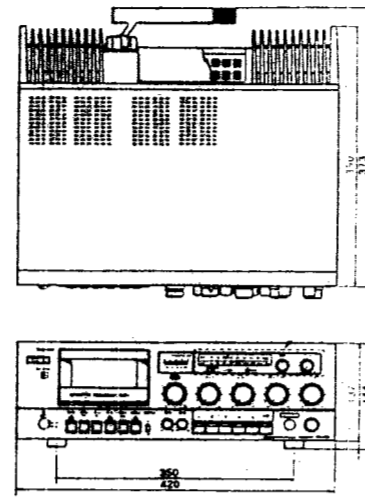
カラーモニターテレビ 4台1組 ラックマウント付



電源	AC100V 50/60Hz
消費電力	33W
ブラウン管	8型70度偏向
キャビネット	鋼板
映像入出力端子	1Vp-p 75Ωまたはハイインピーダンス BNC接続
外形寸法	21.9×21.1×29.4cm

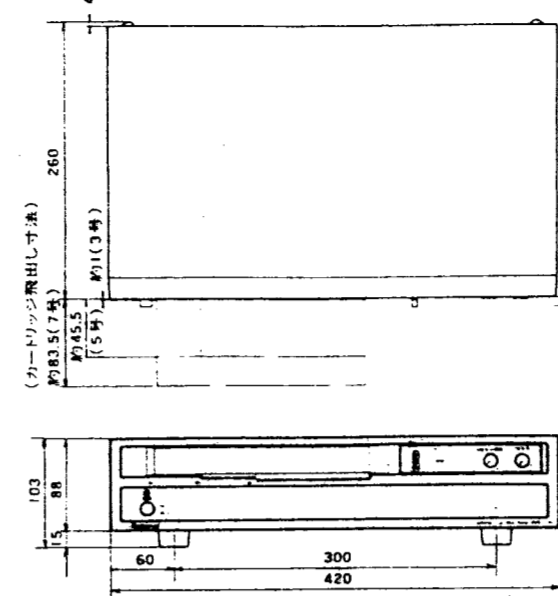
アンプ	アンプ
BGM	BGM装置
⊙	天井埋込スピーカー
△	ホーンスピーカー
♣	アッテネーター 1W
♣ 3W	" 3W
♣ 5W	" 5W
Ⓜ	スリットシャッター
—	1.2 x 2 (19)
—	1.2 x 3 (19)

アンプ



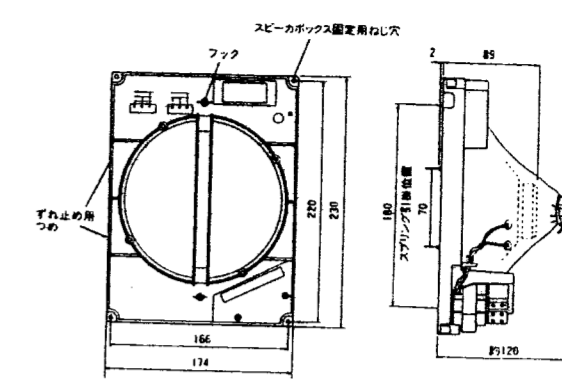
定格出力	60W
周波数特性	50-20,000Hz ± 3dB (EIA)測定法にて
入カ	マイク 2
マイク1/ライン1	マイク1: -72dB 600Ω 不平衡, SN比50dB以上 ライン1: -72dB 600Ω 不平衡, SN比50dB以上 ライン2: -22dB 20kΩ 不平衡, SN比50dB以上 (スイッチ切替)
レコード	-56dB 50kΩ 不平衡, SN比55dB以上
録音方式	交流バイパス方式
テープ速度	4.76cm/秒
ワウフラック	0.08% WRMS以下
電圧・電流	115秒以下 (C-60テープ使用にて)

BGM装置

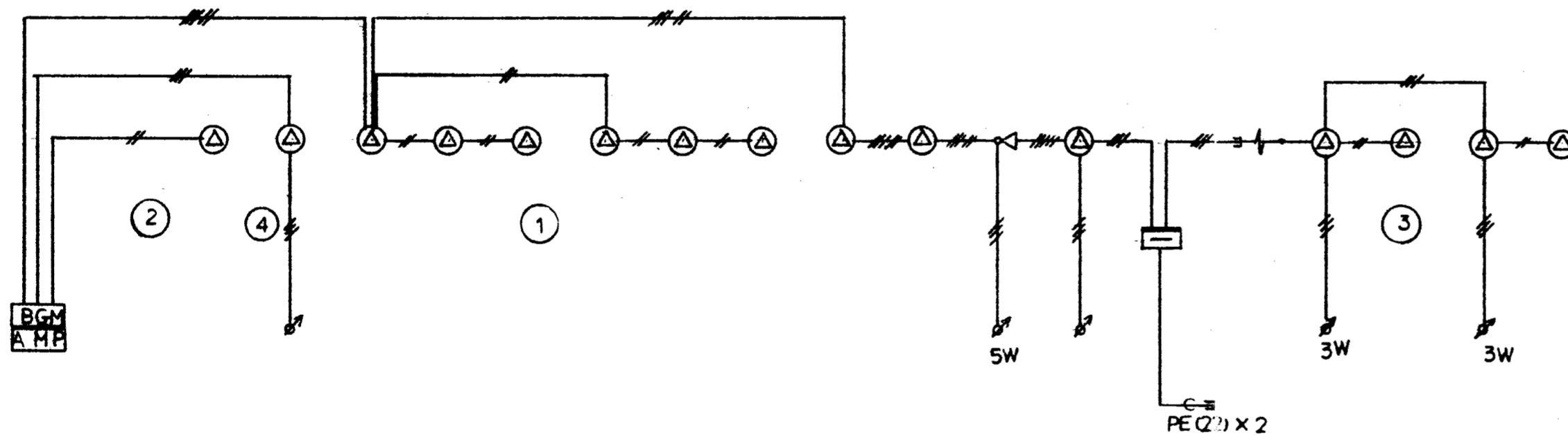


電源	AC100V 50または60Hz固定式
消費電力	Ⓜ15W 0.3A
定格出力	0dB
負荷インピーダンス	10kΩ以上 不平衡
周波数特性	40-10,000Hz ± 4dB以内
S/N比	50dB以上
歪率	2.0%以下 (1,000Hzにて)
適合カートリッジ	ファイナリパック型 300形(3号), 600形(5号), 1200形(7号)
テープ速度	9.5cm/秒 ± 2%以内
ワウフラック	0.2% WRMS以下
使用テープ	2トラックモノフォニック
演奏時間	最大1200形 1チャンネルで1時間 2チャンネルで2時間
モード	4極ヒステリシスシンクロナス
ヘッド	1/4インチ用8トラック2チャンネル

天井埋込スピーカー 丸型アルミパナソニックアンプ

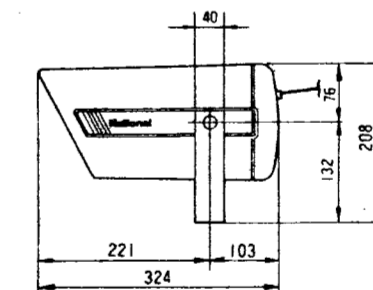


定格入力	3W
入力インピーダンス	3.3k, 10kΩ
周波数特性	130-12,000Hz (偏差20dB)
出力音圧レベル	92dB (1W, 1mにて)
使用スピーカー	16cm丸型スピーカー
仕上げ	ハンインパクトスチロール黒色

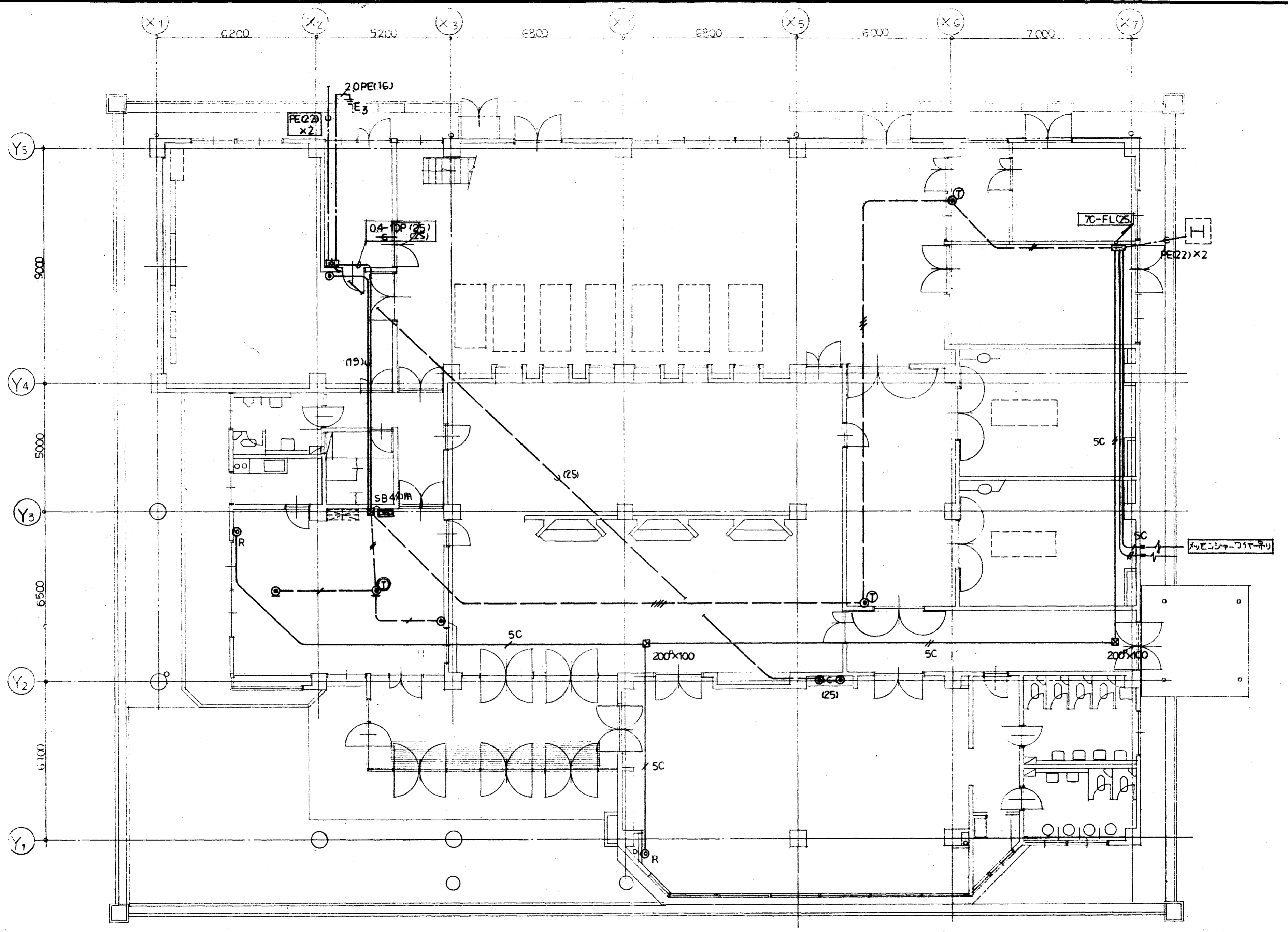


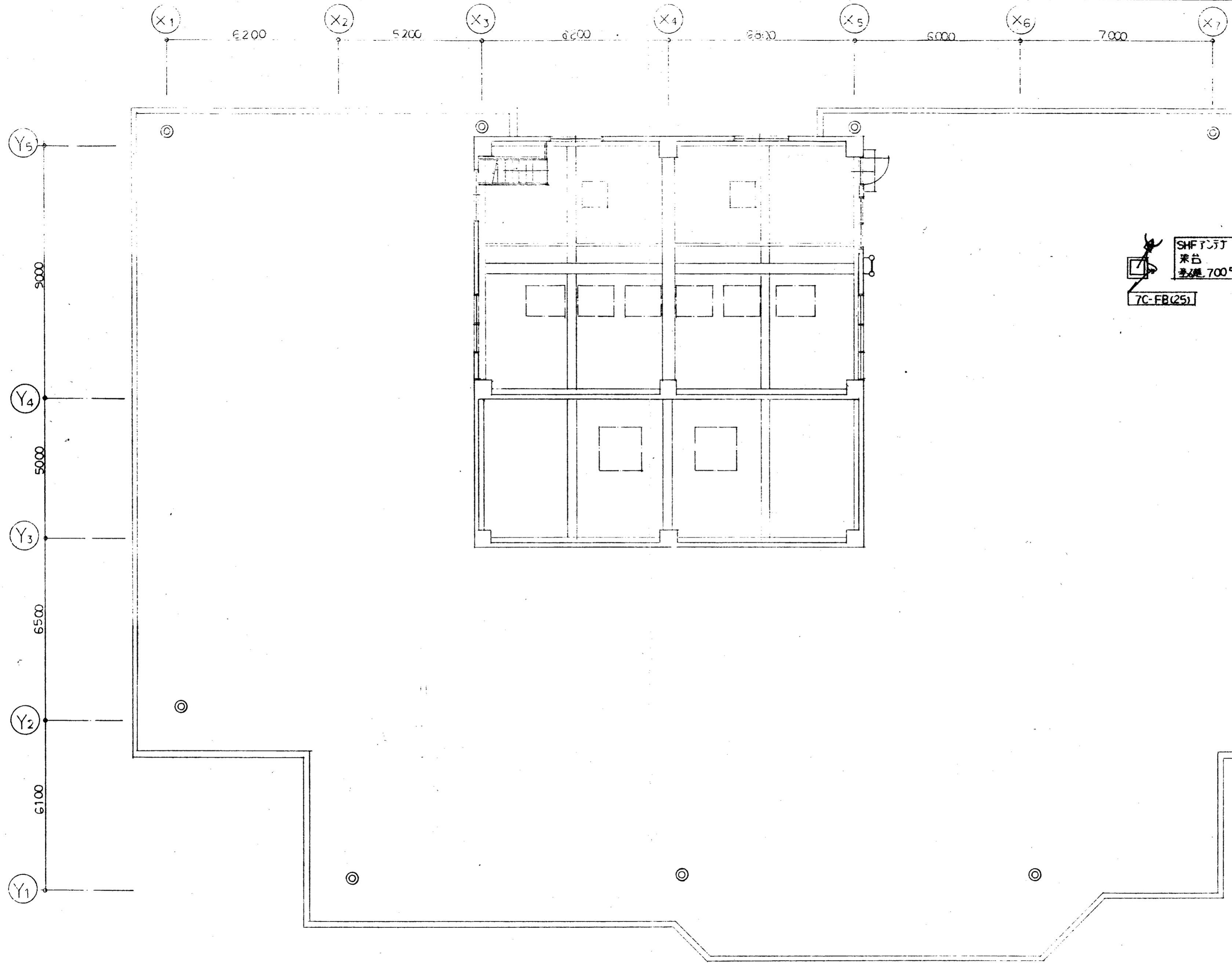
系統図

ホーンスピーカー



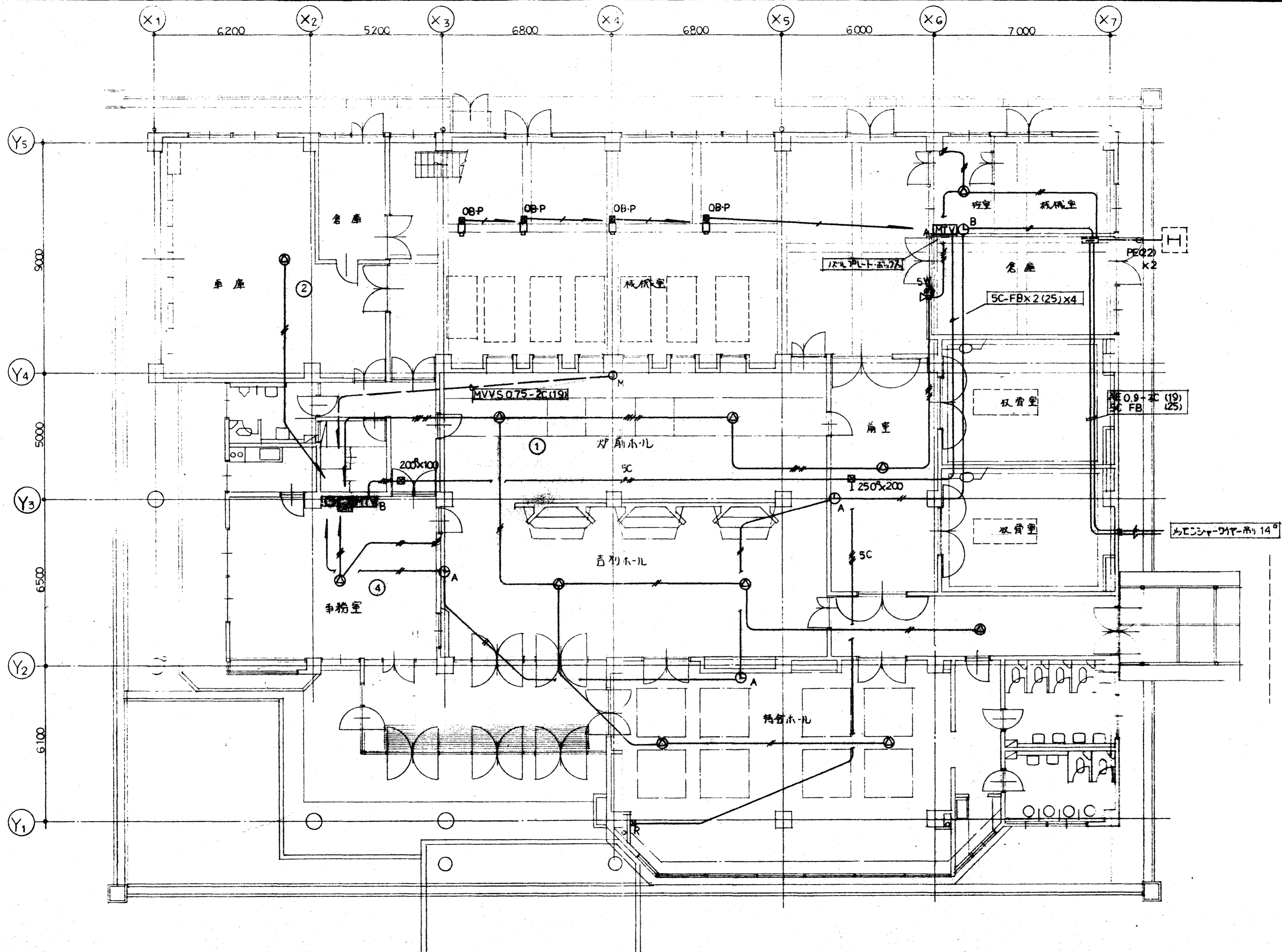
定格入力	5W
入力インピーダンス	1.43kΩ, 2kΩおよび8Ω
周波数特性	250-12,000Hz (偏差20dB)
出力音圧レベル	98dB以上 (1W, 1m)

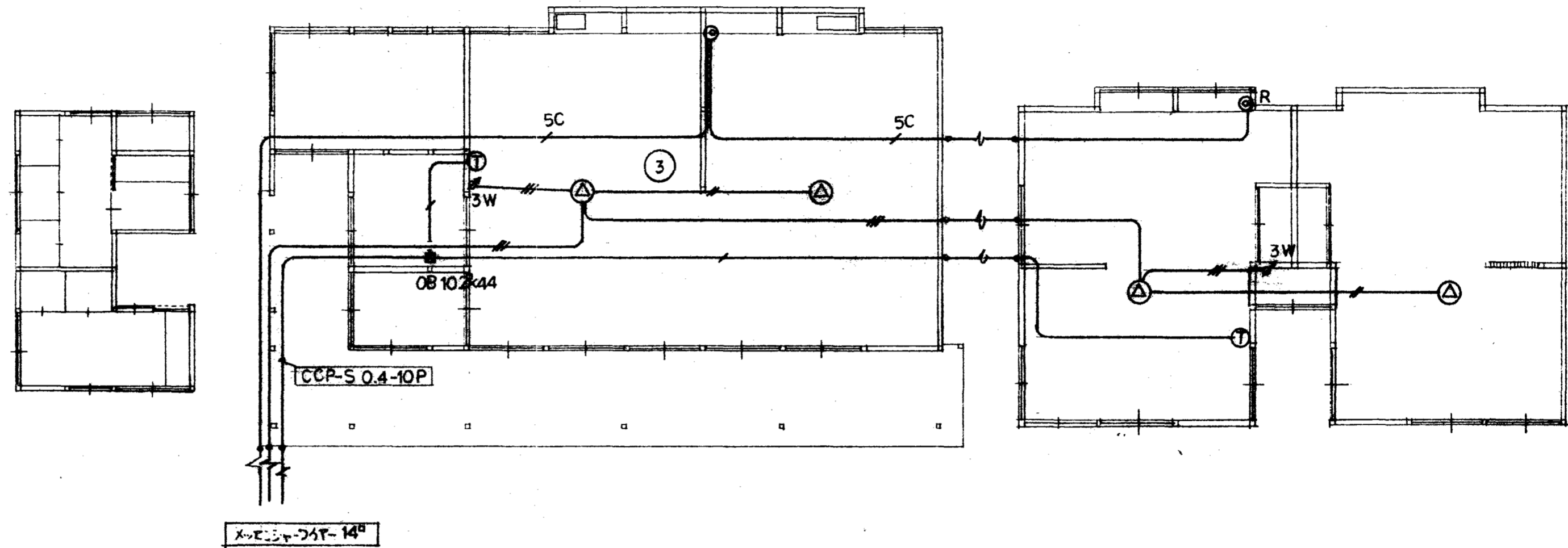




SHFITOJI 600°
 床白
 手摺 700°x400
 7C-FB(25)

		茨城県若松市斎場新築		工事設計図		No	
		2階平面図		S=1:100		E-24/	
製図		テレビ装置設備					





	AE 0.9-2C
	0.9-3C
	5C-FB
	ICT 0.4-2P

会津若松市斎場新築

工事設計図

No

製
図

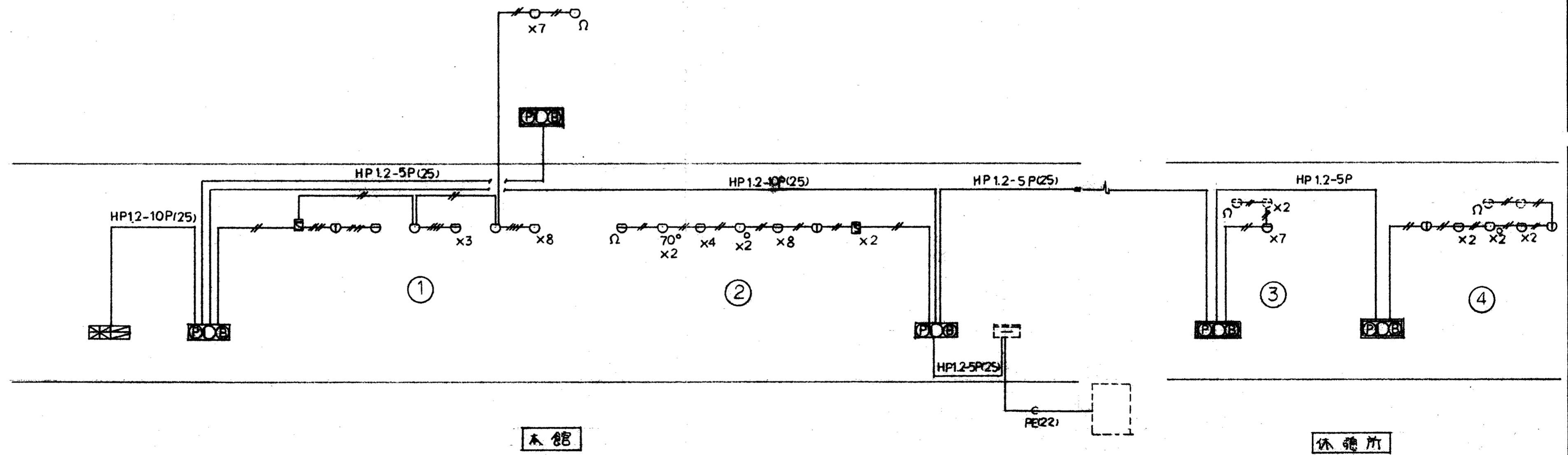
機
器

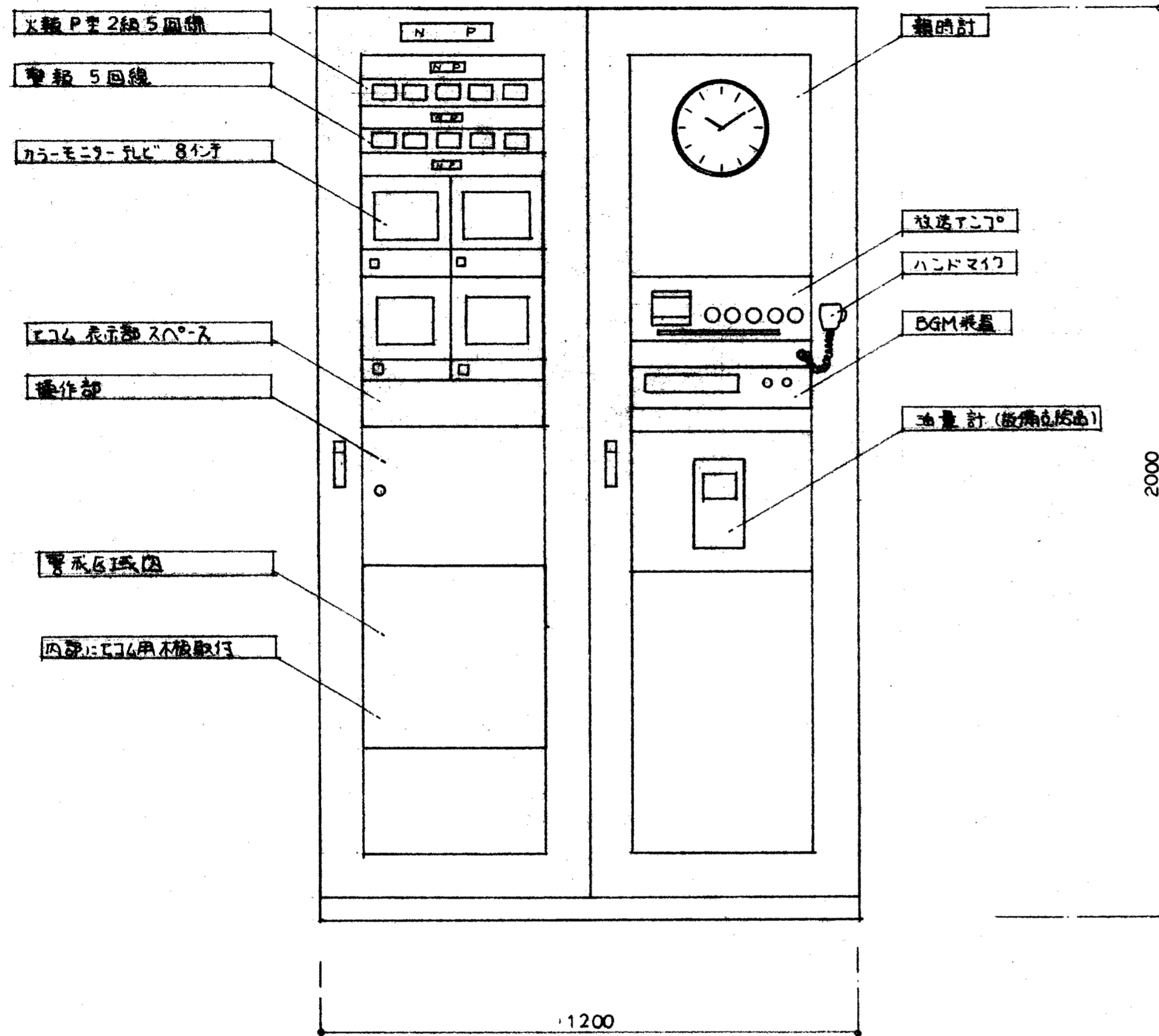
電気設備
電話 テレビ装設機

C=1:100

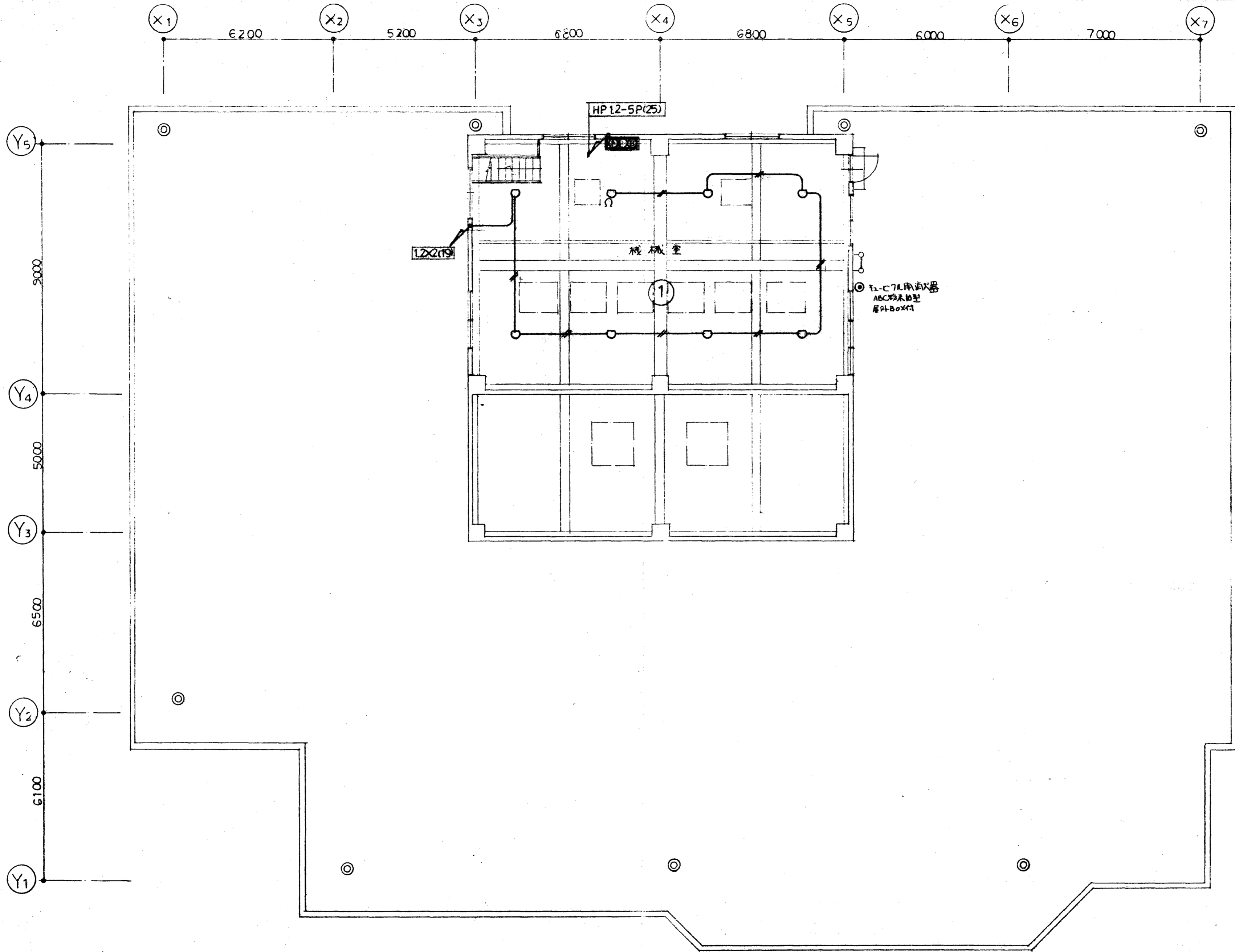
E-26

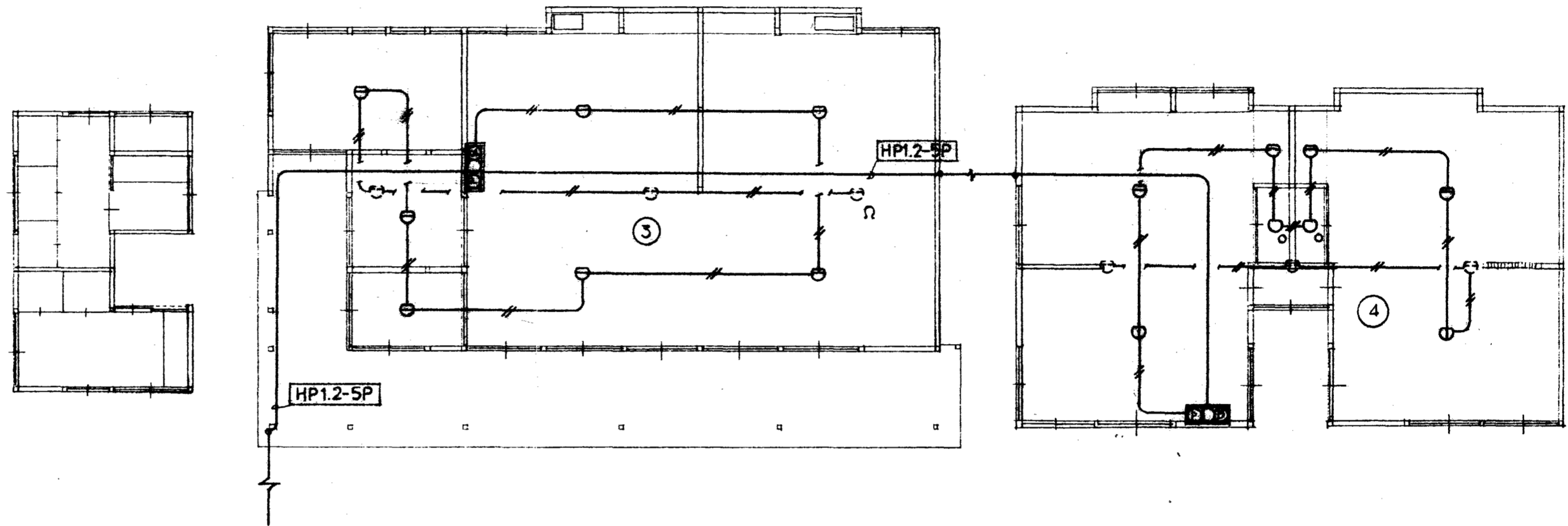
	複合盤
	複合盤 埋込型 P型2級差倍機、 Δ IL150°表示灯
	複合盤 停止型 " " "
	Δ IL 150°
	感知器 差動式2種 2種 確実灯付
	感知器 差動式 " 1種 70℃ " "
	感知器 差動式 " " 120℃ " "
	感知器 差動式 " " 防水型 " "
	感知器 差動式 " 2種 " "
	1.2 x 2 (19)
	1.2 x 4 (19)
	HIV 1.2 x 2 (19)
	ガス漏れ警報器 LPG 100V



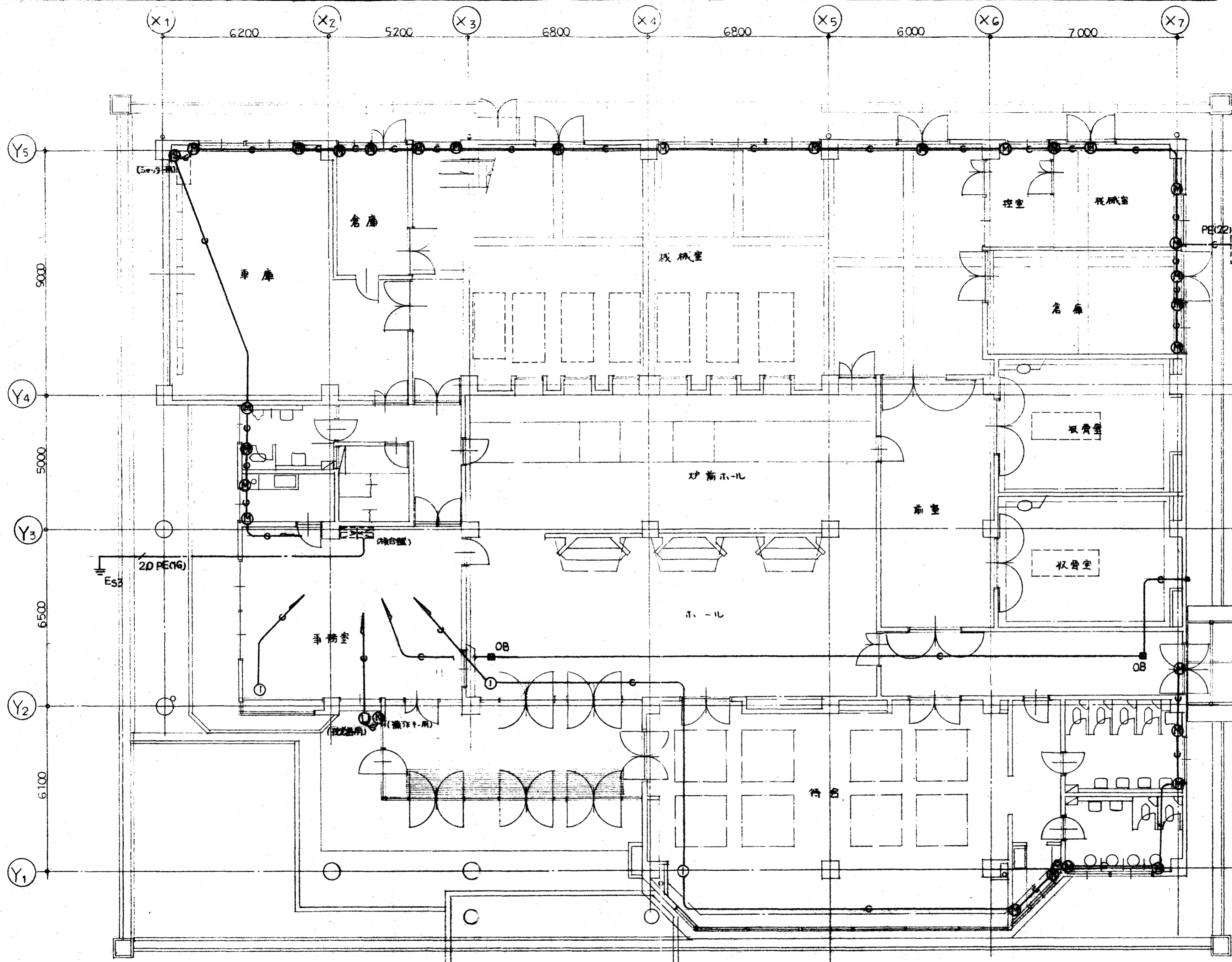


複合盤
(自立型)





		会津若松市市場新築		工事設計図		No	
		休養室平面図		S/1-50		E-31/	
		自動火災報知設備					
		製図		製図			



Ⓜ	アクリル板	1027x44	ANALYT
Ⓢ	"	"	"
Ⓣ	"	"	"
Ⓚ	"	"	"
Ⓛ	"	"	"
ⓄB	"	"	"
—	中込線	12x1	(25)

会津若松市斎場 新築工事 設計図

機械設備工事



5. 工事範囲

Table with columns for '種別' (Category), '有' (Included), '無' (Excluded), and '備考' (Remarks). Rows include electrical, plumbing, HVAC, and other construction items.

6. 建築・機械電気各工事の分担区分表

(※通用欄○印が該当する。)

Main table for '分担区分表' (Division of Work) with columns for '工事項目' (Work Item), '工事内容' (Work Content), and '分担' (Division) for Building, Mechanical, and Electrical.

③ 屋 内 給 水 設 備	① 給水方式	◎水道直結方式・重力給水方式・圧力タンク制御方式・ポンプ回転数制御方式	④ 屋 外 給 水 設 備	⑤ 同上機	※水道事業者の規程による◎MC-3 (◎鉄筋入り・なし) (営2.1.9.3)	⑧ 給 湯 設 備	① 管	◎鋼管(Mタイプ)・ステンレス鋼管・水道用亜鉛めっき鋼管(住5.2.1)(営2.1.7.1)		
	② 管	◎ライニング鋼管(※本一般部分)・ポリ粉体鋼管(PA.一般部分)		⑥ 受水槽ボルトタップ	※水道事業者指定品(形) (住3.2.7)(営2.1.7.6)		② 弁	◎ガス供給事業者指定品・BL部品・製造者規格品(住5.2.8)(営2.1.3.3)		
	③ 弁	◎ライニング鋼管(VD.土中埋設部分)・ポリ粉体鋼管(PD.土中埋設部分)		⑦ 埋設弁開閉ハンドル	本工事に ※含む ◎含まない		⑧ 電気的絶縁継手	◎取得付ける ◎取得付けない (住3.3.1-1)	③ ガス湯沸器	◎ガス供給事業者指定品・BL部品・製造者規格品(住5.2.8)(営2.1.3.3)
	④ 可換継手	水道直結部分◎JIS10kgf/cm ² 高置水槽以下 ※JIS5kgf/cm ² ・JIS10kgf/cm ² 65A以上はライニング弁とする。(住3.2.3)(営2.1.7.2)		⑧ 電気的絶縁継手	◎取得付ける ◎取得付けない		⑨ 負担金	本工事に ※含まない ◎含む	④ 電気式湯沸器	◎取得付ける ◎取得付けない ・置台形・壁掛形・バランス形 ◎壁掛形・バランス形 ・都市ガス◎液化石油ガス・天然ガス 発熱量 kcal/m ³ 12,000 kcal/kg 容量 50ℓ・100V◎200V 3KW ・BL部品・製造者規格品(住5.2.8)
	⑤ 給水栓	◎吊脚式(※節水◎標準)・駒式 (住3.2.7)(営2.1.1.3)		⑨ 負担金	本工事に ※含まない ◎含む		⑩ 加入金	本工事に ◎含まない ◎含む	⑤ 給湯ボイラー	形式(・横形・立形) 燃料 能力 ・建設者規格・BL部品・製造者規格品(住5.2.8)(営2.1.3.1-2)
	⑥ 不凍給水栓	福島県設備工事標準図による。		⑩ 加入金	本工事に ◎含まない ◎含む		⑪ その他	給水本管よりの分水の場合、水道管理者の指示する管材を使用する。	⑥ 貯湯槽	形式(・横形・立形) 容量 材質 (住5.2.10)(営2.1.3.4)
	⑦ 水抜栓	福島県設備工事標準図による。		⑪ その他	給水本管よりの分水の場合、水道管理者の指示する管材を使用する。		① 管	・排水用鋼鉄管・メカニカル排水用鋼鉄管◎排水用鉛管 ◎硬質塩化ビニル管・コーティング鋼管・配管用炭素鋼管(白管) ◎水道用亜鉛めっき鋼管 (住4.2.1)(営2.1.7.1)	⑦ 煙突その他	◎取得付ける ◎取得付けない (給湯ボイラー用煙突) ・本工事(鋼板厚 mm)・別途工事 (貯湯槽用煙道) ・本工事(鋼板厚 mm)・別途工事 (給湯器用排気筒) ・本工事(鋼板厚 mm)・別途工事
	⑧ 弁	◎樹(200VP B-1付)・VC- (・鉄筋入り・なし)・B5・B6 ※くさり付 (住3.2.8, 4.2.5)(営2.1.9.2)		① 管	◎硬質塩化ビニル管・コーティング鋼管・配管用炭素鋼管(白管) ◎水道用亜鉛めっき鋼管 (住4.2.1)(営2.1.7.1)		② 満水試験継手	◎取得付けない ◎取得付ける (住4.3.7)(営2.2.3.4)	⑧ 湯沸器排気筒	◎取得付ける ◎取得付けない ・保温する・保温しない (営1.2.8.4)
	⑨ 量水器	子メーターは・買取り(・水道事業者指定品・製造者規格品) ・遠隔操作式 ◎貸与品 (住3.2.6)(営2.1.7.5)		② 満水試験継手	◎取得付けない ◎取得付ける (住4.3.7)(営2.2.3.4)		③ 通気金物	◎VA-2形・VA-1形 (住4.3.7)(営2.2.3.4)	⑨ 温水循環ポンプ	◎取得付ける ◎取得付けない ・建設者規格・製造者規格 (営2.1.2.3)
	⑩ 高置水槽	※F.R.P製(・角形・丸形 呼称 m ²)・ステンレス製 (営2.1.4.1-2) 水平床強度(G) ※保温形・普通形 ※防波装置 (住3.2.18) ※内梯子(合成樹脂製) ※外梯子(・アルミ・ステンレス・亜鉛メッキ) ※カギ・一体形・組立形		③ 通気金物	◎VA-2形・VA-1形 (住4.3.7)(営2.2.3.4)		④ 排水金具	排水金具のニッケルクロームメッキ仕上げは2種2級以上とする。	⑩ 同上附属品	◎取得付ける ◎取得付けない ・建設者規格・製造者規格 (営2.1.2.3)
	⑪ 同上架台及び基礎	架台本工事に ※含む ◎含まない (営2.2.2.1) 基礎本工事に ※含まない ◎含む		④ 排水金具	排水金具のニッケルクロームメッキ仕上げは2種2級以上とする。		⑤ 配管吊り及び支持	・A種耐震支持・B種耐震支持 (営2.2.3.3)	⑪ 膨張タンク	◎取得付ける ◎取得付けない ・保温するK4(VI)・保温しない (営2.2.4.3)
	⑫ 受水槽	※F.R.P製(・角形・丸形 呼称 m ²)・ステンレス製 (営2.1.4.2) ・水平床強度(G) ※保温形・普通形 ※防波装置 (住3.2.18) ※内梯子(合成樹脂製) ※外梯子(・アルミ・ステンレス・亜鉛メッキ) ※カギ・一体形・組立形		⑤ 配管吊り及び支持	・A種耐震支持・B種耐震支持 (営2.2.3.3)		① 管	◎ビューム管B形・配管用炭素鋼管(白管)・コーティング鋼管 ◎硬質塩化ビニル管(一形管)・水道用亜鉛めっき鋼管 (住4.2.1)(営2.1.7.1)	⑫ 給湯栓	ハンドル(◎合成樹脂製・陶器製) パッキンは耐熱性 (住5.2.4)
	⑬ 同上架台及び基礎	架台本工事に ※含む ◎含まない (住3.2.18)(営2.1.4.2) 基礎本工事に ※含まない ◎含む		① 管	◎ビューム管B形・配管用炭素鋼管(白管)・コーティング鋼管 ◎硬質塩化ビニル管(一形管)・水道用亜鉛めっき鋼管 (住4.2.1)(営2.1.7.1)		② インポート機	・SA・SB◎SC・既製機(角形) (営2.1.9.4)	⑬ 風呂釜	◎取得付ける ◎取得付けない ・BL部品・製造者規格品 (住5.2.9)
	⑭ 揚水ポンプ	・建設者規格・製造者規格 (住3.2.12)(営2.1.2.1) ・床置横形・水中形		② インポート機	・SA・SB◎SC・既製機(角形) (営2.1.9.4)		③ 同上用蓋	・コンクリート製◎鋼鉄製◎くさり付(◎MHA◎MHB) ※文字付 (住3.2.8, 4.2.5)(営2.1.9.1)	⑭ 電気的絶縁継手	◎取得付ける ◎取得付けない (営2.2.4.3)
	⑮ 同上附属品	◎含む (住3.2.16-1)(営2.1.2.1-2)		③ 同上用蓋	・コンクリート製◎鋼鉄製◎くさり付(◎MHA◎MHB) ※文字付 (住3.2.8, 4.2.5)(営2.1.9.1)		④ たため機	・RA・RB◎RC・既製機(角形) (営2.1.9.5)	① 調理台及び機器	本工事に ※含まない ◎含む
	⑯ 別属ケーブル(水中ポンプ)	電線最小太さ2.0mm ² 以上とし、中間接続はしないこと。		④ たため機	・RA・RB◎RC・既製機(角形) (営2.1.9.5)		⑤ 同上用蓋	◎コンクリート製◎鋼鉄製◎くさり付(◎MHA◎MHB) ※文字付 (住3.2.8, 4.2.5)(営2.1.9.1)	② 配管接続	本工事に ※含まない ◎含む
	⑰ 機器基礎	本工事に ※含まない ◎含む (営2.2.2.1)		⑤ 同上用蓋	◎コンクリート製◎鋼鉄製◎くさり付(◎MHA◎MHB) ※文字付 (住3.2.8, 4.2.5)(営2.1.9.1)		⑥ 排水ポンプ	・水中ポンプ(・汚水・汚物・ブレードレス)・建設者規格・製造者規格 上記を除く排水ポンプ・建設者規格・製造者規格 (住4.2.6)(営2.1.2.4)	③ 器具の固定	燃焼機器及び高さが1.5mを超える機器を固定する。(営2.1.6.1, 2.2.6.1) 下記の機器は固定する。
	⑱ 防振基礎	・A形・B形 (営2.2.2.1)		⑥ 排水ポンプ	・水中ポンプ(・汚水・汚物・ブレードレス)・建設者規格・製造者規格 上記を除く排水ポンプ・建設者規格・製造者規格 (住4.2.6)(営2.1.2.4)		⑦ 機の配筋	福島県設備工事標準図による。	④ 材料	機器を構成する主要材料は営繕共通仕様書第2編第1章1・6・2の2・1・2表による。
	⑲ 塩素滅菌器	圧入式・タンク容量 ℓ・100V・200V (住3.2.13) ※附属品を備える		⑦ 機の配筋	福島県設備工事標準図による。		⑧ ビューム管基礎	福島県設備工事標準図による。	① 形	◎自然式・強制燃焼式(・油焚・ガス焚)
	⑳ 同上基礎	本工事に ※含まない ◎含む		⑧ ビューム管基礎	福島県設備工事標準図による。		① 消火設備の種類	・屋内消火栓・連結送水管・屋外消火栓・スプリンクラー装置 ・ハロゲン化物消火装置・泡消火装置・連結散水装置 ・水道用亜鉛めっき鋼管・圧力配管用炭素鋼管(スケジュール40以上) ・配管用炭素鋼管(白管) (営2.1.5.2)	② 焼却能力	kg/h kg/D
	㉑ 保温	屋外露出管(弁類を含む)はf ₀ で保温厚はIの2倍とする。		① 消火設備の種類	・屋内消火栓・連結送水管・屋外消火栓・スプリンクラー装置 ・ハロゲン化物消火装置・泡消火装置・連結散水装置 ・水道用亜鉛めっき鋼管・圧力配管用炭素鋼管(スケジュール40以上) ・配管用炭素鋼管(白管) (営2.1.5.2)		② 管	・水道用亜鉛めっき鋼管・圧力配管用炭素鋼管(スケジュール40以上) ・配管用炭素鋼管(白管) (営2.1.5.2)	③ 煙突	◎本工事(※製造者規格品・板厚 mm)・別途 ・屋外形はメーカー付属品とする。・集塵器(・取得付ける ◎取得付けない)
	㉒ 機械室配管吊金物	65φ以上の揚水管には防振吊金物(・単式・複式)を取付ける。		② 管	・水道用亜鉛めっき鋼管・圧力配管用炭素鋼管(スケジュール40以上) ・配管用炭素鋼管(白管) (営2.1.5.2)		③ 屋内消火栓箱	◎HB-1A・HB-1B (住6.2.4)(営2.1.5.2) 盗難防止装置・取得付ける ◎取得付けない	④ 電気工事	◎二次側は本工事に含む。
	㉓ 配管吊り及び支持	・A種耐震支持・B種耐震支持 (営2.2.2.3)		③ 屋内消火栓箱	◎HB-1A・HB-1B (住6.2.4)(営2.1.5.2) 盗難防止装置・取得付ける ◎取得付けない		④ ホース掛	◎くし形・カゴ形 (住6.2.4)(営2.1.5.2)	⑤ 防護備	本工事に ◎含む ◎含まない
	㉔ その他	給水管の最小口径は20mmとする。ただし器具、水栓類廻りを除く。 ライニング鋼管の継手箇所にはコアーを取付ける。		④ ホース掛	◎くし形・カゴ形 (住6.2.4)(営2.1.5.2)		⑤ 消火栓弁	◎JIS10kgf/cm ² ・20kgf/cm ² (住6.2.4)(営2.1.5.2)	⑥ 基礎	本工事に ◎含む ◎含まない
	㉕ 操作用配管系統図板(プラスチック製)	・取得付ける ◎取得付けない (住3.3.7) 但し室内配管の流れ方向を示す識別は表示する。		⑤ 消火栓弁	◎JIS10kgf/cm ² ・20kgf/cm ² (住6.2.4)(営2.1.5.2)		⑥ ポンプ及び呼水機装置	◎ユニット形・個別形 (住6.2.4)(営2.1.2.5) ※消火ポンプは日本消防・備安全センター認定マークとする。	⑦ 付属品	◎火種機及び灰種機
④ 屋 外 給 水 設 備	① 管	◎ライニング鋼管(VD)・ポリ粉体鋼管(PD)・水道用硬質塩化ビニル管 ◎水道用耐衝撃性硬質塩化ビニル管・ポリエチレン管 (住3.2.1)(営2.1.7.1)	⑤ 屋 内 排 水 設 備	① 管	◎排水用鋼鉄管・メカニカル排水用鋼鉄管◎排水用鉛管 ◎硬質塩化ビニル管・コーティング鋼管・配管用炭素鋼管(白管) ◎水道用亜鉛めっき鋼管 (住4.2.1)(営2.1.7.1)	⑨ 焼 却 設 備	① 調理台及び機器	本工事に ※含まない ◎含む		
	② 弁	◎ライニング鋼管(VD)・ポリ粉体鋼管(PD)・水道用硬質塩化ビニル管 ◎水道用耐衝撃性硬質塩化ビニル管・ポリエチレン管 (住3.2.1)(営2.1.7.1)		② 満水試験継手	◎取得付けない ◎取得付ける (住4.3.7)(営2.2.3.4)		② 焼却能力	kg/h kg/D		
	③ 弁	◎樹(200VP B-1付)・VC- (・鉄筋入り・なし)・B5・B6 ※くさり付 (住4.2.5, 3.2.8)(営2.1.9.2)		③ 通気金物	◎VA-2形・VA-1形 (住4.3.7)(営2.2.3.4)		③ 同上用蓋	◎コンクリート製◎鋼鉄製◎くさり付(◎MHA◎MHB) ※文字付 (住3.2.8, 4.2.5)(営2.1.9.1)	③ 煙突	◎本工事(※製造者規格品・板厚 mm)・別途 ・屋外形はメーカー付属品とする。・集塵器(・取得付ける ◎取得付けない)
	④ 量水器	子メーターは・買取り(・水道事業者指定品・製造者規格品)(住3.2.6)(営2.1.7.5) ・遠隔操作式 ◎貸与品		④ 排水金具	排水金具のニッケルクロームメッキ仕上げは2種2級以上とする。		④ たため機	・RA・RB◎RC・既製機(角形) (営2.1.9.5)	④ 電気工事	◎二次側は本工事に含む。

⑪ 尿 浄 化 槽 設 備	① 処理対象人員	50人(汚水量 2.5 m ³ /D)
	② 処理性能	◎BOD除去率 65%以上 放流水BOD 90 mg/l以下 SS 75 mg/l以下
	③ 処理種別及び方式	◎単独処理(◎分離接触ばっ気方式・分離ばっ気方式) (住9.1.1)(営7.1.1.1) ・合併処理(・接触ばっ気方式・回転接触方式・長時間ばっ気方式)
	④ 形式	・現場施工形 ◎ユニット形(FRP製) (住9.1.1)(営7.1.1.1)
	⑤ 流入管径	設計GL 一約 1300 mm
	⑥ 汚水汚物ポンプ	・水中・建設者規格・製造者規格 (住9.2.5)(営7.2.1.5)
	⑦ 排水ポンプ	・水中・建設者規格・製造者規格 (住4.2.6)(営2.1.2.4)
	⑧ 空気配管材料	※一般配管用ステンレス鋼管 ◎硬質塩化ビニル管(VP)(住3.2.1)(営2.1.7.1)
	⑨ 分水計装置	・槽外設置・槽内設置 (住9.2.11)(営7.2.1.11) 材質・SUS304製(厚さ2mm以上)・FRP製(厚さ4mm以上) ・PVC製(厚さ5mm以上)・SS41製(厚さ3.2mm以上,エポキシ樹脂塗装)
	⑩ 換気装置(機械室)	・取付ける(温度サーモ0~40℃取付)・取付けない
	⑪ 付属ケーブル(水中ポンプ)	電線最小太さ2.0mm以上とし、中間接続はしないこと。
	⑫ 排水方式	・ポンプアップ方式・自然流下方式
	⑬ 排気管	◎自然排気・強制排気 (住9.2.23)(営7.2.1.23)
	⑭ 防臭ふた	本工事に◎含む・含まない (住9.2.22)(営7.2.1.22) ・くさり付(・MHA◎MHB)◎チェッカープレート・安全ロック式ふた
	⑮ 液面制御装置	水銀スイッチとする。 (住9.2.21)(営7.2.1.21)
	⑯ 施工範囲	躯体工事 本工事に◎含む・含まない 機械工事 本工事に◎含む・含まない 電気工事 本工事に◎含む◎含まない 制御盤 本工事に◎含む・含まない フェンス 本工事に◎含む・含まない
	⑰ フローシートパネル	カラー写真フィルムを厚さ6mmアクリル樹脂板に貼付の上厚さ2mmの透明アクリル樹脂板にて固定する(寸法横 mm縦 mm)。
	⑱ 消毒剤	◎180日分を納入する。・納入しない
	⑲ 備品	本工事に◎含む・含まない (住9.2.3~4, 9.2.26)(営7.2.1.3~4)
	⑳ 放流水質(BOD, SS)	完成引渡6ヶ月後に水質検査報告書を監督員に提出する。

⑫ ガ ス 設 備	① ガスの種類	・都市ガス(発熱量 kcal/m ³ , 対空気比重) ◎液化石油ガス(発熱量 12,000 kcal/kg)
	② 管	◎配管用炭素鋼管(白管)・圧力配管用炭素鋼管(住7.2.1)(営5.2.1.1, 5.3.1.1) ・配管用アーク溶接炭素鋼管・ガス用ポリエチレン管・塩化ビニル被覆鋼管 ◎ポリエチレン被覆鋼管(埋設部)
	③ ガスメーター	観メーター◎貸与品・買取り(計量法検定合格品) (住7.2.3)(営5.2.1.4)
	④ ガス栓	青銅製又は黄銅製ニッケルクロムメッキ, 安全機構付。 (住7.2.2)(営5.2.1.2)
	⑤ ガス漏れ警報器(一体形)	・取付ける(日本ガス機器検査協会合格証票貼付品)・取付けない(住7.2.6)(営5.2.1)
	⑥ ボンベ	◎別途・本工事 (住7.2.3)(営5.3.1.3) 容器容量は(・10kg・20kg◎50kg, 2本立用)
	⑦ 電氣的絶縁継手	※取付ける◎取付けない (住7.2.1)(営5.2.1.1)
	⑧ 耐震施工	福島県設備工事標準図による。
	⑨ 危険等表示板	本工事に※含む(鋼板製メラミン焼付塗装)◎含まない
	⑩ 消火器	本工事に※含む(収納ボックス共)◎含まない
	⑪ 住戸番号	・表示する・表示しない (住7.2.7)
	⑫ 調理用ガス機器	本工事に◎含む◎含まない (住7.2.5, 7.2.12)
	⑬ 液化石油ガス設備士	◎適用する・適用しない
	⑭ 配管吊り及び支持	・A種耐震支持・B種耐震支持 (営5.2.2.3)

⑬ 空 調 和 暖 房 設 備	① 設計条件 (温湿度調整目標値)	<table border="1"> <tr> <th rowspan="2"></th> <th colspan="2">外 気</th> <th colspan="2">一 般 系 統</th> <th colspan="2">内</th> </tr> <tr> <th>温度(DB)</th> <th>湿度(RH)</th> <th>温度(DB)</th> <th>湿度(RH)</th> <th>温度(DB)</th> <th>湿度(RH)</th> </tr> <tr> <td>冬 期</td> <td>-1℃</td> <td>38%</td> <td>20℃</td> <td>%</td> <td>℃</td> <td>%</td> </tr> <tr> <td>夏 期</td> <td>33℃</td> <td>68%</td> <td>27℃</td> <td>55%</td> <td>℃</td> <td>%</td> </tr> </table>		外 気		一 般 系 統		内		温度(DB)	湿度(RH)	温度(DB)	湿度(RH)	温度(DB)	湿度(RH)	冬 期	-1℃	38%	20℃	%	℃	%	夏 期	33℃	68%	27℃	55%	℃	%
		外 気		一 般 系 統		内																							
		温度(DB)	湿度(RH)	温度(DB)	湿度(RH)	温度(DB)	湿度(RH)																						
	冬 期	-1℃	38%	20℃	%	℃	%																						
	夏 期	33℃	68%	27℃	55%	℃	%																						
	② 測定表	完成後下記の測定表をすみやかに監督員に提出する。 ◎温度・湿度◎風量・騒音・振動・																											
	③ 設備方式	・セントラル方式(中央式)◎ユニット方式(個別式) ◎空気調和・全空気方式・ファンコイルユニット, ダクト併用方式◎パッケージユニット方式 ・直接暖房・蒸気暖房・温水暖房 ・その他・F F式暖房・床暖房																											
	④ 温 熱 源	・温風暖房機・ボイラー(・蒸気・温水)・BL部品 (住10.1.1, 10.2.1)(営3.1.1.1~7)																											
	⑤ 冷 熱 源	・冷凍機(・遠心・取収式)・チリングユニット (営3.1.2.1~7) ・冷水発生機◎パッケージユニット・ヒートポンプチリングユニット																											
	⑥ 煤煙監視装置	煤煙濃度計を※取付ける・取付けない (営3.1.1.8~9) 記録計を・取付ける・取付けない ・監視盤組込形・別置形 投光器受光器には送風機を※取り付ける・取付けない 煤じん測定口を・取付ける(測定口80φフランジ止)・取付けない																											
	⑦ 煙 突	※別途・本工事(径 mm×高さ m×板厚 mm) (営3.1.1.8)																											
	⑧ 煙 道	鋼板厚・3.2mm・4.5mm・図示による																											
	⑨ オイルポンプ	※建設者規格・製造者規格 (営3.1.9.4)																											
	⑩ オイルサービスタンク	・製造者規格・建設者規格 (営3.1.10.6) 油面制御装置・建設者規格・製造者規格(防爆形) (営3.1.13.4)																											
	⑪ 管用伸縮継手	◎複式・単式 (営3.1.12.8)																											
	⑫ 放 熱 器	温水暖房ピーコックを※取付ける・取付けない (住10.2.2)(営3.1.7.2~3) 蒸気暖房エアモイスナーを・取付ける・取付けない (営3.1.7.9) 放熱器は固定金物を用いて壁及び床に堅固に取付ける。 (営3.2.1.10~11) ファンコンベクターは接地付とする。 コンベクター及びベースボードヒーター用の弁, トラップはケーシングに(・内蔵・露出)予備フィルターを50%納入する。(端数切上)																											
	⑬ 空 気 調 和 機	・ユニット形(・立形・横形・マルチ形)◎パッケージ形(・水冷◎空冷) 加熱方式・蒸気・温水・電気 (営3.1.4.1) 加湿機※ノズル噴霧式(・蒸気・水・加圧水)・パン形・蒸気発生器 エリミネーター・取付ける・取付けない 形式・パネル形式・折込形・自動巻取形(・立形・横形)・濾材誘導形 ・電気集じん器 (営3.1.5.1~6) 巻取方式※タイマー式(微差圧計付きとする)・タイマー差圧併用式・差圧式 予備フィルターを100%納入する。 濾材※非再生式・再生式 運転表示灯を※取付ける・取付けない (営3.1.4.2) 床置形(・露出形・隠ぺい形) 壁及び床面に固定する。 天井吊り形(・露出形・隠ぺい形・カセット形) ローボイ形(・露出形・隠ぺい形) 温水入口温度 ℃, 冷水入口温度 ℃ 予備フィルターを50%納入する(端数切上)																											
	⑭ 全 熱 交 換 器	・回転形・静止形 (営3.1.6.1~2)																											
	⑮ 膨 脹 水 槽	※保温する(K&I/V)・保温しない (営1.2.8.5)																											
⑯ 風 道	◎低速・高速 (住11.2.2~6)(営3.1.11.1~4) ◎矩形風道(◎亜鉛鉄板・鋼板・ステンレス(SUS304)) ◎円形風道(◎スパイラルダクト(亜鉛鉄板)・ステンレス(SUS304)・硬質塩化ビニル管)																												
⑰ 風道の吊り及び支持	横走り主風道は・A種耐震支持・B種耐震支持 (営3.2.2.2~3)																												

⑭ 空 調 和 暖 房 設 備	⑰ 風量測定口	取付け位置は図示による。 (営3.1.11.17)
	⑱ 吹出口及び吸込口	◎アルミ製・鋼板製 (営3.1.11.7~8)
	⑳ 防 煙 ダ ン パ	(イ) 操作方式 ※電気式(瞬間通電式又は電動式DC24V0.6A以下)・空気式 (ロ) 復帰方式 ※遠隔式(電動式(定格入力DC24V0.7A以下))・手動式 (ハ) 作動方式・順送り閉鎖機構・同時閉鎖機構 (ニ) 日本建築センター防災性能評定委員会の評定品とする。 (営3.1.11.12)
	㉑ 防 火 ダ ン パ	(イ) 日本建築センター防災性能評定委員会の評定品とする。 (住11.2.7)(営3.1.11.11) (ロ) 図示のFVDとは、防火ダンパーに風量調節機構を組み込んだもので調整機構は、段階的調節機構とする。
	㉒ ビストンダンパー	復帰方式・自動式・手元式 (営3.1.11.14)
	㉓ 管 材	蒸気管 ※配管用炭素鋼管(黒管) (住10.2.6)(営3.1.12.1~2) 油管 ◎配管用炭素鋼管(黒管) 冷温水管 ※配管用炭素鋼管(白管)・銅管(Mタイプ) ドレン排水管 ※配管用炭素鋼管(白管)◎硬質塩化ビニル管(一級管) 冷却水管 ※ライニング鋼管(白管) 冷媒管 ◎銅管(Lタイプ)・配管用炭素鋼管(黒)・圧力配管用炭素鋼管(sch40) 膨脹管空気抜き管及び膨脹水槽よりボイラの給水管は配管用炭素鋼管(白)とする。
	㉔ 弁	・JIS5kgf/cm ² ・JIS10kgf/cm ² (営3.1.12.3~7) 冷却水用65φ以上の弁類はライニング弁とする。
	㉕ 温 度 計	下記の管に、温度計を取付ける。 (営3.1.13.2) (イ) 冷凍機の冷却水及び冷水の出入口, ボイラ温水入口 (ロ) ユニット型空調和機の冷温水出入口, パッケージ型空調和機の冷却水及び温水の出入口 (ハ) 熱交換器の温水出入口, 冷温水管寄せの各配管 (ニ) 空気調和機, 温風暖房機廻り送気風道, 外気風道及び送気風道
	㉖ 圧力計及び連成計	下記の管に圧力計及び連成計を取付ける。 (営3.1.13.1) 圧力計 (イ) 冷凍機の冷却水及び冷水の出入口 (ロ) ユニット型空調和機の冷温水出入口 (ハ) 熱交換器の温水出入口, オイルポンプの吐出管 連成計 オイルポンプの吸込管
	㉗ 瞬間流量計及び流量測定口	下記の箇所に取付ける。 (営3.1.13.7) 冷温水管寄せの各配管(・瞬間流量計・測定用タッピング32A) 冷凍機の(・冷水・冷却水)出口(・瞬間流量計・測定用タッピング32A) ボイラの温水出口(・瞬間流量計・測定用タッピング32A) 熱交換器の温水出口(・瞬間流量計・測定用タッピング32A)
	㉘ 機械室配管吊金物	65φ以上の冷温水管(・冷却水管・給水管)には、防振吊金物(・単式・複式)を取付ける。 (営3.2.3.1)
	㉙ 配管の吊り及び支持	・A種耐震支持・B種耐震支持 (営3.2.3.1~5)
	㉚ 機 器 基 礎	※別途・本工事 (営3.2.1.1~13)
	㉛ 防 振 基 礎	・防振基礎(・A形・B形) (営3.2.1.1~13)
	㉜ 防 油 堤	◎別途・本工事
	㉝ 対震自動消火装置	※取付ける・取付けない (営3.1.1.10)
	㉞ 燃料供給停止装置	・設ける・設けない
	㉟ 蒸気管の接合	原則として80A以上は溶接接合とする。ただし主管は約15m以内にフランジ継手を挿入する。(機械室に限る)
	㊱ 消音内貼り	(イ) 風道保温厚50mmを必要とする箇所は消音板を50mm, 25mmを必要とする箇所は25mmとする。 (ロ) 内貼りチャンパ類の寸法表示は外径寸法とする。
	㊲ 保 温	(イ) 送気風道の保温を◎施工しない・施工する (営1.2.8.5) (ロ) 外気取入風道の保温を・施工しない◎施工する(壁ヨリ1m以上) (ハ) 温風用送風機(機外別置)の保温を◎施工しない・施工する (ニ) 建物内の空気抜き管の保温は, 空気抜き管までとし(弁も含む)温水管の項による。 (ホ) 空気調和機, ファンコイルユニット等の排水管の保温は給排水衛生設備の排水管の項による。 (ヘ) 屋外露出配管の保温は屋内給水設備の項による。
㊳ 電 気 工 事 の 範 囲	一般共通事項16項, 「他工事との取り合い」によるほか下記による。 (イ) 空調用の制御配線は◎本工事・別途工事 配管時, 別途工事	

13	空気調和・暖房・冷房設備	41 油配管の埋設	(ロ) 地震感知器の配管配線は ・ 別途 ・ 本工事 (イ) 煤煙濃度計の指示計迄の配管配線は別途、指示計以降の配管配線は本工事とする。 (ニ) ハッゲンエアコン と操作スイッチ間の渡り配管配線は ・ 別途 ○ 本工事 (ホ) 防煙ダンパと運動制御器迄の配管配線及び運動制御器から煙感知器迄の配管配線は ・ 別途 ・ 本工事 溶接接合とする。(営3.2.3.4) 防食被覆は所轄消防署の規定による。()	16 地下貯油槽設備	8 コンクリート工事	・ 施工14による。 * 別途 ○ 本工事
		42 消火器	・ 本工事(収納ボックス共) ○ 別途		9 油配管の埋設	溶接接合とする。(営3.2.3.4) 防食被覆は所轄消防署の規定による。()
43	その他	ヒューズ(温度ヒューズも含む)及び表示灯は予備品として100%納入する。 ボイラー室内制御盤以降二次側配線は耐熱電線とする。	10 消火器	* 本工事(収納ボックス共) ○ 別途	所轄消防署の規定による。()	
14	換気設備	1 準用事項	空気調和、暖房、冷房の当該項目に準ずる項目は下記の○印あるものとする。 ・ 2 ・ 14 ・ 18 ・ 19 ・ 20 ・ 21 ・ 22 ・ 23 ・ 24 ・ 32 ・ 33 ・ 38 ・ 39 ・ 40 ・ 43	17 自動制御設備	1 自動制御方式	・ 電気式 ・ 電子式 ・ 空気式 (営4.1.1.1)
2 換気扇類及び付属品		・ BL部品 ○ 製造者規格品 (住11.2.1)	2 空気圧縮機		* 空冷式 ・ 水冷式 (営4.1.1.6)	
3 一般湯沸器のフード	・ 別途 ・ 本工事	4 厨房用フード	* ステンレス製(※ SUS304 ・ SUS430)厚さ1.0mm以上とする。(営3.1.11.15) ・ 亜鉛鉄板製(厚さ1.0mm以上とする) フードの周囲には幕板(フード面から天井面まで)を取付ける(・ 本工事 ・ 別途工事) 幕板材質 ※ ステンレス製(※ SUS304 ・ SUS430)厚さ1.0mm以上 ・ 亜鉛鉄板製(厚さ1.0mm以上) フードコックを ※ 取付ける ・ 取付けない	3 自動制御盤類、現場盤などの構成	営繕共通仕様書電気設備工事(昭和60年版)第2編第9節によるほか、中央監視制御装置のシステム構成上必要とされる機能は追従すること。(営4.1.1.7)	
5 保温	多湿箇所(浴室、厨房)の外気取入れ風道は(ただし送風機、排風機は除く)保温する。(営1.2.8.5)	6 電気工事の範囲	一般共通事項16項「他工事との取り合い」による他下記による。 (イ) 換気扇、全熱交換器及びガス器具排気連動装置の配管、配線は本工事に ○ 含まない ・ 含む	4 温・湿度検出器及び調節器	室内装置のサーモスタット、ヒューミデスタット、調節器はケース付とする。(営4.2.2.1)	
15	排煙設備	1 風道	・ 亜鉛鉄板製 ・ 鋼板製(厚さ1.6mm以上) (営3.1.11.1-2)	18 中央監視制御装置	1 中央監視制御装置のシステム構成、機能	別添システム構成図及び機能一覧表ならびに管理点数表による。(営4.1.2.1)
2 排煙口の形式		・ 可動パネル ・ 可動羽根(スリット共) (営3.1.11.9)	2 管理対象		・ 電気設備 ・ 給排水衛生設備 ・ 空調設備 ・ 防災設備 ・ エレベータ設備 ・ 自家発電設備 ・ その他	
3 排煙機	日本建築センター防火性能評定委員会の評定品とする。(営3.1.8.4)	4 開放装置	・ 手動式 ・ 手動及び遠隔操作式 (営3.1.11.9)	3 自動制御設備との整合	自動制御盤及び現場盤とはこのシステム構成において協調をとること。	
4 非常電源	本工事に ・ 含む ・ 含まない	5 風量測定方式	完成後測定表を提出する。 JISA-4303の検査基準4-2-1-(2)-(c)による。	4 中央処理装置	主記憶容量 キロバイト (営4.1.2.2)	
6 風量測定方式	完成後測定表を提出する。 JISA-4303の検査基準4-2-1-(2)-(c)による。	7 排煙風道の吊り及び支持	・ A種耐震支持 ・ B種耐震支持	5 監視装置および機器	・ 各装置分離形 ・ 一体形 (営4.1.2.2)	
7 排煙風道の吊り及び支持	・ A種耐震支持 ・ B種耐震支持			6 グラフィックパネル	・ 自立形 ・ 操作卓組込一体形 (営4.1.2.2)	
16	地下貯油槽設備	1 管材	◎ 配管用炭素鋼管(黒管) (営3.1.12.2)	7 記録装置	材質(・ 合成樹脂製 ・ 鋼板製) (営4.1.2.2)	
2 油槽蓋		◎ 本工事(○ 建設省形 []) ・ 製造者規格 []) ・ 別途	3 遮断油量指示計	指示計を ○ 取付ける ・ 取付けない (営3.1.13.5-6) 形式 ※ 建設省形 ○ 製造者規格品(○ 電気式 防塵) ・ 空気式	8 中央監視盤と端末装置との通話	各記録はプリンターを用いて行ない、正常時は黒印字、異常時は赤印字とする。(営4.1.2.3) 印字方式(・ ドット式 ・ 活字インパクト式)
3 遮断油量指示計	指示計を ○ 取付ける ・ 取付けない (営3.1.13.5-6) 形式 ※ 建設省形 ○ 製造者規格品(○ 電気式 防塵) ・ 空気式	4 計量尺	青銅製又は黄銅製及びアルミ製とし、100ℓ実測目盛刻印入とする。(営3.1.10.5)	9 電源装置の種類	インターホンを設置(・ する ・ しない) 通話形式は相互式とする。(営4.1.2.3)	
4 計量尺	青銅製又は黄銅製及びアルミ製とし、100ℓ実測目盛刻印入とする。(営3.1.10.5)	5 危険物表示板	鋼板製メラミン焼付塗装とし槽最寄の適切な位置に取付ける。	10 その他	簡易形電源装置 蓄電池を ・ 設ける(形式 容量 Ah) ・ 設けない ・ 交流無停電電源装置 (イ) 定格電圧 V、50Hz 容量 KVA (ロ) 蓄電池形式 容量 Ah (営4.1.2.2)	
5 危険物表示板	鋼板製メラミン焼付塗装とし槽最寄の適切な位置に取付ける。	6 計量口、注油口	◎ 施錠付とする。		営繕共通仕様書電気設備工事(昭和60年版)第7編第1章～第2章による。	
6 計量口、注油口	◎ 施錠付とする。	7 すえ付	営繕機械設備工事標準図の ◎ 施工15による。保護は(○ エポキシ樹脂塗り ・ アスファルト塗り ・ モルタル塗り)とする。			

注1 機器取付高

機器取付高さは、下記を標準とする。ただしこれによりがたい場合は監督員と協議する。

名称	測点	取付高(㎜)	名称	測点	取付高(㎜)
衛生器具	小便器(壁掛ストール)	床面～前縁上端	鏡(一般用)	床面～鏡上端	1,700
	洗面器	床面～前縁上端	(身障者用)	床面～鏡上端	1,700
	身障者用洗面器	床面～前縁上端	(浴室洗い場用)	床面～鏡上端	1,100
	手洗器	床面～前縁上端	化粧棚	床面～棚上端	1,050
	流し	床面～前縁上端	室内形温湿度検出器	床面～中心	1,500
空調和	洗浄用ハイタンク	床面～タンク下端	ファンコイル用操作スイッチ	床面～中心	1,300
	洗浄用すみ付ロータンク(和風大便器)	床面～タンク下端	排煙口手動操作箱	床面～中心	800～1,500
水	流し	床～吐水口			
	(浴槽)	浴槽縁～			
	(手洗器)	前縁上端～			
	(浴室洗い場)	洗い場床面～			
洗濯機	床面～				

機 械 設 備 工 事 ・ 試 験 内 容 一 覧

1. 給排水・衛生・暖房・空調設備

工 種	項 目	試 験 時 期				試 験 方 法	規 定 値	最 小 保 持 時 間	備 考
		配管途中	隠ぺい前	埋戻し前	配管完了後				
1	ポンプ本体				据付完了後	水 圧	最高吐出圧力（運転範囲に於る最高全揚程+最高押込圧力）の1.5倍、但し最低1.5kgf/cm ²		揚水ポンプ、深井戸用水中ポンプ、温 水循環ポンプ
2	"				"	"	最高吐出圧力の1.5倍、但し最低4.0kgf/cm ²		汚水、雑排水、汚物用水中ポンプ
3	"（屋内消火 栓設備）				"	"	最高吐出圧力の1.5倍以上 但し最小10kgf/cm ²		消火ポンプ
4	圧力水槽、貯湯槽				"	"	最高使用圧力4.3kgf/cm ² 以下は最高使用圧力の2倍 2kgf/cm ² 未満は2kgf/cm ² 最高使用圧力が4.3kgf/cm ² を超え15kgf/cm ² 以下は最高使用圧力の1.3倍に3kgf/cm ² を加えた 圧力		
⑤	給水装置に該当する管	○	○	○	○	"	最小17.5kgf/cm ²	60分	水道事業者の試験圧力がある場合はそ れに依る。
6	揚 水 管	○	○	○	○	"	ポンプ全揚程に相当する圧力の2倍、但し最小10kgf/cm ²	"	
7	高置水槽以下の配管	○	○	○	○	"	静水頭に相当する圧力の2倍、但し最小10kgf/cm ²	"	
⑧	給 湯 管	○	○	○	○	"	同 上		
⑨	排 水 管	○	○	○	○	滴 水	煙試験は刺激性の濃煙を使用し25mmH ₂ Oとする（試験は15分）	30分	汚水・一般雑排水、衛生器具取付完了 後
10	水 質 試 験				○	簡 易 試 験	硝酸性窒素及び亜硝酸性窒素、塩素イオン、有機物等（過マンガン酸カリウム消費量）、一般細菌並 びに大腸菌群、PH値、臭気、味、色度、濁度以上10項目		福島県条例第39号 福島県給水施設等条例
11	塩素滅菌装置				機器取付後	動 作 試 験	注入及び停止をそれぞれ10回以上繰り返し異常の有無		（注3.3.8）
12	水 槽 類				○	滴 水	満水状態で12時間以上放置後満水の有無		（注3.3.8）（注5.3.5）
⑬	通 水 試 験				○	通 水	水栓等器具取付後各々全開又は作動させ吐出水が清澄になるまで行う。及び各器具の水量の調整		（注3.3.8）
14	連絡送水管送水口	○	○	○	○	水 圧	最小17.5kgf/cm ²	60分	
15	ハロゲン化物消火配管				○	気 密	25kgf/cm ² 、加圧の場合25kgf/cm ² 42kgf/cm ² 、" " 42kgf/cm ²	10分	空気又は窒素ガス
16	粉末消火配管				○	"	25kgf/cm ²	10分	" "
17	鋼製ボイラ				据付完了後	水 圧	・最高使用圧力4.3kgf/cm ² 以下は最高使用圧力の2倍、但し2kgf/cm ² 未満は2kgf/cm ² ・最高使用圧力4.3kgf/cm ² を超え15kgf/cm ² 以下は最高使用圧力の1.3倍に3kgf/cm ² を加えた圧力 ・最高使用圧力以上の圧力を受ける恐れのない温水ボイラーは最高使用圧力に1kgf/cm ² を加えた圧力		
18	鋳鉄製ボイラ				据付完了後	水 圧	2kgf/cm ² 最高使用圧力の1.5倍、但し2kgf/cm ² 未満は2kgf/cm ² 最高使用圧力が2kgf/cm ² 以下は4kgf/cm ² 、最高使用圧力が2kgf/cm ² を超えるボイラーは最高使 用圧力の2倍		蒸気ボイラー 温水ボイラー セクション
19	冷 凍 機				○	"	設計圧力の1.5倍		冷水及び冷却水系路
20	遠心冷凍機				○	気 密	真空700mmHg以上とし、真空降下は12時間に対して1時間当たり0.35mmHg以下とす。		フロン12などの高圧ガス使用を除く
21	吸収冷凍機				○	"	ハロンガスによる漏れ試験（機内より機外へ）又はヘリウムガスによる漏れ試験（機外より機内）漏 れ量は2×10 ⁻⁸ atm・cc/s		直置き吸収冷温水機 小形直置き吸収冷温水機
22	鋳鉄放熱器				○	水 圧	最高使用圧力2kgf/cm ² 以下は4kgf/cm ² 、最高使用圧力2kgf/cm ² を超える場合最高使用圧力の 1.5倍、但し最低4kgf/cm ²		
23	フィンチューブ放熱器 ファンコンベクター				○	気 密 耐 圧	空気又は窒素ガス圧試験で5kgf/cm ²		
⑭	地下貯油槽				○	水 圧	0.75kgf/cm ² 以上	10分	
25	熱交換器、管寄せ				○	"	最高使用圧力4.3kgf/cm ² 以下は最高使用圧力の2倍、但し2kgf/cm ² 未満は2kgf/cm ²		
26	蒸 気 配 管	○	○	○	○	"	最高使用圧力の2倍、但し2kgf/cm ² 未満は2kgf/cm ²	30分	
⑰	油 配 管	○	○	○	○	空 気 圧	最大常用圧力の1.5倍	30分	
⑱	冷 媒 配 管				○	気 密	フロン12 高圧側13.2kg/cm ² G、低圧側8kg/cm ² G フロン22 " 16.0kg/cm ² G " 8kg/cm ² G	30分	窒素ガス、炭酸ガス又は乾燥空気
29									
30									
⑳	し尿浄化槽	○		○	○	水 圧	当該ポンプの全揚程に相当する圧力の2倍	60分	汚水移送管、消泡管
		○		○	○	気 密	最高使用圧力の1.1倍の圧力	60分	送気管、散気管

2. ガス設備

1	都 市 ガ ス	○	○	○	○	気 点 密 火	原則として最高使用圧力の1.1倍以上 ガスメーター取付後、管内空気を排出して行う。	供給会社 規 程	J I S S 2121（記録） （都市ガス用燃焼器具類の試験方法）
②	液 化 石 油 ガ ス	○	○	○	○	気 点 密 火	圧力値は高圧側15.6kgf/cm ² 以上、低圧側840mmH ₂ O以上1,000mmH ₂ O未満 ガスメーター取付後管内空気を排出して行う。		J I S S 2101（記録） （液化石油ガス用燃焼器具類の試験方 法）

福島県設備工事標準図 (昭和61年版)

1. 適用範囲

(1) 図面及びこの標準図に記載されていない事項は、「建設省住宅局監修公共住宅建設工事共通仕様書機械編(昭和60年版)」、「建設大臣官房官庁官繕部監修機械設備工事共通仕様書(昭和60年版)」及び「建設大臣官房官庁官繕部監修機械設備工事標準図(昭和60年版)」による。

2. 特記仕様

本仕様の取扱いについては次に依る。

(1) 番号に○印のついたものを適用する。

① 配管類及び風道関係塗装要領

1. 屋内、外の露出部分の配管、風道の塗装色は、原則として下記によるが監督員の指示によって決定する。

2. 配管の識別表示は下表による。

識別色の施工区分は、監督員の指示による。

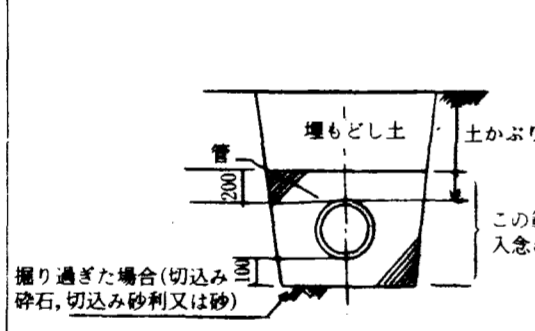
この識別表示は、JIS Z9102の安全色の規格によった。

配管の種類	識別色	標準色見本帳記号
水	青	L10 - 805
蒸気	暗い赤	L14 - 143
空気	白	L1 - 1036
ガス	黄	L15 - 308
酸又はアルカリ	灰紫	L10 - 937
油	暗い黄赤	L11 - 214
電気	うすい黄赤	L16 - 145

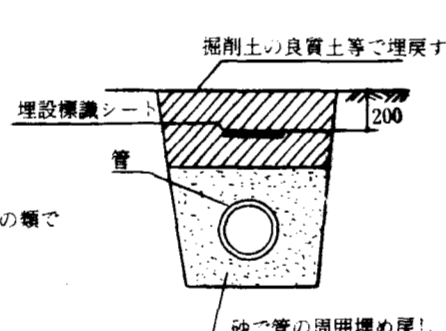
注) 標準色見本帳記号は日本塗料工業会の昭和60年度版による。

② 地中埋設配管の敷設要領

① 地中埋設配管の敷設断面



② 管の埋設表示

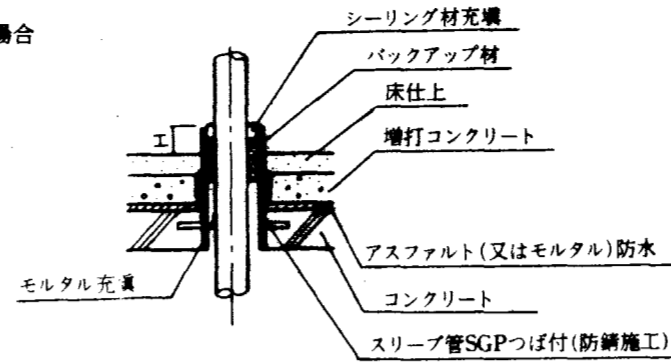


③ 地中埋設鋼管防錆要領 (ペトロラタム系防食テープ施工の場合)

施工部分	施工順序	施工例
直管	1. 汚れ及び付着物の除去	<p>ベーストの塗布 防食テープ</p>
	2. ペトロラタム系ベーストの塗布	
	3. ペトロラタム系防食テープ1/2重ね1回巻	
	4. 防食用ビニルテープ1/2重ね1回巻	
継手	1. 汚れ及び付着物の除去	<p>マスチック 防食シート 防食用ビニルテープ</p>
	2. 段着部の大きい箇所へのマスチックの充填	
	3. ペトロラタム系防食シートの貼り付け	
	4. 防食用ビニルテープ巻	

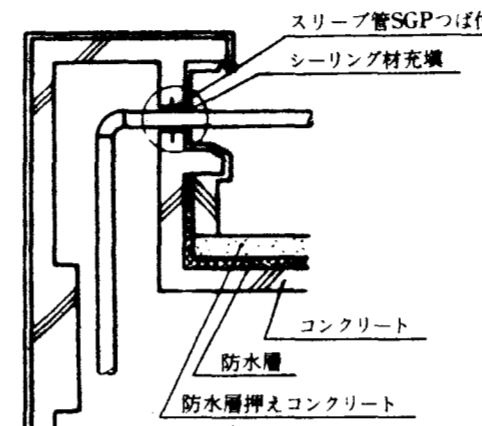
④ 防水床及び防水壁(外壁も含む)貫通配管要領

① 防水床を貫通する場合

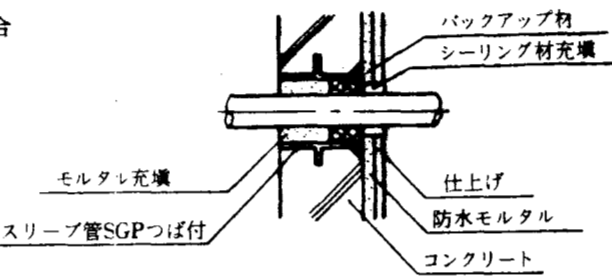


注: 1) Hは監督員の指示による。
2) 冷温熱送配管の場合には、スリーブと管との間隙をバックアップ材に代え断熱材で充填する。

② 屋上を貫通する場合

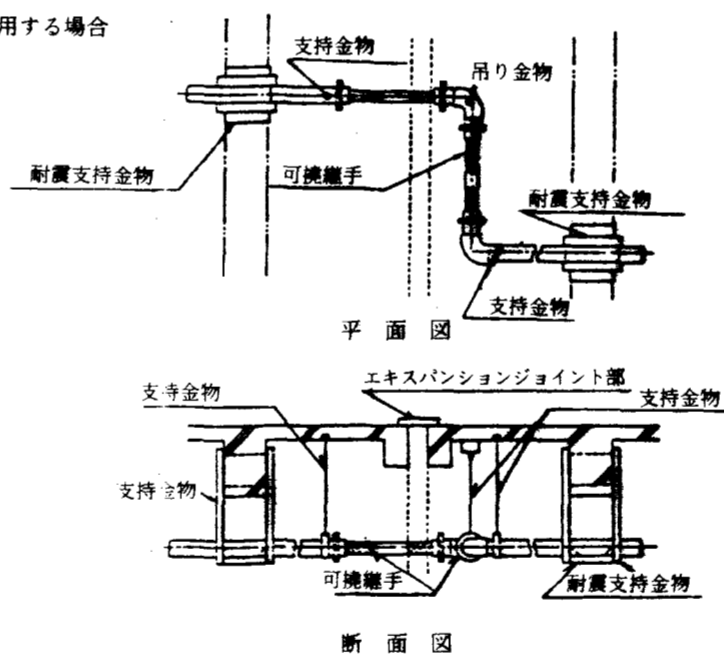


③ 外壁を貫通する場合

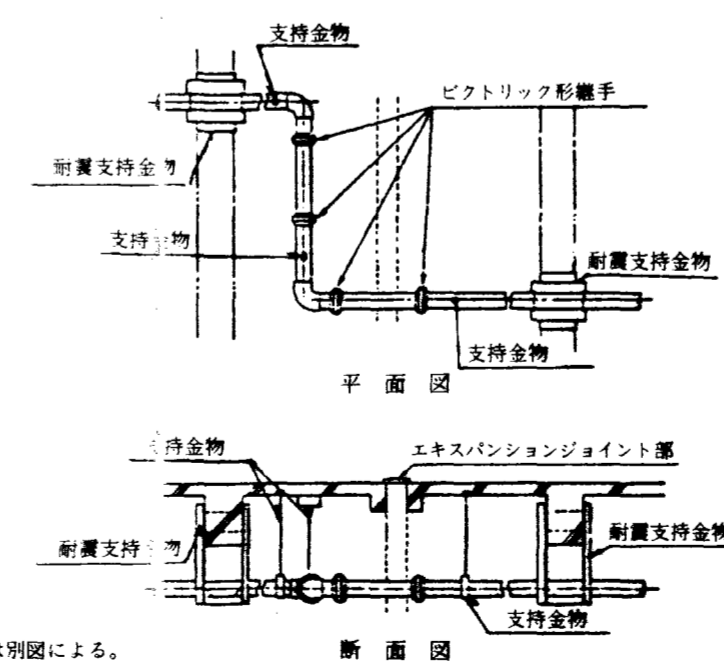


5 エキスパンションジョイント部の配管要領

1. 可撓継手を使用する場合

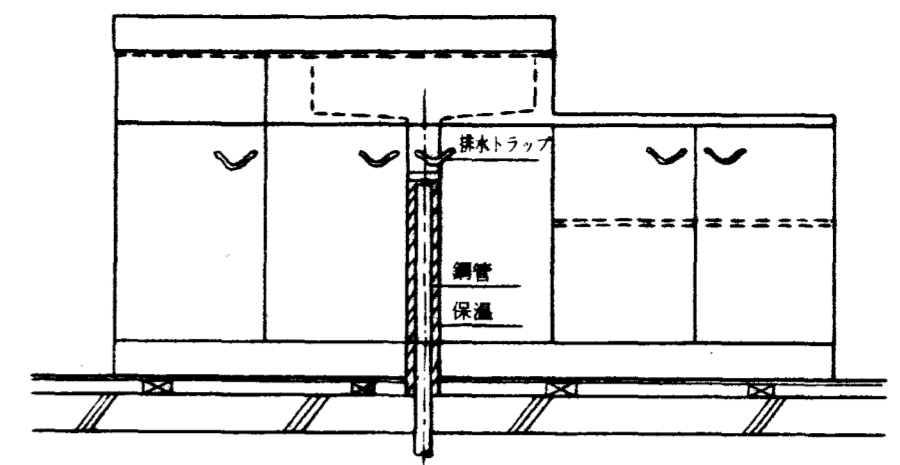


2. ビクトリック形継手を使用する場合



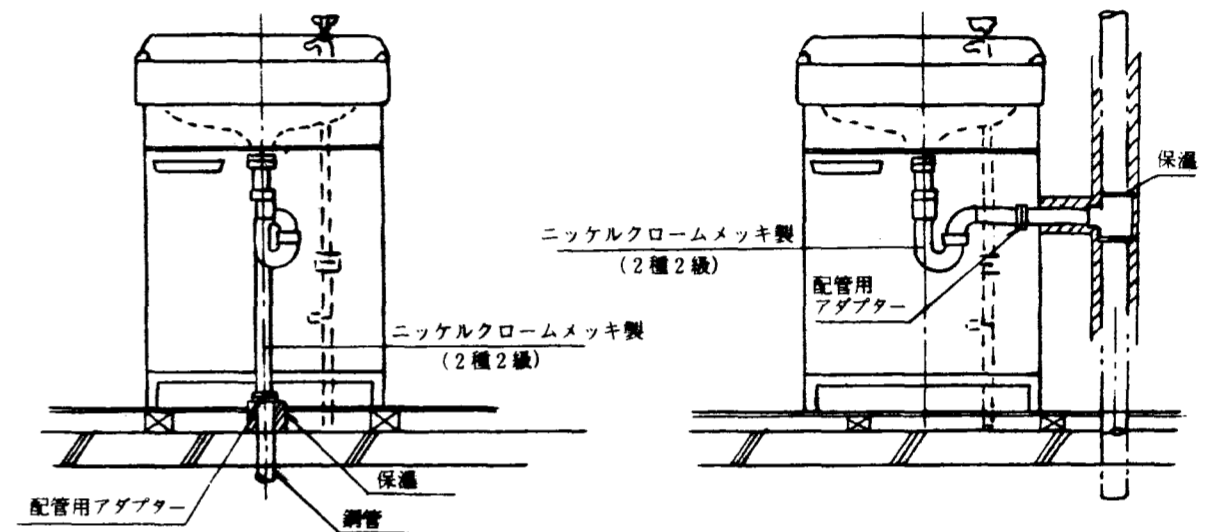
注: 取付け位置は別図による。

① 流し下管保温要領



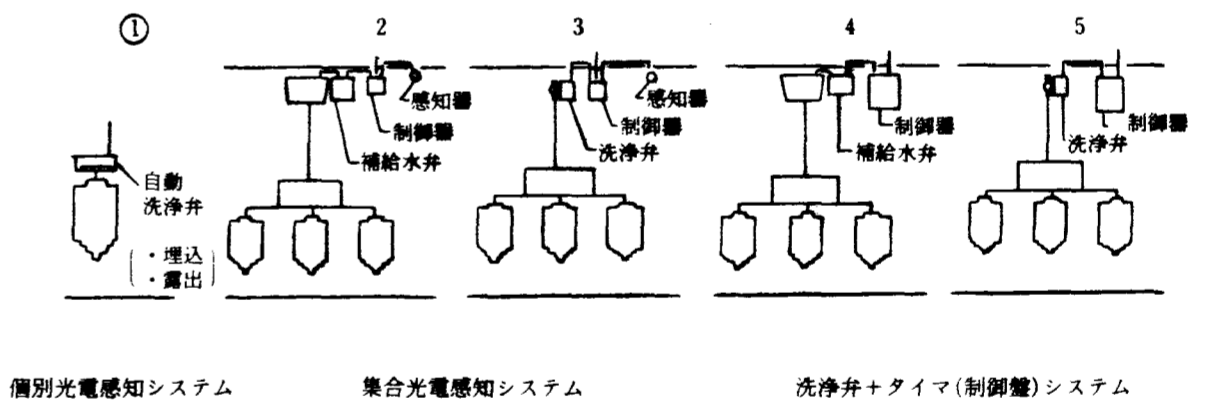
保温種類 a4v1 SOP2仕上げ
注: ただしRC造の場合

2 洗面ユニット保温要領図

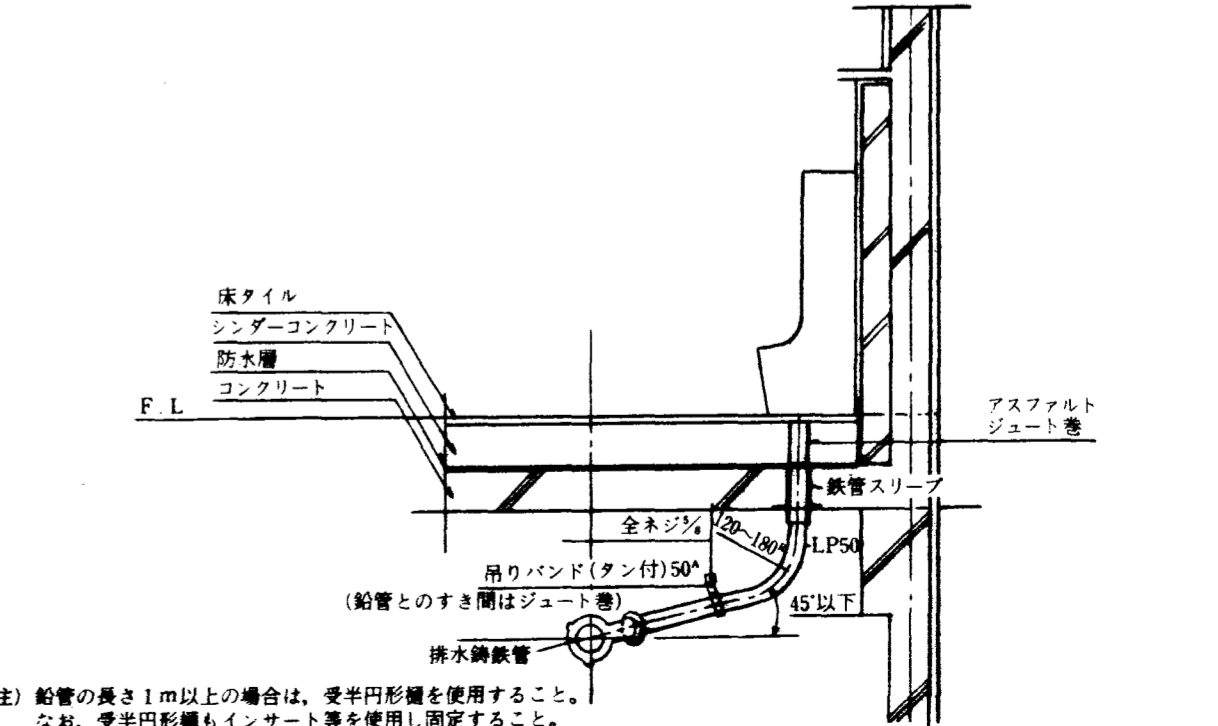


保温種類 a4v1 SOP2仕上げ
注: ただしRC造の場合を示す

③ 小便器洗浄装置選定図



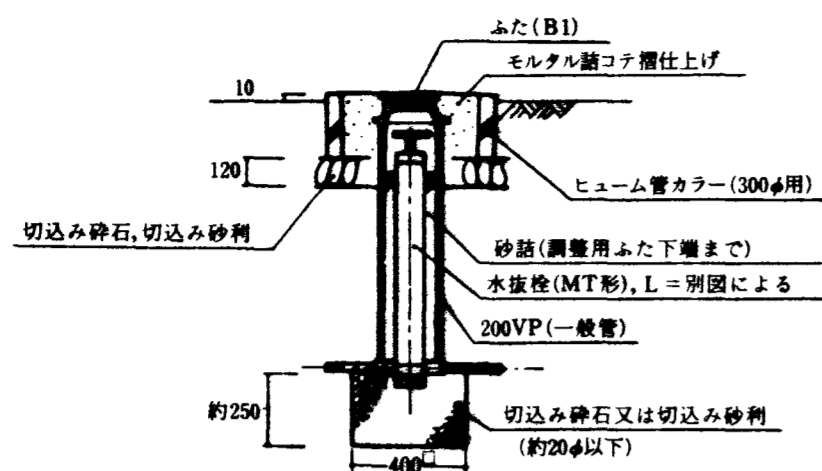
④ 便器配管要領



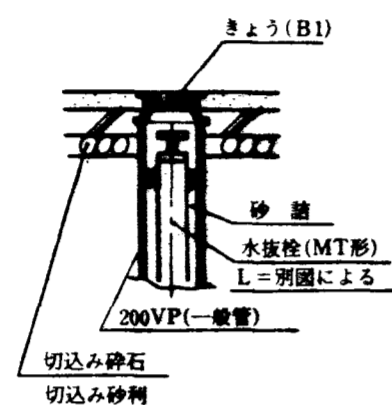
注) 鉛管の長さ1m以上の場合は、受半円形継ぎを使用すること。
なお、受半円形継ぎもインサート等を使用し固定すること。

⑥ 水抜栓類施工要領

① 屋外埋設の場合

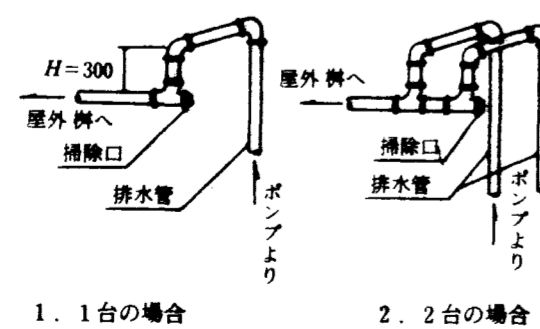
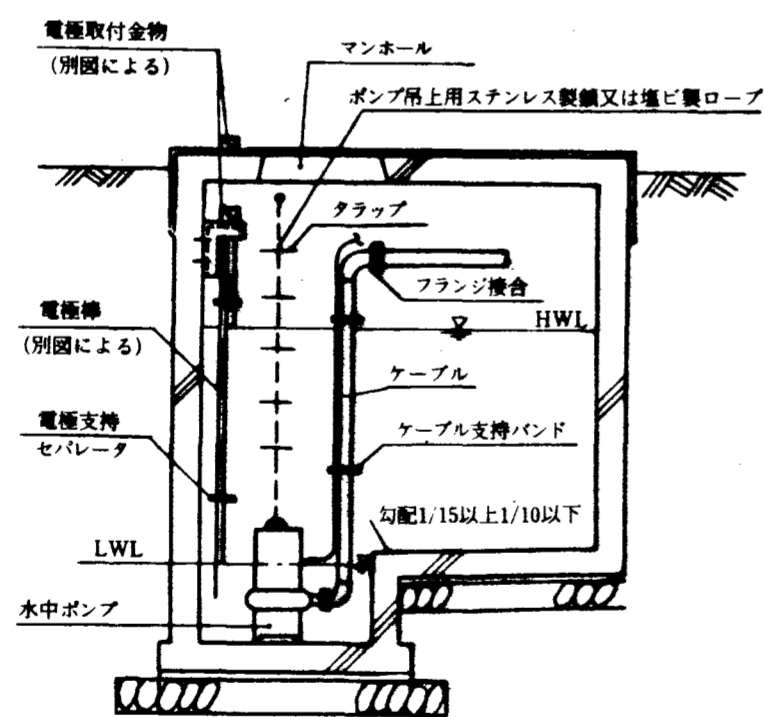


2. 屋内埋設の場合



注：(1) 下部は屋外埋設の場合に準ずる。
(2) ハンドル床上的の場合、高さは図示による。

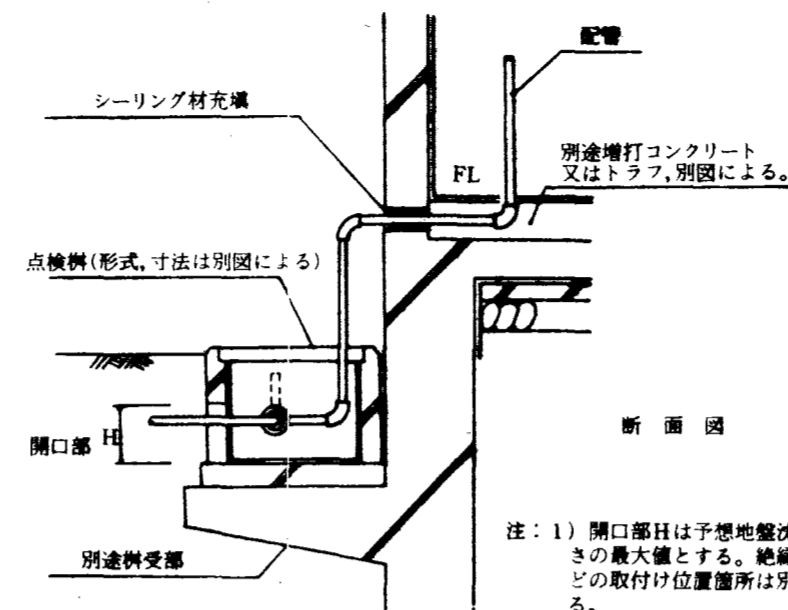
6 水中ポンプの設置及び関連配管施工要領



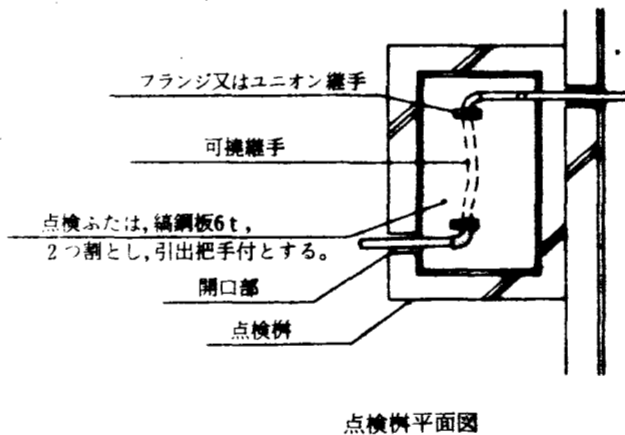
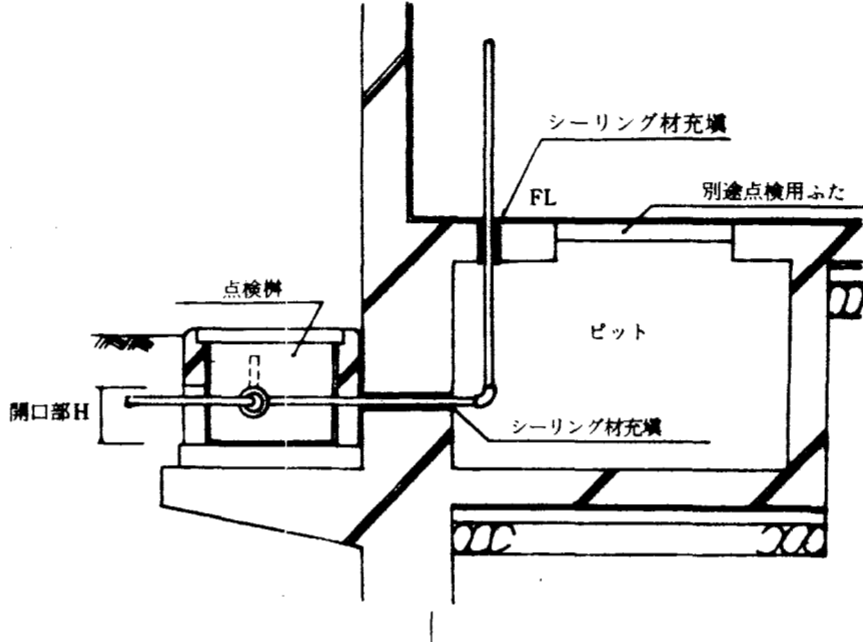
汚水・排水ポンプ配管例

⑦ ガス配管可換継手及び配管敷設要領

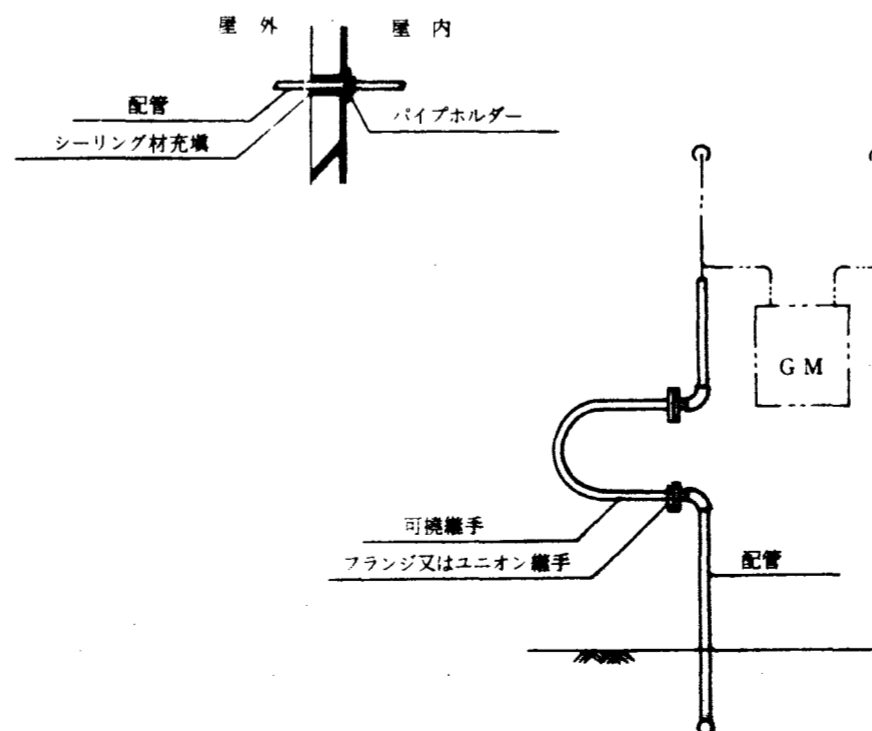
① 屋外立上げの場合(その1)



2. 屋内立上げの場合(その2)

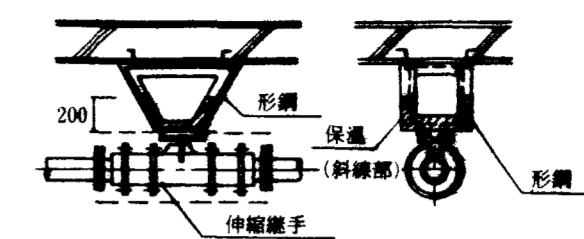


③ 屋外立上げの場合

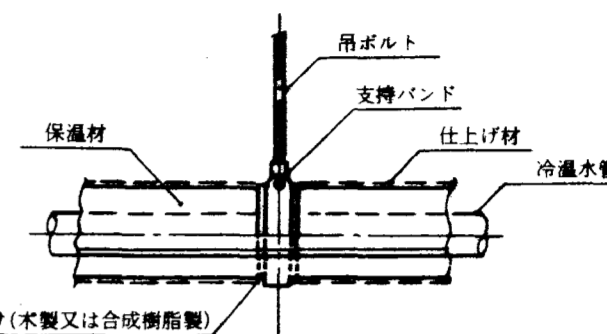


1 冷温水配管支持金物などの保温要領

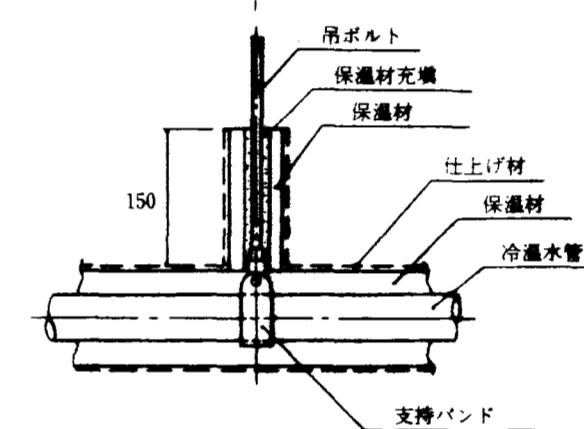
1. 伸縮継手の場合



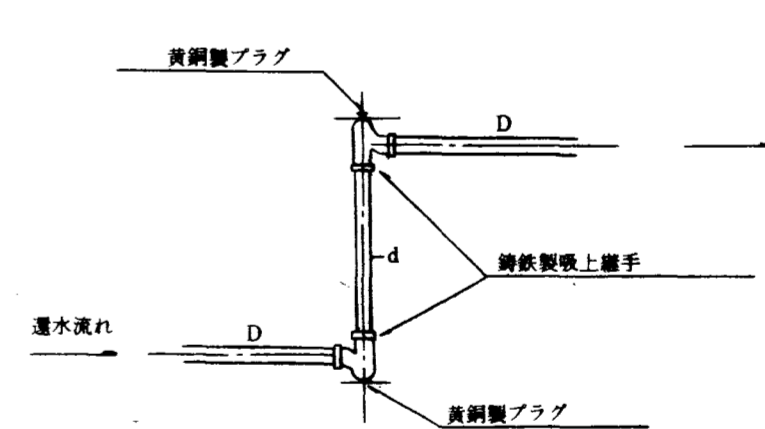
2. 冷温水配管の場合



3. 監督員の承諾による



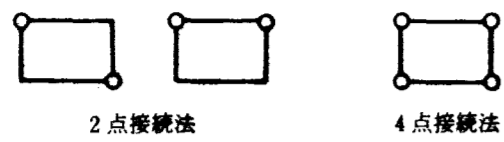
2 蒸気管吸上継手施工要領図



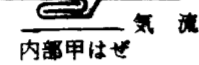
管の呼び径	D	15	20	25	32	40	50	65
d	15	15	20	25	32	40	50	50

③ 風道の製作と接合要領

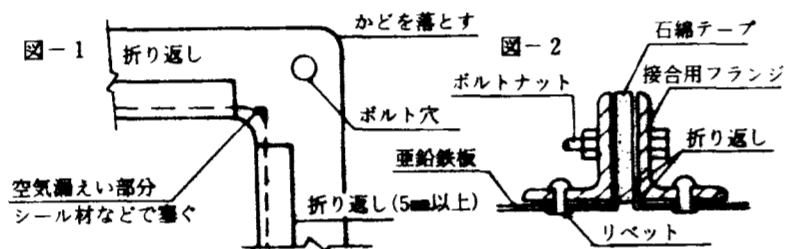
- ① 風道のかどの継目は2箇所以上とし、次に例を示す。
 (1) 2点接続法——鉄板を2枚組み合わせて、接続を2箇所とする。
 (2) 4点接続法——鉄板を各面4枚組み合わせ、接続を4箇所とする。



- ② 風道の継目は次による。
 (1) ビッツバグはぜ
 (2) ボタンパンチスナップはぜ
 (3) 内部甲はぜ
 内部甲はぜ継ぎは、上記(1)(2)はぜが風道のかどの継目に用いられるのと違い、流れの直角方向及び流れ方向(標準の板取りができないもの)の継目に用いられる。

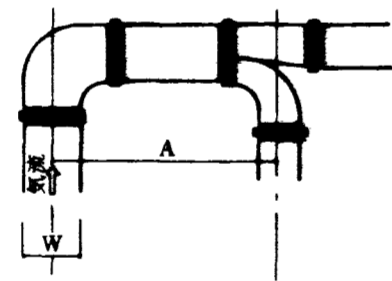


- ③ 風道の接続
 (1) 接合フランジと風道両部は、空気漏えいの最大の原因となるから、風道の折返しに注意し、製作後シール材を用いて隙間を塞がなければならない。(図-1)
 (2) フランジ接合面の外周は、危険防止のためかどを落とす。(図-1)
 (3) フランジを風道に取付ける場合、接合面の余肉とまくれはグラインダなどで平滑に仕上げたものをリベットで十分に締める。(図-2)
 (4) フランジ接合は、パッキンを使用してボルトで片締めのないように、気密に締付ける。(図-2)



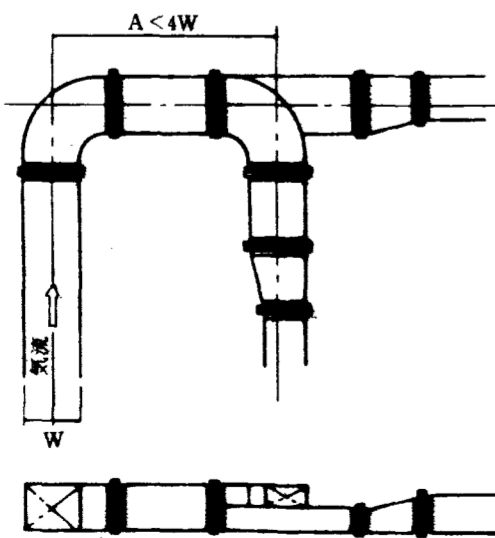
④ 曲り直後の風道の分岐要領

- ① 割込み分岐の場合



- ・ $A > 8W$ はガイドベーン不必要
 - ・ $4W \leq A \leq 8W$ はガイドベーン必要
 - ・ $A < 4W$ は下図による
- 注：ガイドベーンは監督員と協議する。

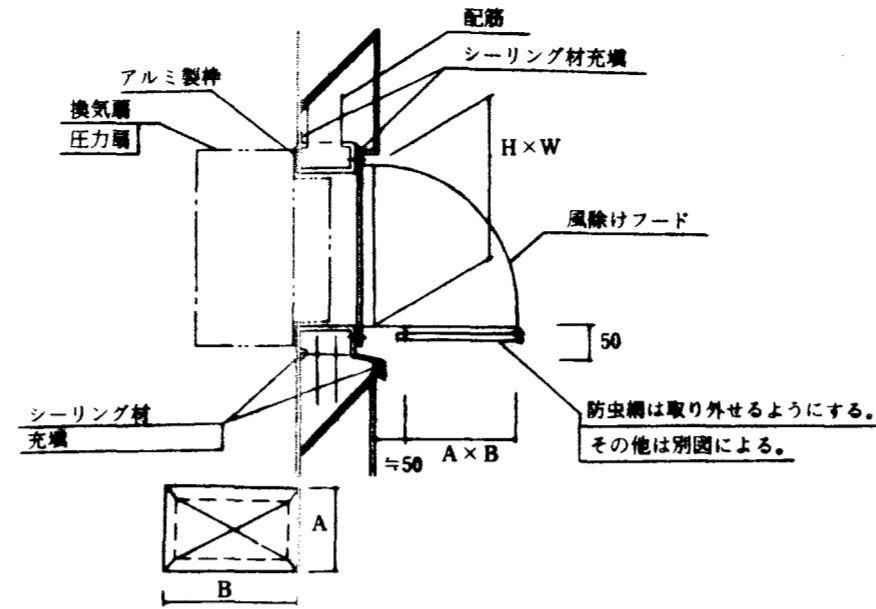
- ② 同上(上下に分割する場合)



- ・ $A < 4W$ の場合

⑤ 換気扇類取付け及び、風除けフード製作要領

注：枠は建物の配筋に溶接する。



1. 換気扇の場合(防虫網付、なし共)

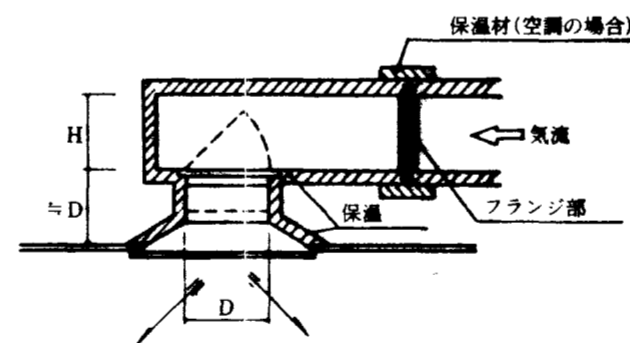
寸法	羽根径	200φ	250φ	300φ	
A × B		250 × 250	300 × 300	300 × 350	
H × W		250 × 250	300 × 300	350 × 350	

2. 有圧換気扇の場合

寸法	羽根径	250φ	300φ	350φ	注記
A × B		300 × 300	300 × 350	300 × 400	防虫網なし
H × W		300 × 300	350 × 350	400 × 400	
A × B		300 × 350	300 × 500	350 × 600	防虫網付
H × W		300 × 350	350 × 500	400 × 600	

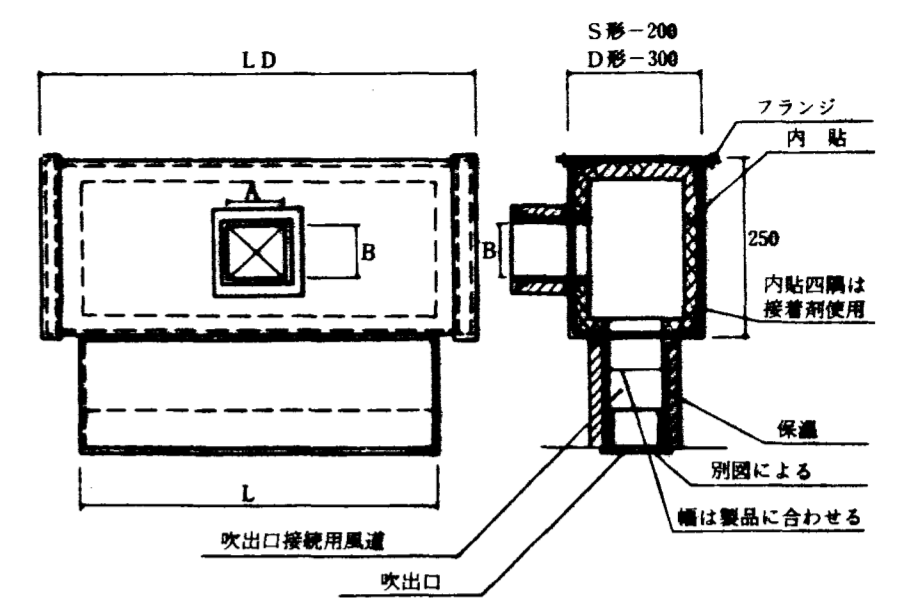
- 注：(1) 防虫網はステンレス製とし網目は10メッシュとする。
 (2) 防虫網固定用のアングル(形鋼)の幅は25とする。

⑥ アネモディフューザと風道の取付け要領



ネック径(D)	130	150	200	250	300	350
N	400	400	400	500	500	500
H	250	250	250	300	300	300

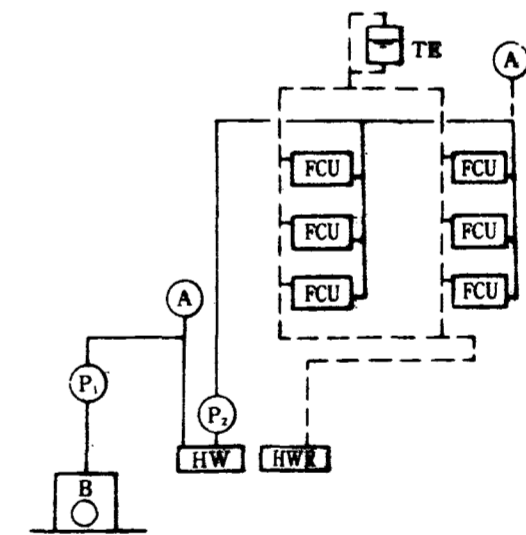
⑦ プリーズライン用チャンバ製作要領



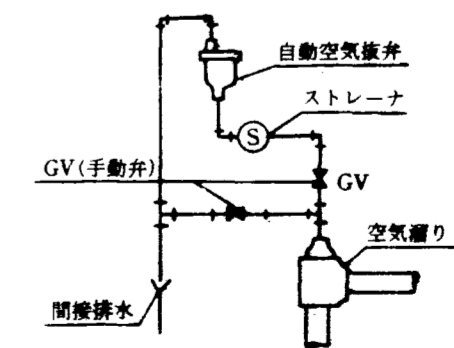
- 注：(1) 内貼箇所は別図による、内貼仕様は特記仕様書による。
 (2) A及びBは接続ダクト寸法を示す。
 (3) ダクト接続口は約1mに付1個とする。

L	500	1,000	1,500	2,000	2,500	3,000	3,500	4,000	4,500	5,000
LD	700	1,200	1,700	2,200	2,700	3,200	3,700	4,200	4,700	5,200

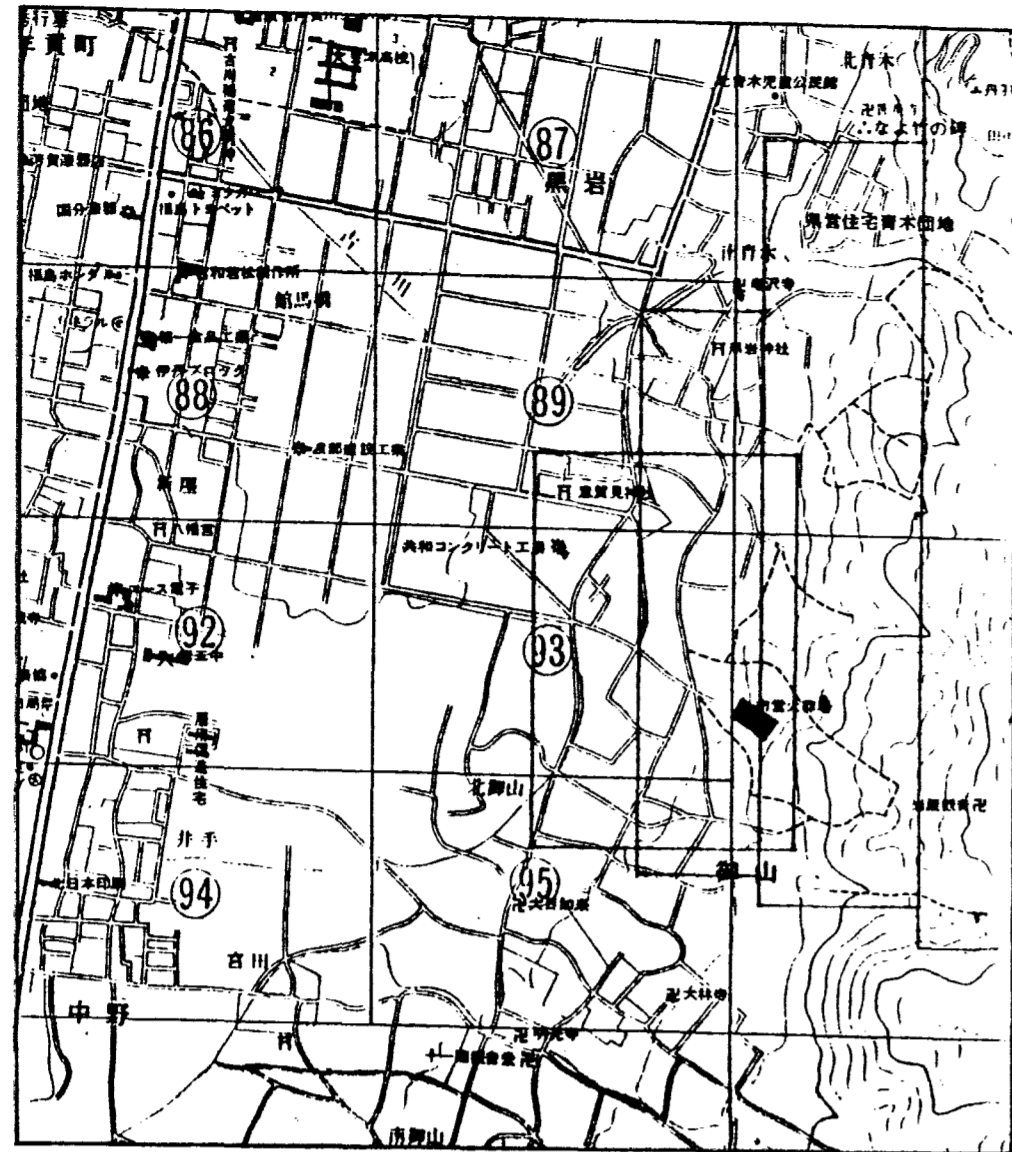
⑧ 自動空気抜弁取付け要領



- 注：(1) 上図は空調関係の冷水配管の場合を示す。
 (2) ④は自動空気抜弁を示し、詳細は下図による。



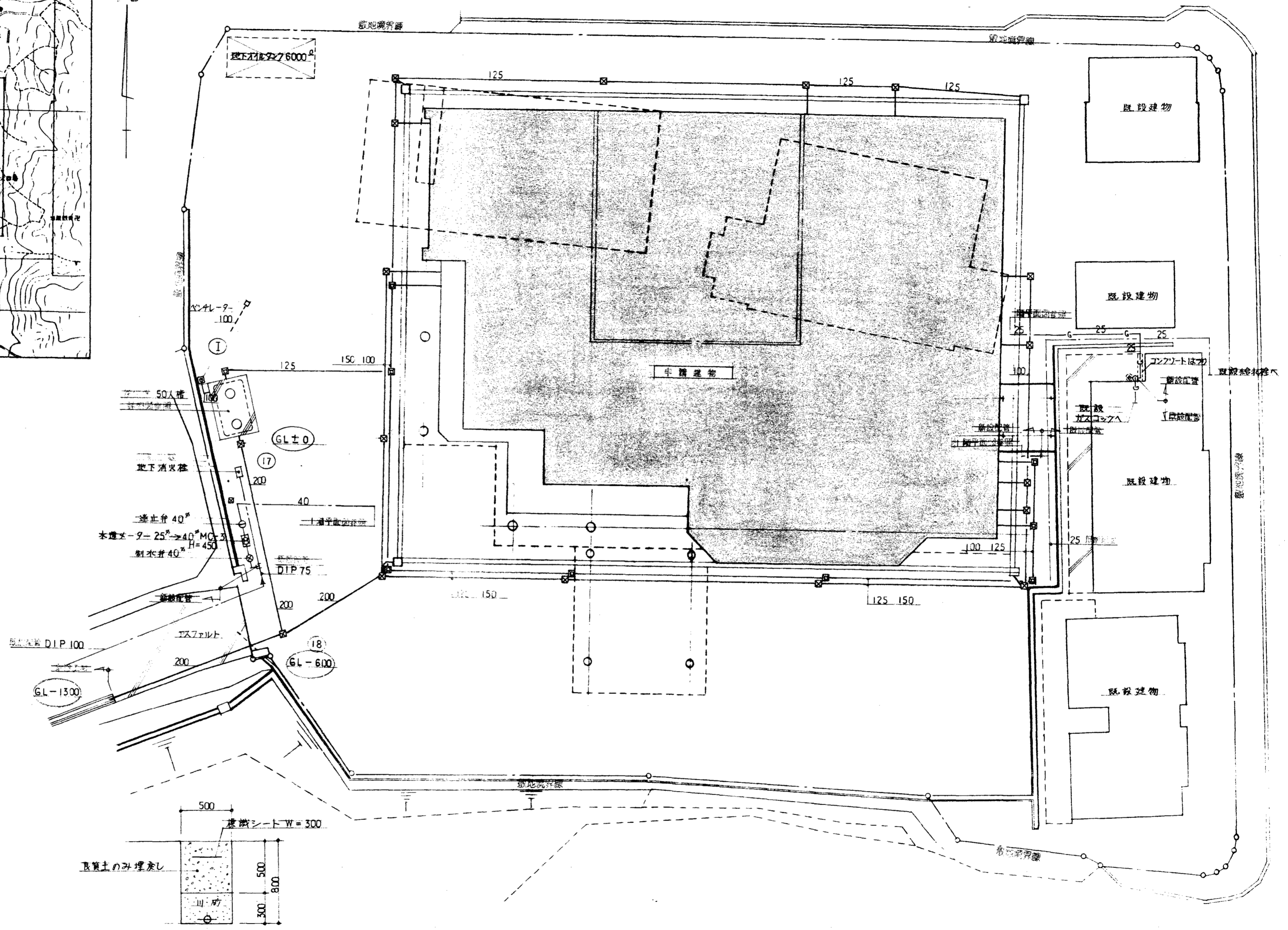
自動空気抜弁要領図



案内図

材料リスト

名	種	寸	備
A	汚水	SC-2 550	M H B
B	〃	〃 600	〃
C	〃	SC-3 650	M H A
D	〃	〃 800	〃
E	〃	〃 950	〃
F	〃	〃 1080	〃
G	〃	SC-2 550	〃
H	〃	SC-4 1220	〃
I	〃	〃 1340	〃
1	管	RC-2 550	M H B
2	〃	RC-3 610	〃
3	〃	〃 710	〃
4	〃	〃 740	〃
5	〃	〃 800	M H A
6	〃	〃 950	〃
7	〃	〃 1100	〃
8	〃	RC-4 1230	〃
9	〃	RC-2 550	〃
10	〃	RC-3 615	〃
11	〃	〃 760	〃
12	〃	〃 910	〃
13	〃	〃 945	〃
14	〃	〃 1045	〃
15	〃	〃 1085	〃
16	〃	RC-4 1340	〃
17	〃	〃 1440	〃
18	〃	〃 1150	〃



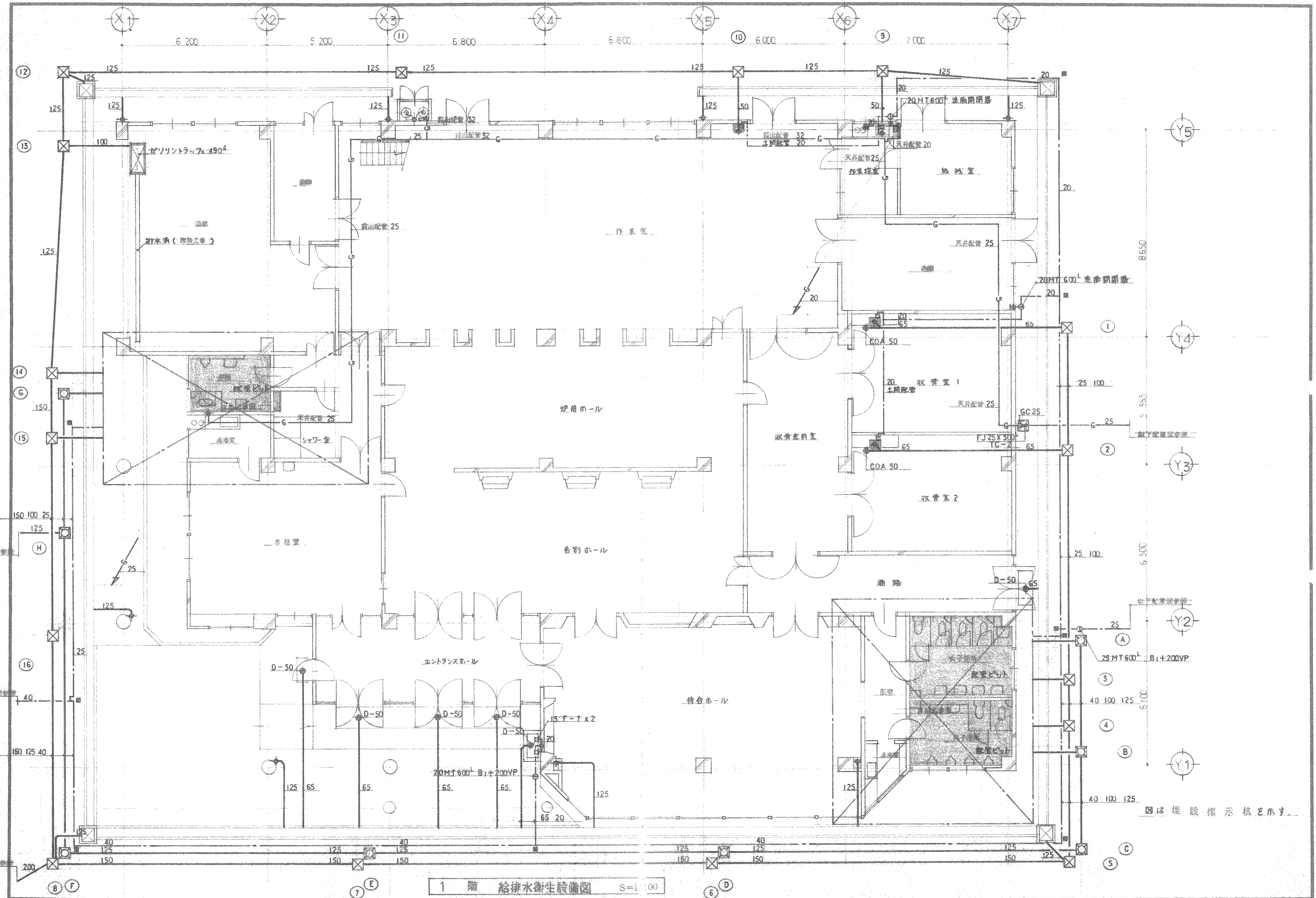
給水管理設備

配管図 3=1:200

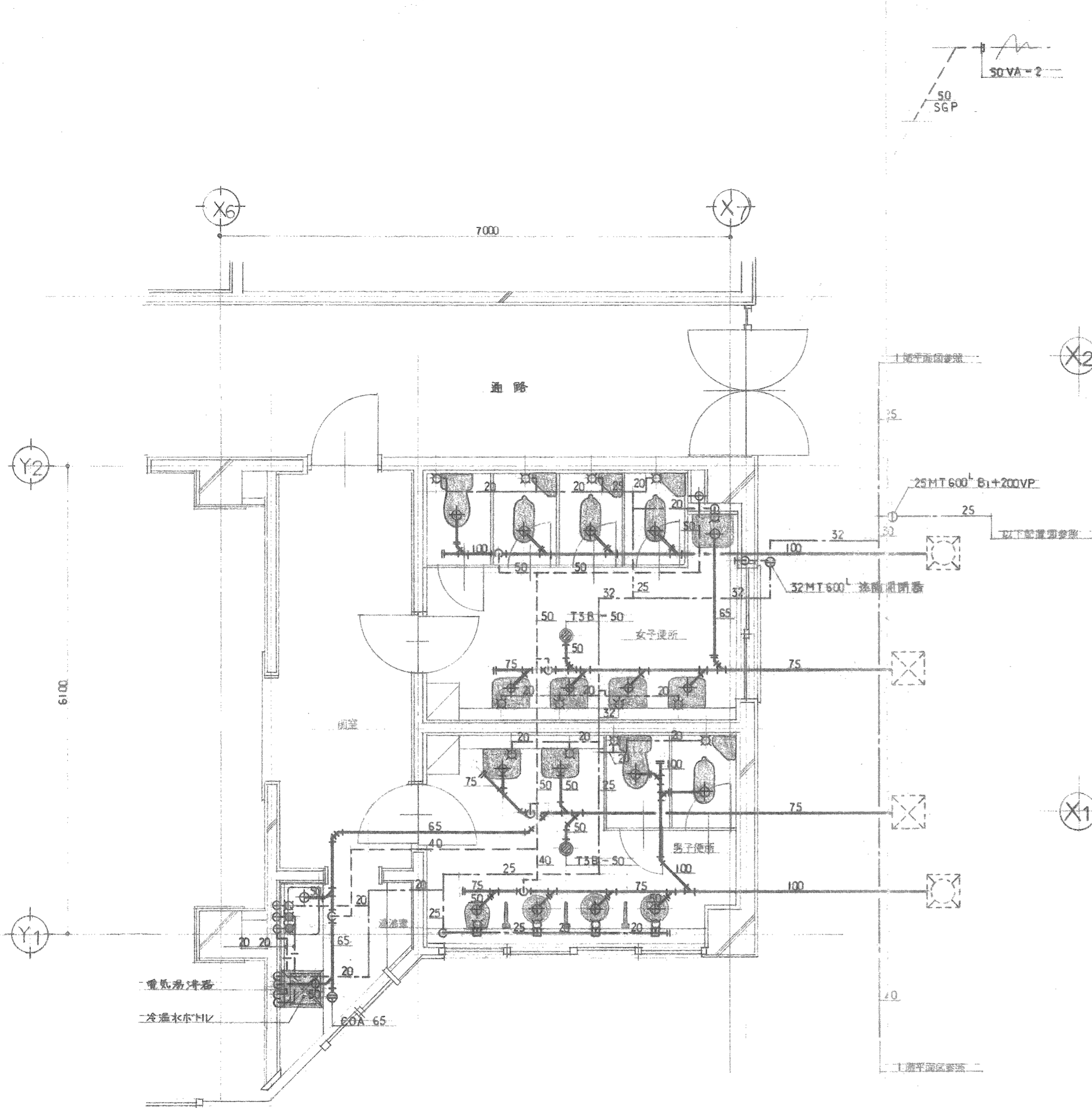
⊗は埋設線示航を示す。
(コンクリート製)

器具表

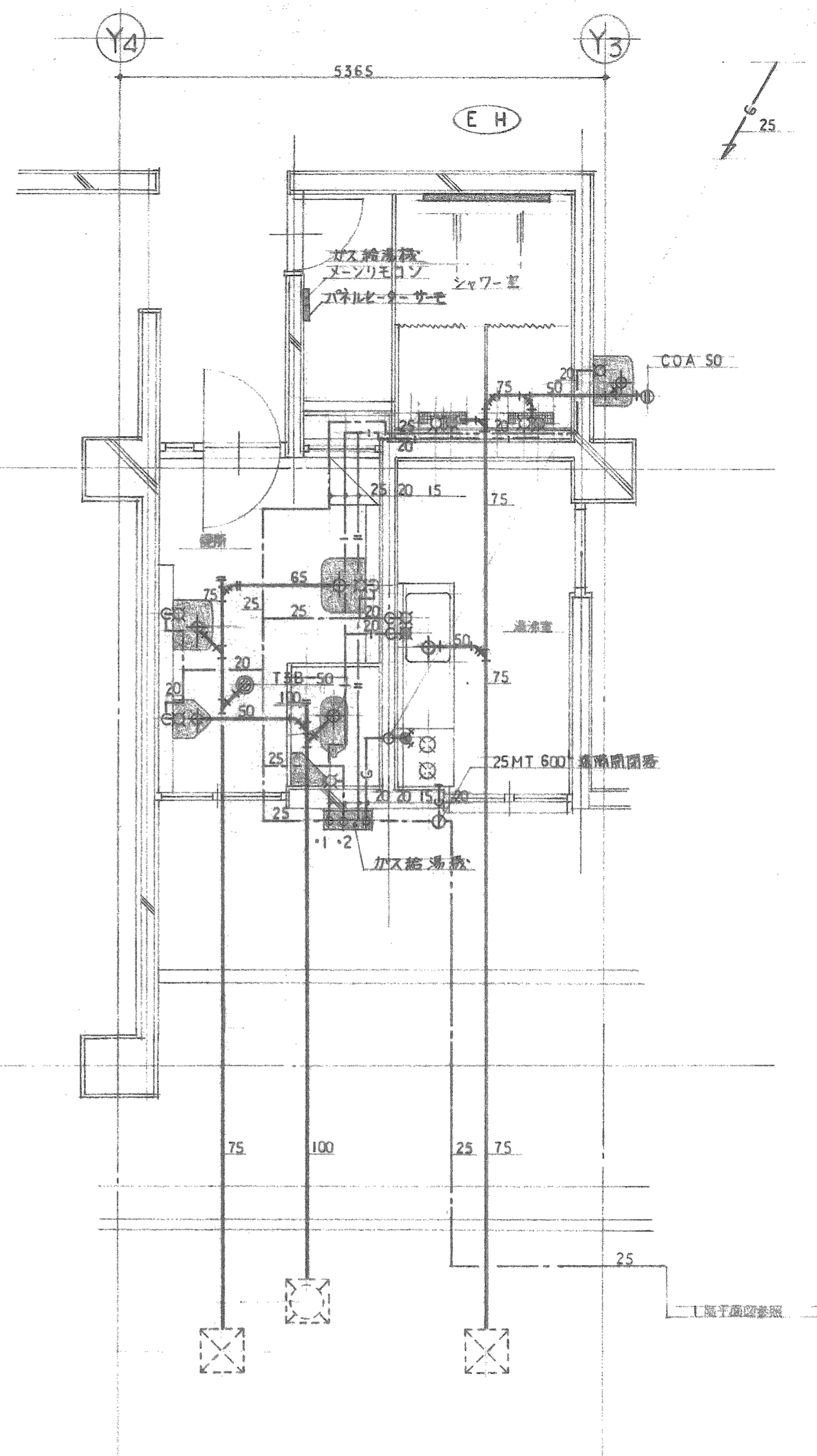
器具名称	器具仕様	(使用場所)																	数量
		男子便所	女子便所	湯沸室	便所	シャワー室	湯沸室	薬研室	作業室	作業室	取置室1	取置室2	ボヤ室	玄関前	外部	その他			
洋風大便器	(C730B S730B)	1	1																2
和風大便器	VC317R (S570BF T55H1)	1	3		1														5
感知フラッシュバルブ	(TEA 96L)	4																	4
ストール小便器	(U 100 TU100P)	3																	3
〃	(U 309C T60P)	1																	1
〃	VTU 320R				1														1
洗面器	VL630 ストラップ	2	4		1				1	1									8
〃	〃 Pトラップ																		1
〃	(L 330CFR TL180A)										1	1							2
掃除流し	VS210		1		1														2
化粧鏡	360x450 耐食型	2	4		1	1			1	1									10
化粧棚	陶器製 450x140								1	1									2
タオル機	(TS113A1R)								1										1
タオルフック	(TS118WS)							2											2
水石鹸入れ	線型 350CC	2	4		1				1	1									9
標記板	陶器製 140x60	6	4		2														12
隔板	(A 100)	3																	3
横形自在水栓	13 F-10A									1									1
万能ホーム水栓	13 F-7													2					2
シャワーセット	(TBS62BZ)						2												2
漏水混合栓	(TK180)					1					1								2
横形自在水栓	(TK605)					1													1
床排水金物	T3B-50	1	1		1														3
排水目皿	D-50													6					6
床上掃除口	COA 65					1													1
〃	COA 50								1			1	1						3
通気口	50 VA-2		1																1
床排水金物	(PBF-TM-60)						2												2
ガス湯沸器	5号 ワンタッチ元止式 GV.									1									1
ガス給湯機	20号 壁掛瞬間型 湯量台共GV.CV共														1				1
電気湯沸器	95℃.45℃(調理台型) 50ℓ 1φ200V 3kW (ES-50DW)					1													1
冷温水ボトル	470x413x565 ^H 1φ100V 600 ^M					1													1
ガスコック	32 ^φ サービス型													1					1
〃	25 ^φ 〃														1				1
〃	13 ^φ x10 ^φ 可とう管 コック																		1
ヒューズコック	13x10 ^φ 2ロ						1			1									2
ガス調整器	7 ^φ H 2本用 転倒防止フェン2本													1					1
ガスリントラップ	490 ^ℓ 1200x600 3槽式 本体・熱交換器 SS製 T=2																	1	1
凍結防止ヒーター	・1 1 M 1φ100V 15 ^W																1		1
〃	・2 1 M 〃																1		1



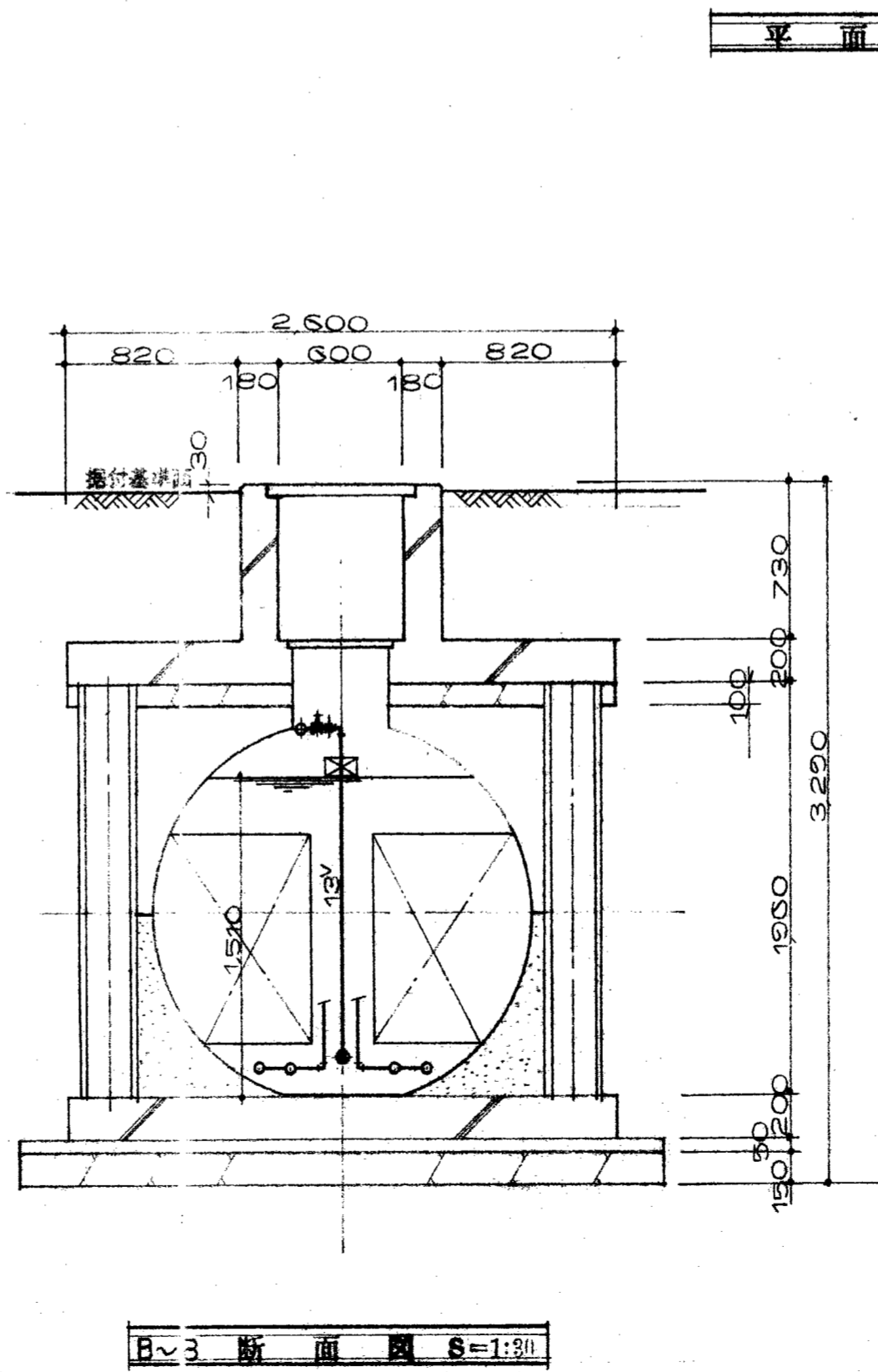
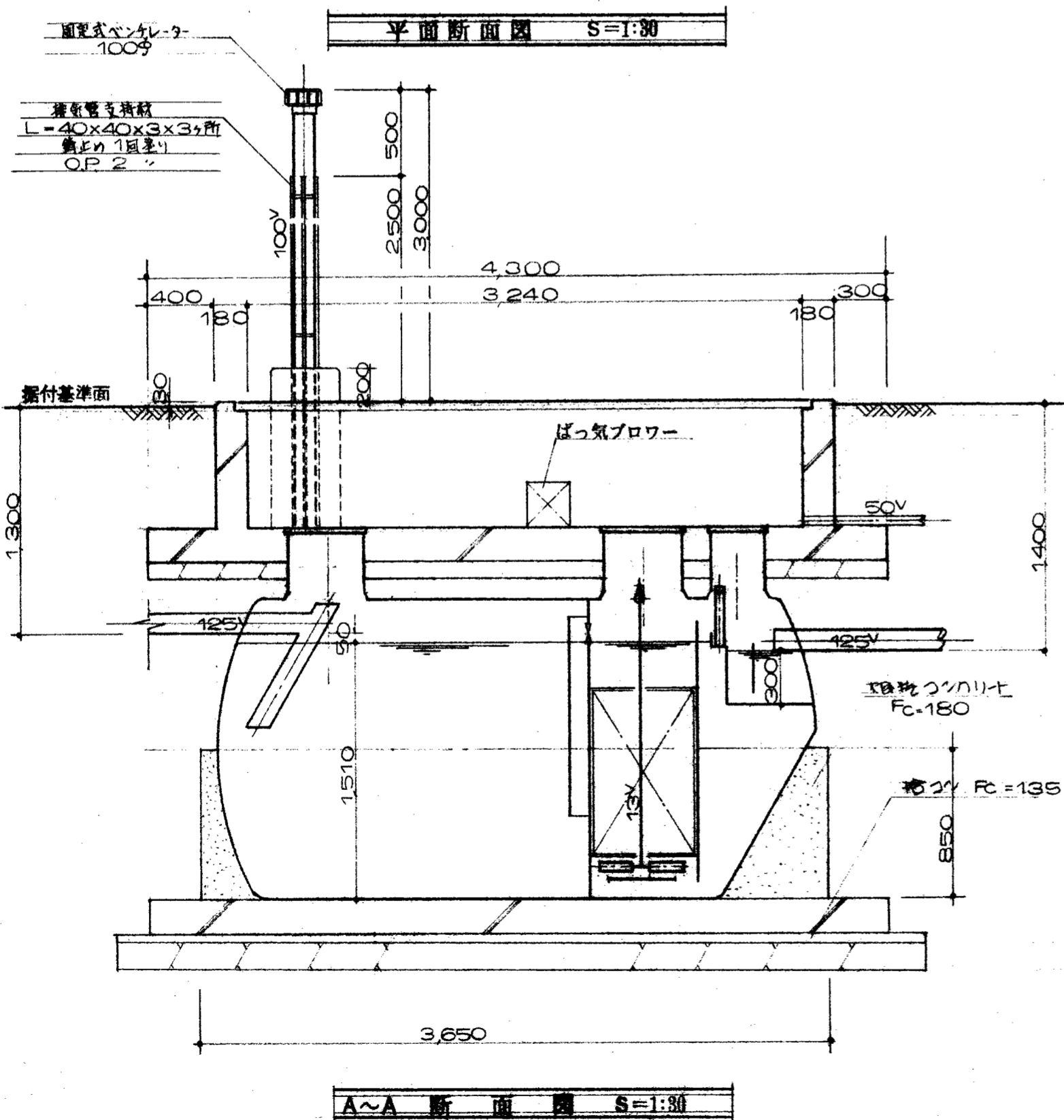
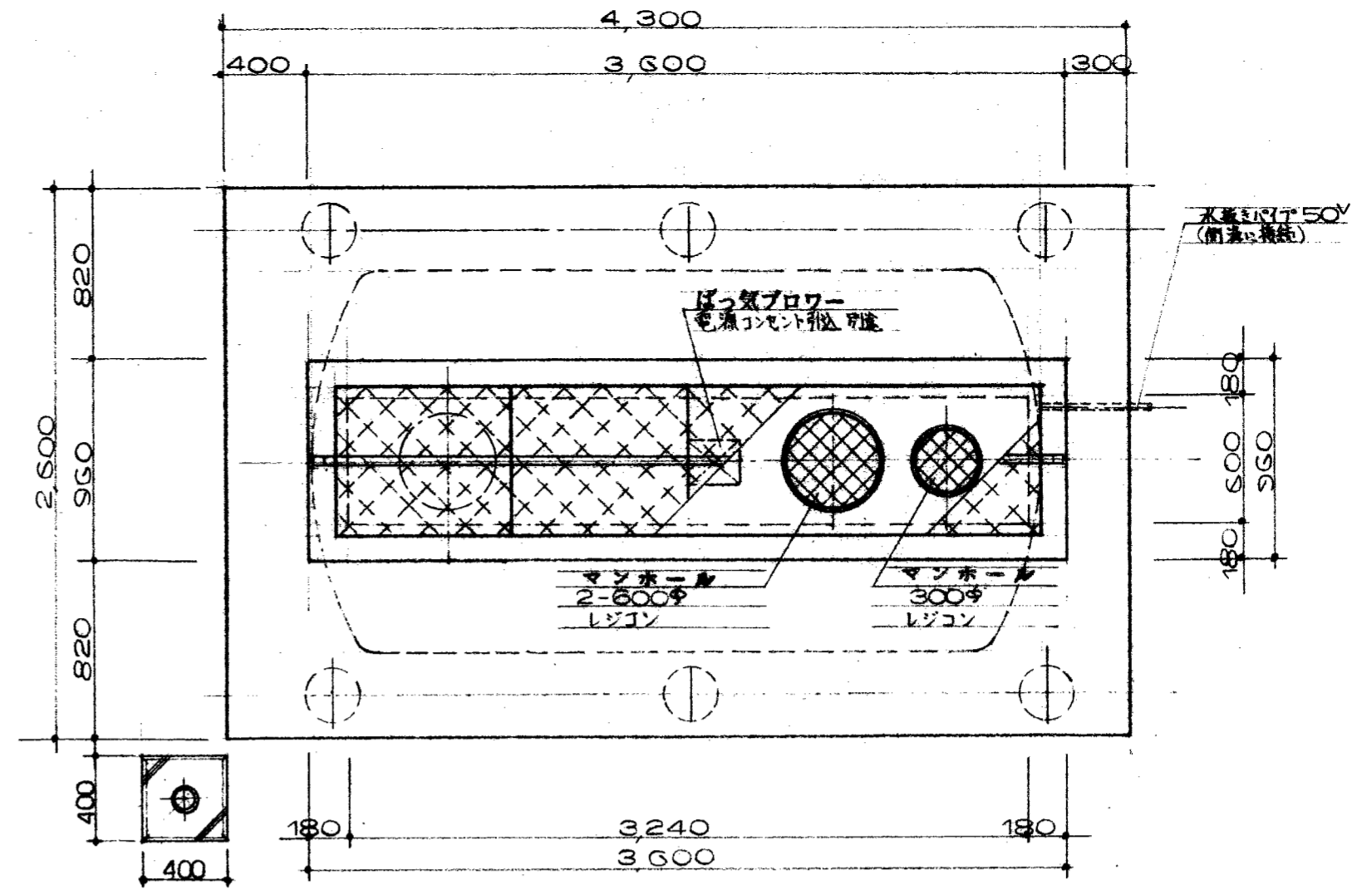
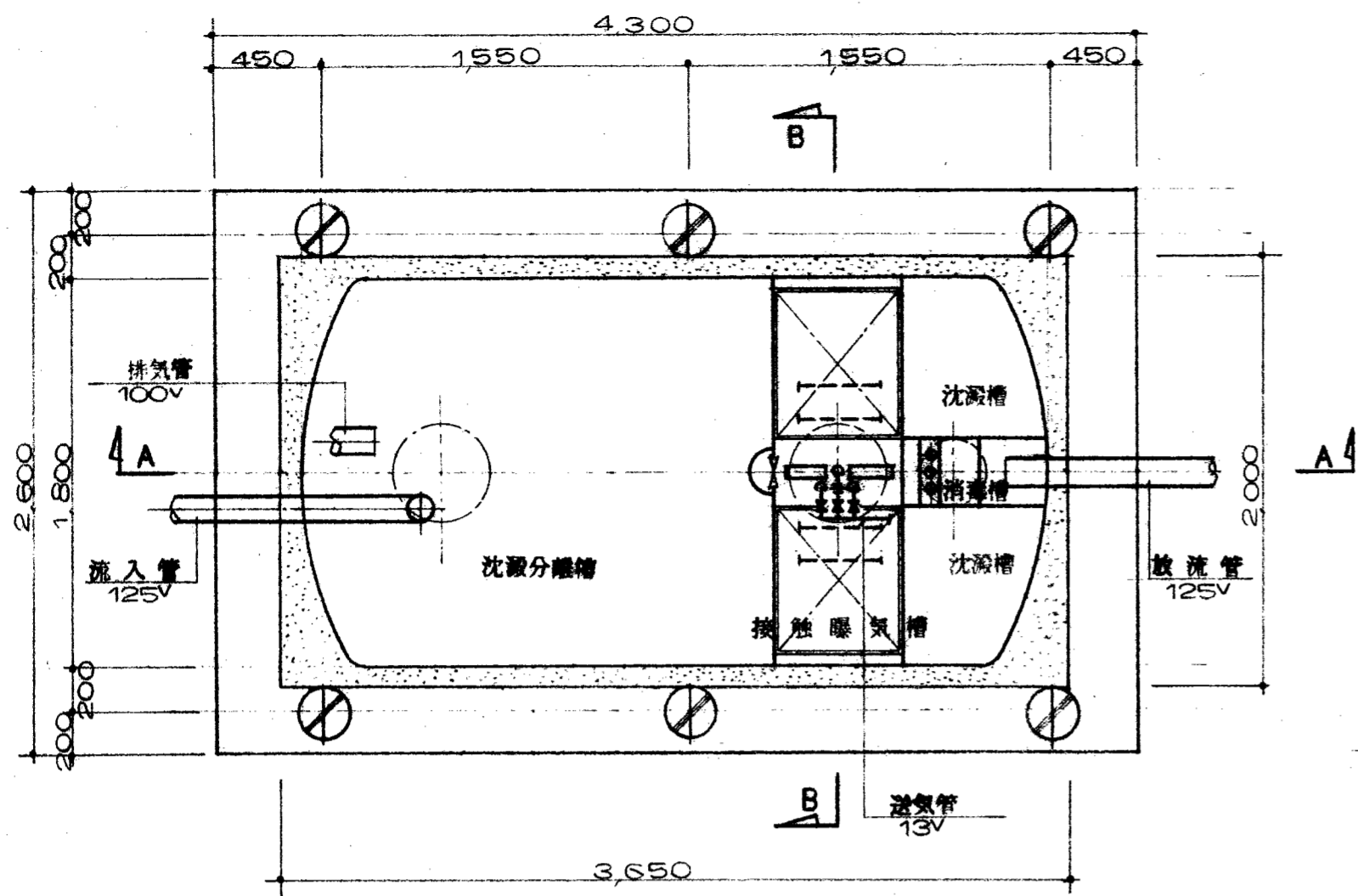
1 階 給排水衛生設備図 S=1/100



便所配管詳細図 S=1:50

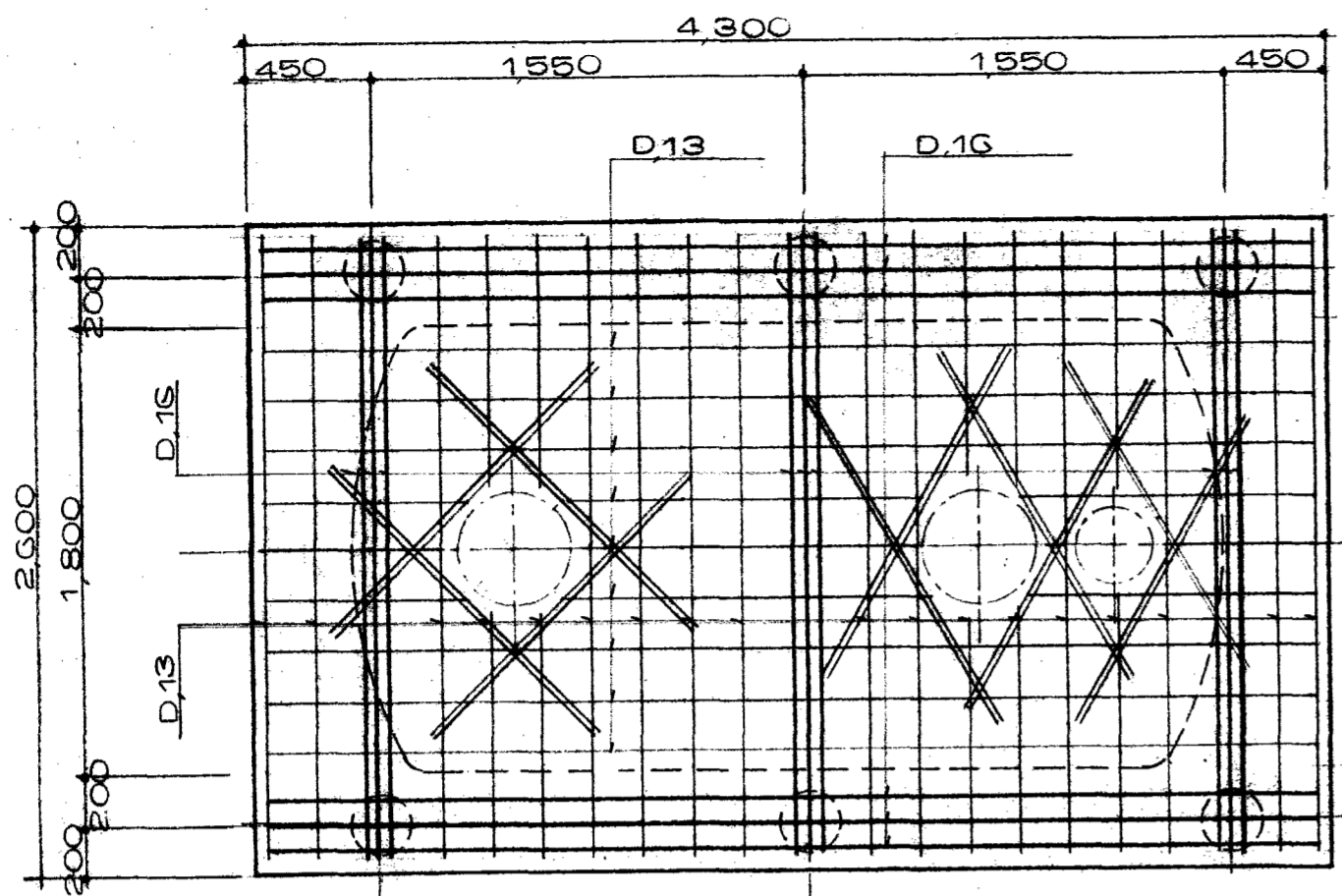


シャワー室、洗面室、便所配管詳細図 S=1:50



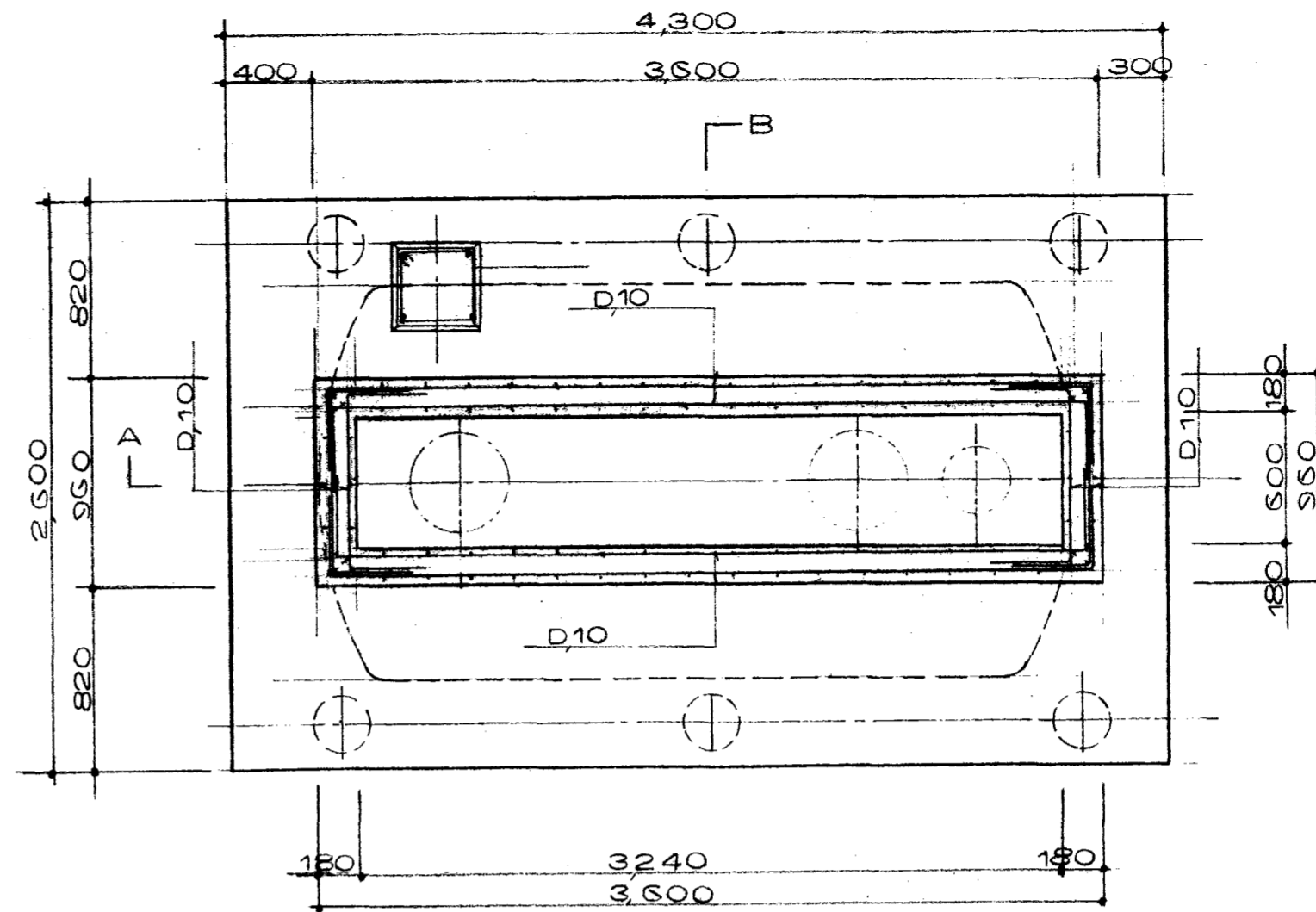
鋼板コンクリート $F_c = 210 \text{ kg/cm}^3$
 含鉄率 SD-30

単独処理 浄化槽 50人槽 90 PPM	
分離接触曝気方式	
認定番号	85-1A-185-5
型式番号	
名称	容積
沈澱分離槽	4,819 M ³
接触曝気槽	1,386 M ³
沈澱槽	0,832 M ³
消塞槽	0,033 M ³
ばっ気ブロー	13φ×80 ¹ / ₄ ×0.15 ^{kg} / _{cm} ³ ×69W×1台
	単相100V



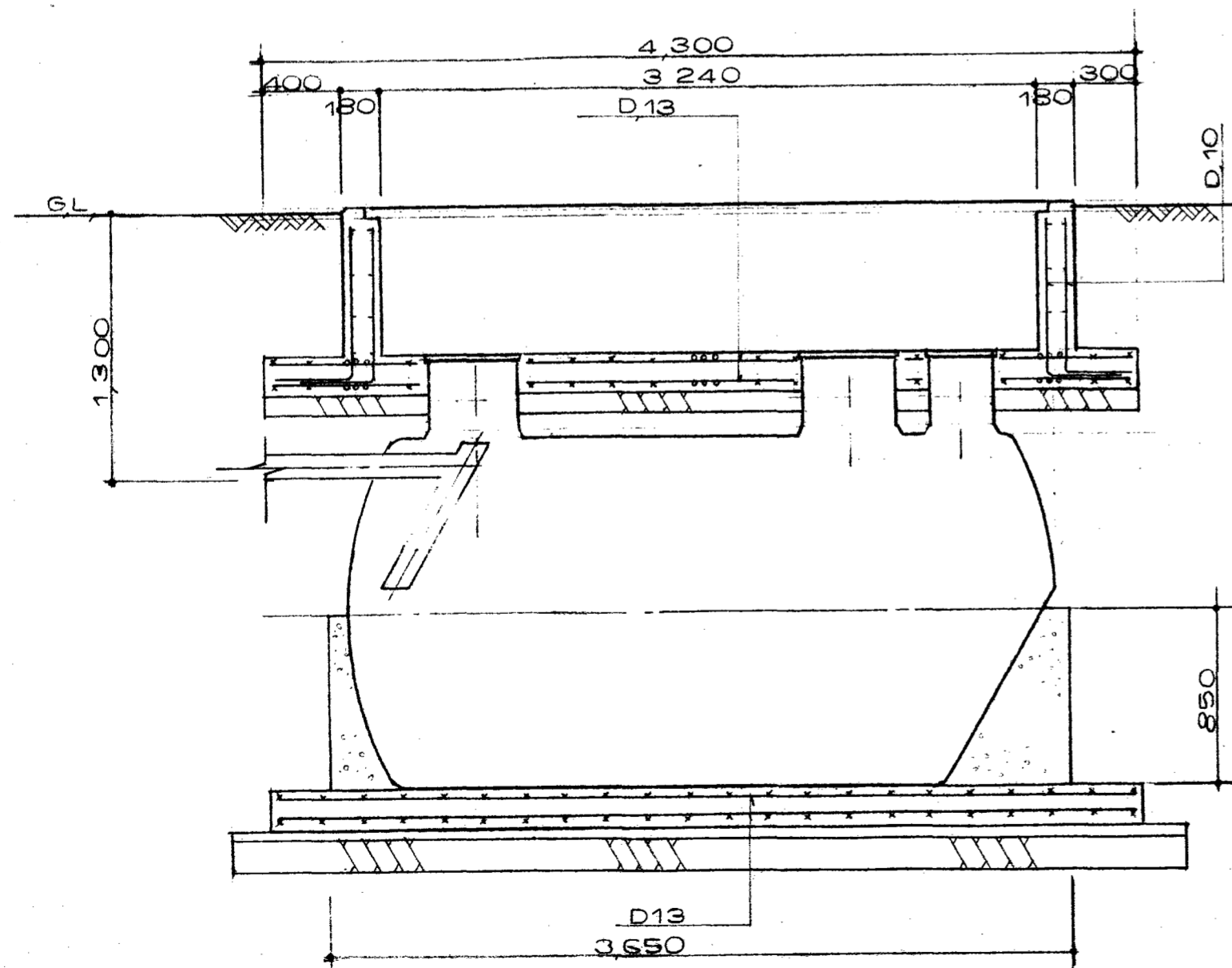
スラグ貯留部平面図

S = 1/30

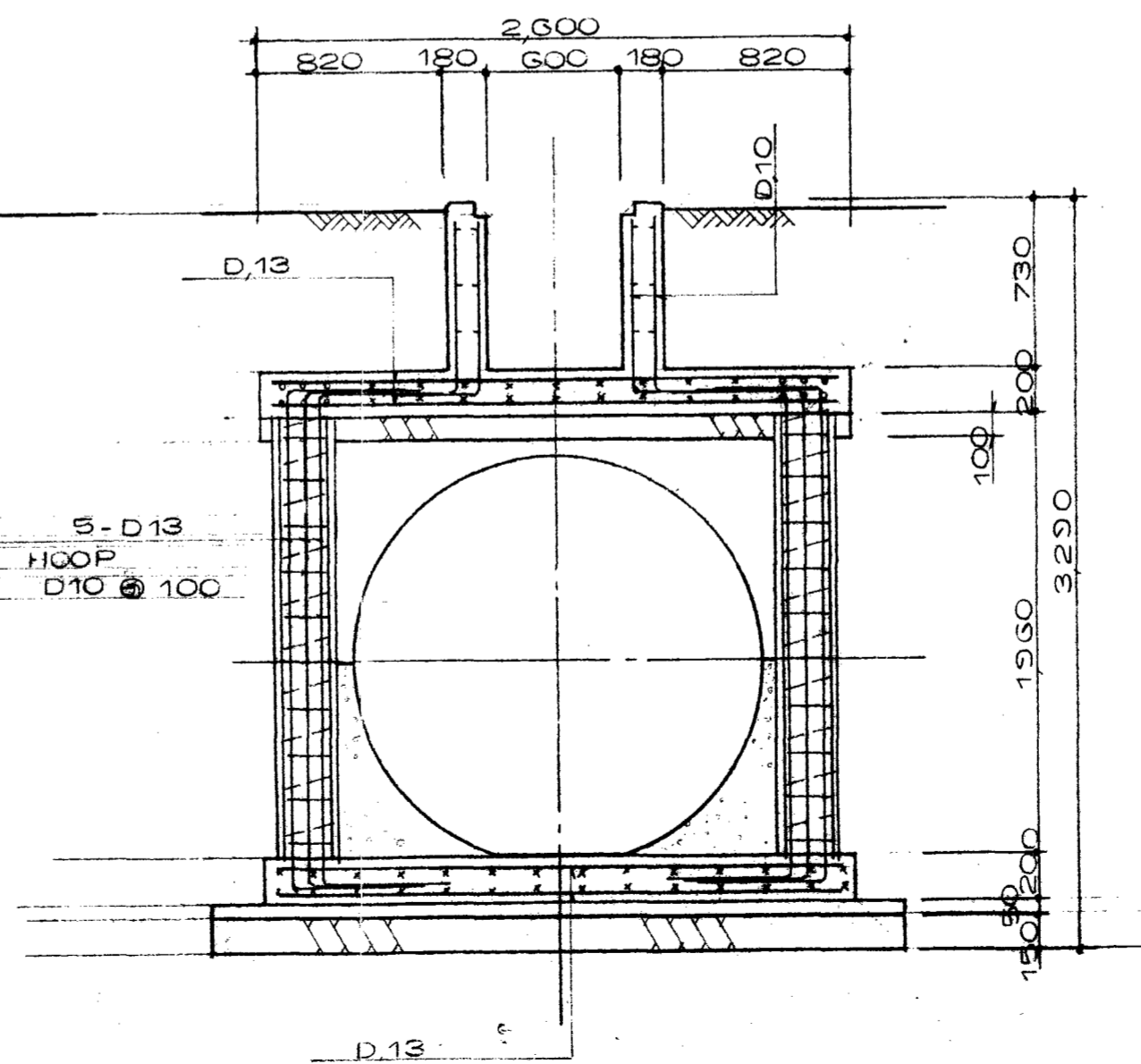


床版コンクリート配筋平面図

S = 1/30



A - A S = 1/30



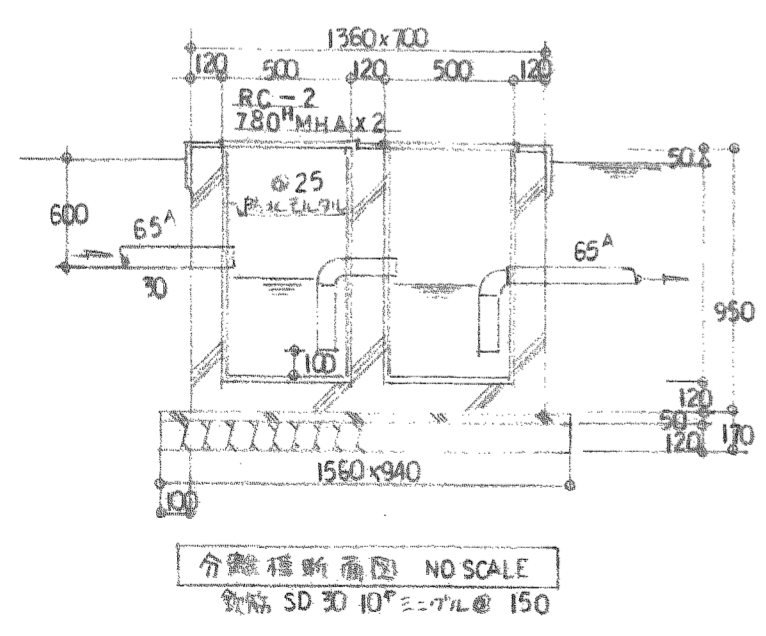
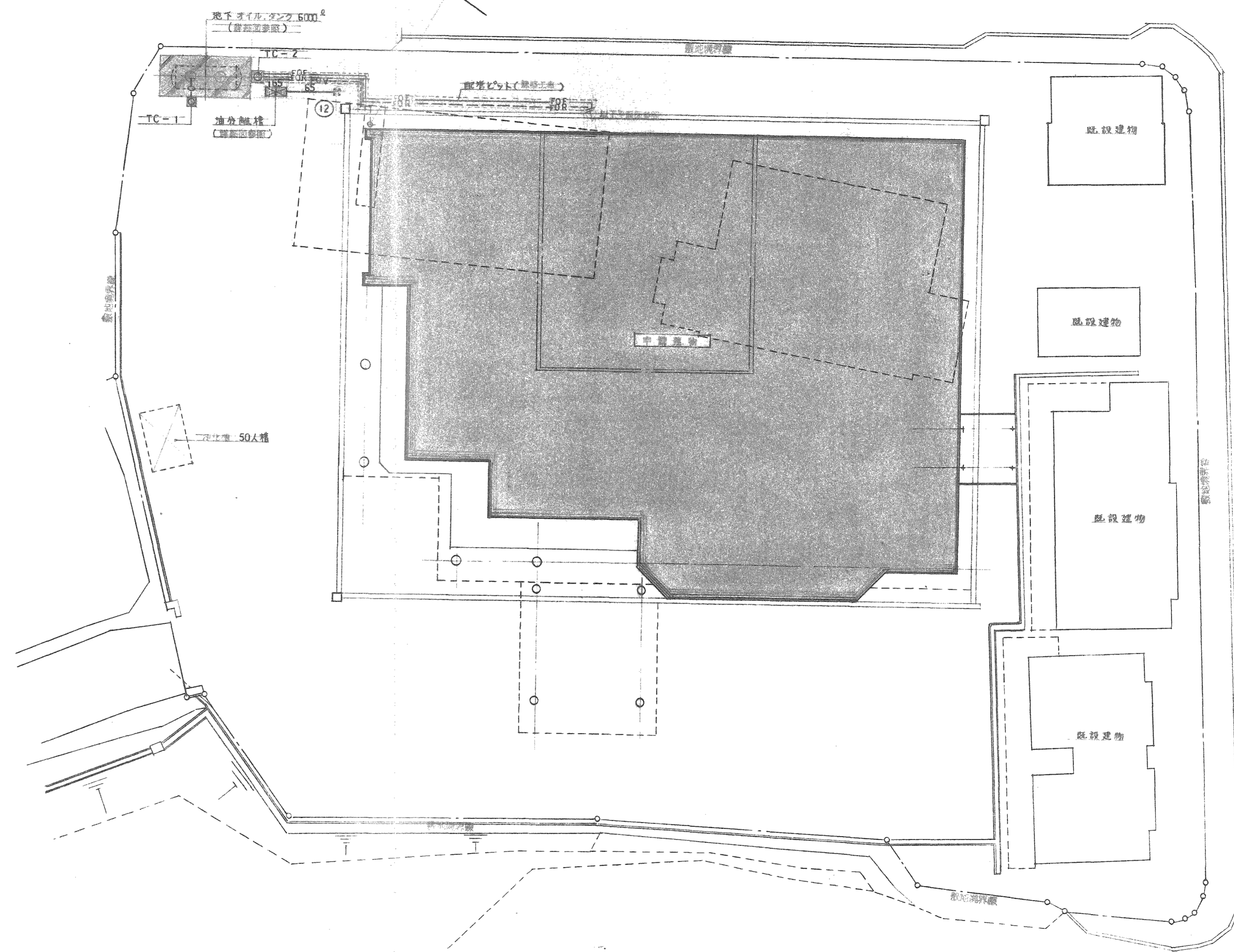
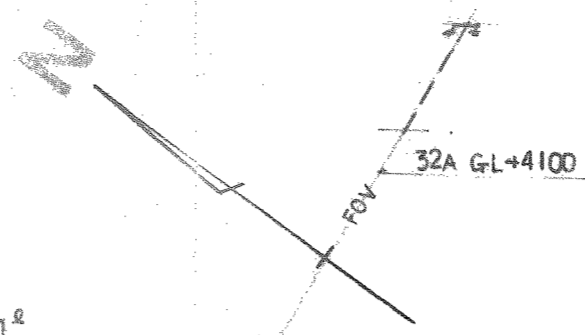
B - B S = 1/30

配筋表

スラグ	主筋配筋	径	D.13 @ 200 mm
ハース	"	"	"
壁	ウエブ	径	D.10 @ 200 mm
基礎筋	S-D.13		
	HOOP		D.10 @ 100

開口補強筋	2-D.13 LK 2本ツツ
スラグ補強	径-径 3-D.16 補強

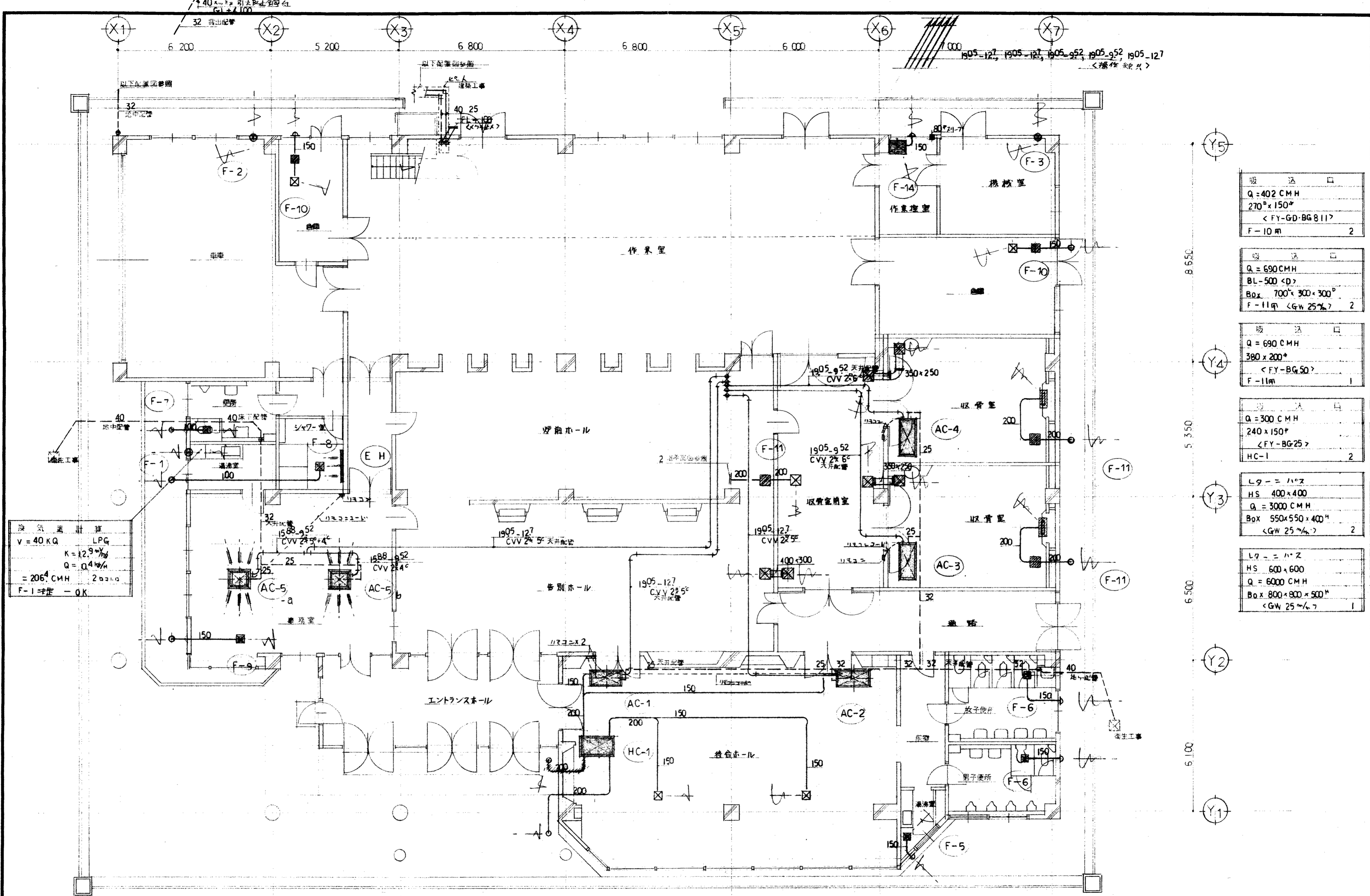
躯体コンクリート	$F_c = 210 \text{ kg/cm}^2$
床版コンクリート	$F_c = 180 \text{ kg/cm}^2$
底コンクリート	$F_c = 135 \text{ kg/cm}^2$
鉄筋	SD-30
砕石	$\phi \sim 40 \text{ mm}$



配管図 S=1:200

機 器 表

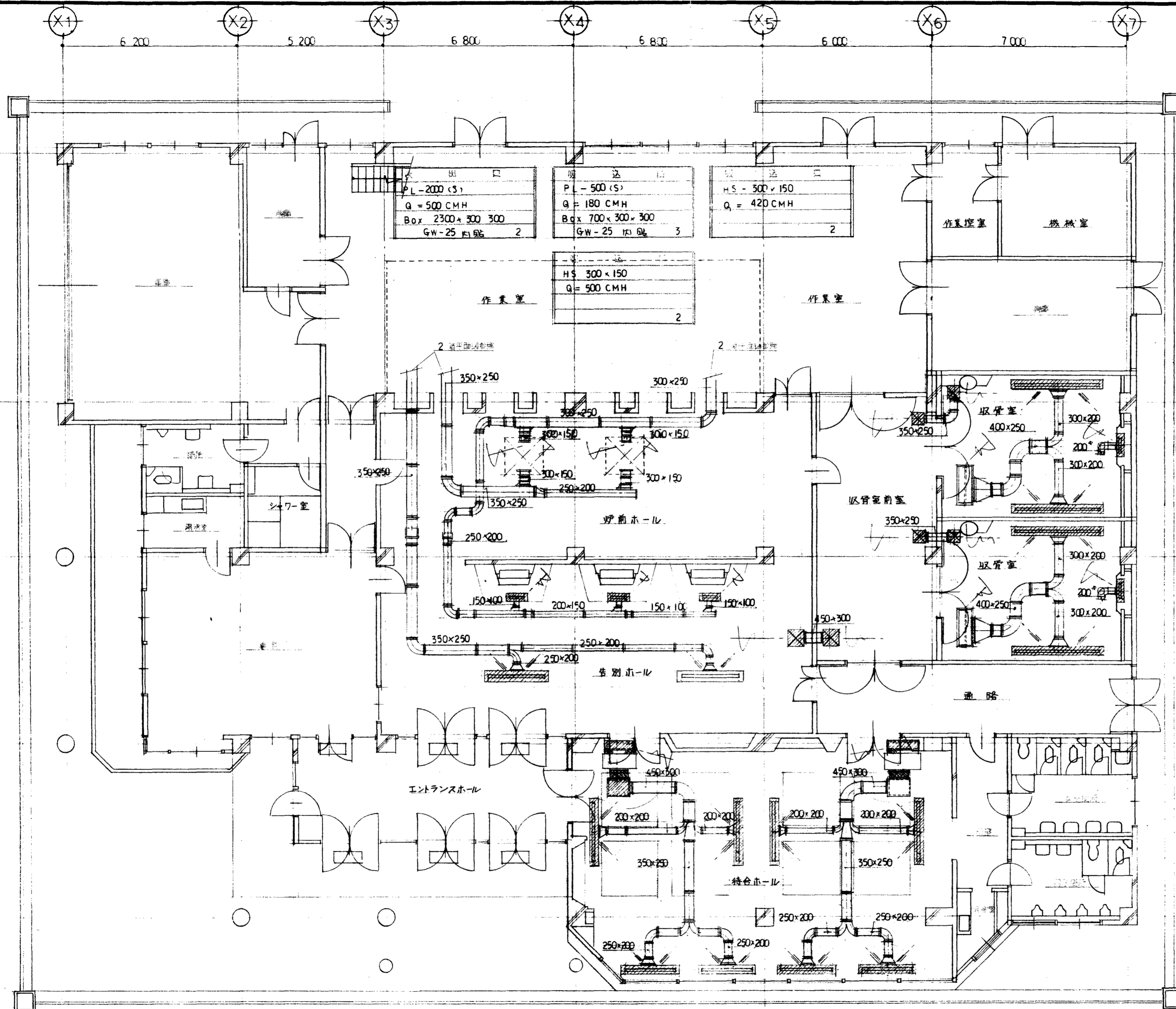
記号	機器名称	機器型式	機 器 仕 様	(系 統) 設置場所	台数	電 動 機			基礎・架台	備 考
						相	電圧	出力		
AC-1 ~2	空調機	空調ヒートポンプ 天埋ダクト型	C=11200kcal/h ODU 1065 ^H ×1000×370 ^D H=12200 " IDU 360 ^H ×1300×650 ^D +E-HEAT<3kW> Q=2400 CMH P=15 mmHg	待合ホール	2	3φ	200V	OD-3.75+0.14kW ID-3.0+0.4kW	コンクリート; 400 ^H <建築工事> 架台: 600 ^H	
AC-3 ~4	空調機	空調ヒートポンプ 天井カセット型	C=9000kcal/h ODU 1065 ^H ×830×370 ^D H=9600 " IDU 290 ^H ×1500×700 ^D <K-9-L2> Q=1620 CMH P=8 mmHg	収音室	2	3φ	200V	OD-2.5+0.14kW ID- 0.115kW	コンクリート; 400 ^H <建築工事> 架台: 600 ^H	
AC-5	空調機 <ツイニタイ>	空調ヒートポンプ 天井カセット型	C=12500kcal/h ODU 1065 ^H ×1000×370 ^D H=13500 " IDU 290 ^H ×850×900 ^D ×2 +E-HEAT<2×2> Q=1200×2 CMH	事務室	1	3φ	200V	OD-4.1+0.16kW ID-(2.0+3.5)×2	コンクリート; 400 ^H <建築工事> 架台: 600 ^H	
HC-1	熱交換機ユニット	全熱/顕熱/換気	Q=600.800 CMH <蓄熱式風方式> 200 ^φ ダクト	待合ホール	1	1φ	100V	470 ^W		
HC-2	熱交換機ユニット	全熱/換気	Q=800.1000 CMH <蓄熱回転式> 300 ^φ ダクト P=9~19 mmHg	作業室	1	1φ	100V	715 ^W		
F-1	送風機	金属製	250 ^φ ×882 CMH SUS 7-ド・木枠 電気式	会議室	1	1φ	100V	25.5 ^W		
F-2	送風機	スタンダード	250 ^φ ×900 CMH SUS 7-ド・木枠 電気式	廊下	1	1φ	100V	25 ^W		
F-3	送風機	有圧・低騒音形	300 ^φ ×1080 CMH SUS 7-ド・木枠 風圧ファン付	機械室	1	1φ	100V	25 ^W		
F-4	送風機	有圧・大風量形	300 ^φ ×1740 CMH SUS 7-ド・木枠 風圧ファン付	2F 機械室	2	1φ	100V	50 ^W		
F-5	天井扇	4-リブ形	320 ^φ ×516 CMH SUS セル7-ド 風圧式150 ^φ ダクト	会議室	1	1φ	100V	64 ^W		
F-6	天井扇	4-リブ形	270 ^φ ×261 CMH SUS セル7-ド 風圧式150 ^φ ダクト	男子トイレ 女子トイレ	2	1φ	100V	29 ^W		
F-7	天井扇	4-リブ形	170 ^φ ×84 CMH SUS 4-ドキャップ 風圧式100 ^φ ダクト	便所	1	1φ	100V	28 ^W		
F-8	天井扇	<スリル> 4-リブ形	240 ^φ ×135 CMH SUS 4-ドキャップ 風圧式100 ^φ ダクト	シャワー室	1	1φ	100V	22 ^W		
F-9	天井扇	4-リブ形	270 ^φ ×261 CMH SUS 4-ドキャップ 風圧式150 ^φ ダクト	事務室	1	1φ	100V	29 ^W		
F-10	中間ダクトファン	ミロココファン	200 ^φ ×402 CMH SUS <VC-S>×1 風圧式150 ^φ ダクト 満室吸込口 270 ^φ 付	廊下	2	1φ	100V	79 ^W		
F-11	中間ダクトファン	ミロココファン	230 ^φ ×690 CMH SUS <VC>×2.SFx1 風圧式200 ^φ ダクト	収音室他	3	1φ	100V	135 ^W		
F-12	中間ダクトファン	静音斜流ダクトファン	300 ^φ ×1260 CMH	作業室	1	1φ	100V	91 ^W		
F-13	中間ダクトファン	静音斜流ダクトファン	450 ^φ ×2400 CMH	〃	2	1φ	100V	228 ^W		
F-14	天井扇	台所用	270 ^φ ×261 CMH SUS セル7-ド 風圧式150 ^φ ダクト 7/15ファン付	作業室	1	1φ	100V	29 ^W		
E H	パネルヒーター	ガスヒート交換型	H=688 kcal/h 防湿加工 1355×250×45	シャワー室	1	1φ	100V	800 ^W		



換気量計算
 $V = 40 \text{ KQ}$ LPG
 $K = 12.9 \text{ m}^3/\text{kg}$
 $Q = 0.4 \text{ kg/h}$
 $= 206 \text{ CMH}$ 2台必要
 F-1 指定 - QK

- 吸込口
 $Q = 402 \text{ CMH}$
 $270 \times 150^*$
 <FY-GD-BG811>
 F-10 1台 2
- 吸込口
 $Q = 690 \text{ CMH}$
 $BL-500 <D>$
 $Box 700 \times 300 \times 300^*$
 F-11 1台 <GW 25%> 2
- 吸込口
 $Q = 690 \text{ CMH}$
 $380 \times 200^*$
 <FY-BG50>
 F-11 1台 1
- 吸込口
 $Q = 300 \text{ CMH}$
 $240 \times 150^*$
 <FY-BG25>
 HC-1 2台 2
- ラグ = ハズ
 $HS 400 \times 400$
 $Q = 3000 \text{ CMH}$
 $Box 550 \times 550 \times 400^*$
 <GW 25%> 2
- ラグ = ハズ
 $HS 600 \times 600$
 $Q = 6000 \text{ CMH}$
 $Box 800 \times 800 \times 900^*$
 <GW 25%> 1

1 階空調設備図 S=1:100



PL - 2000 (D)	Q = 810 CMH	Box 2300 x 350 x 350	GW-25 内貼	4
---------------	-------------	----------------------	----------	---

送風機	<X-Y仕機>	7x4.9-11	1740 x 630	2
-----	---------	----------	------------	---

PL - 1800 (D)	Q = 700 CMH	Box 2100 x 350 x 350	GW-25 内貼	4
---------------	-------------	----------------------	----------	---

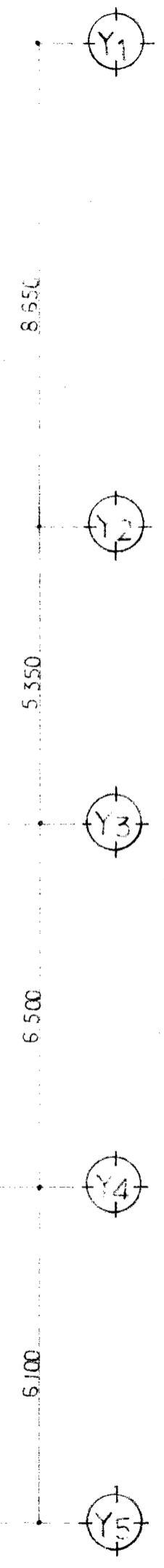
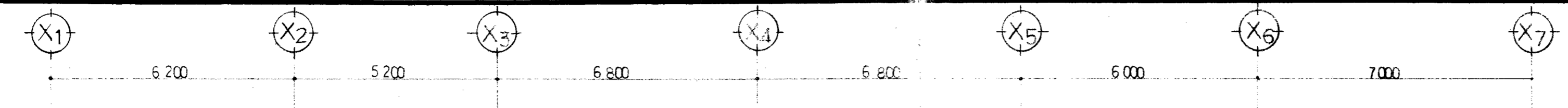
PL - 2000 (S)	Q = 500 CMH	Box 2300 x 300 x 300	GW-25 内貼	4
---------------	-------------	----------------------	----------	---

送風機	HS 1200 x 400 2層機	Q = 2400 CMH	7x4.9-11	Box 1400 x 600 x 500	GW-25 内貼	2
-----	-------------------	--------------	----------	----------------------	----------	---

S F ₀ = 1100	1100 x 600 x 500 H	GW-50 内貼	2
-------------------------	--------------------	----------	---

キャビネット	S - 1000 x 200 x 300 ⁺	R - 1200 x 300 x 150 ⁺	2
--------	-----------------------------------	-----------------------------------	---

1 階 空調設備図 (1/100)



給気ガラリ
2700 x 1000 ^H
Q = 10800 CMH
ファン付
アリス、北付
1

給気ガラリ
2700 x 1000 ^H
ファン付、中付付
アリス、北付
1

給気ファン
2700 x 1000 ^H x 600 ^D
GW-50% 内装
1

給気ファン
2700 x 1000 ^H x 600 ^D
中付付
GW-50% 内装
1

給気ガラリ
1500 x 1000 ^H
Q = 10800 CMH
ファン付
アリス、北付
1

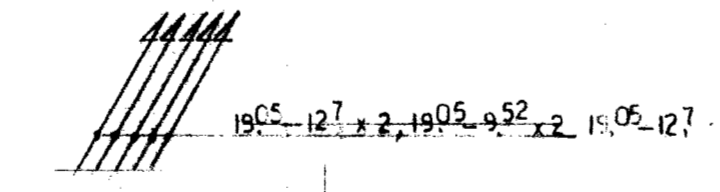
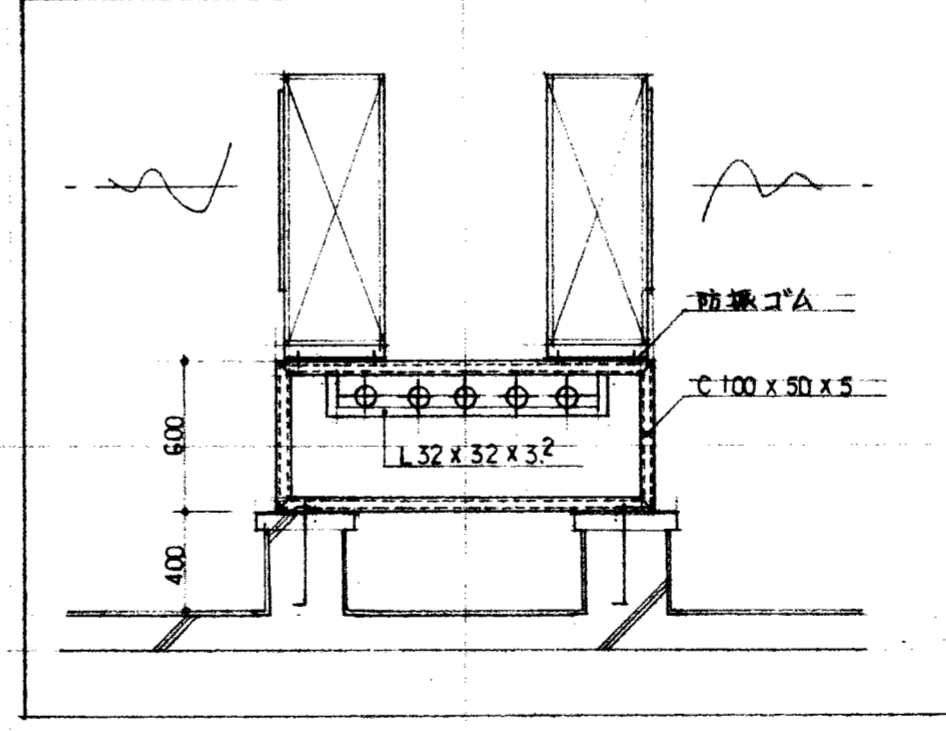
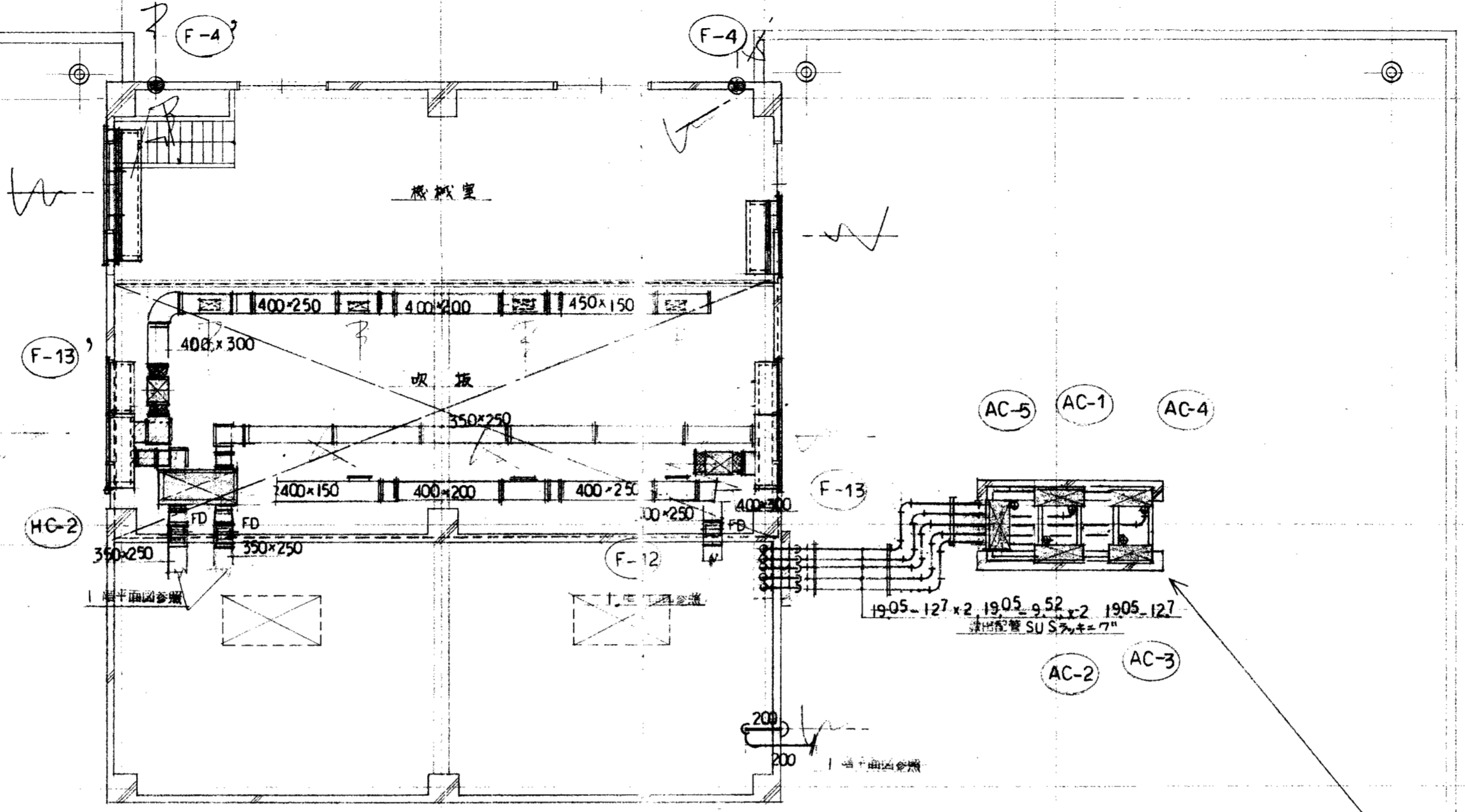
排気ガラリ
2700 x 1000 ^H
ファン付、中付付
アリス、北付
1

排気ファン
2700 x 1000 ^H x 600 ^D
GW-50% 内装
1

排気ファン
2700 x 1000 ^H x 600 ^D
中付付
GW-50% 内装
1

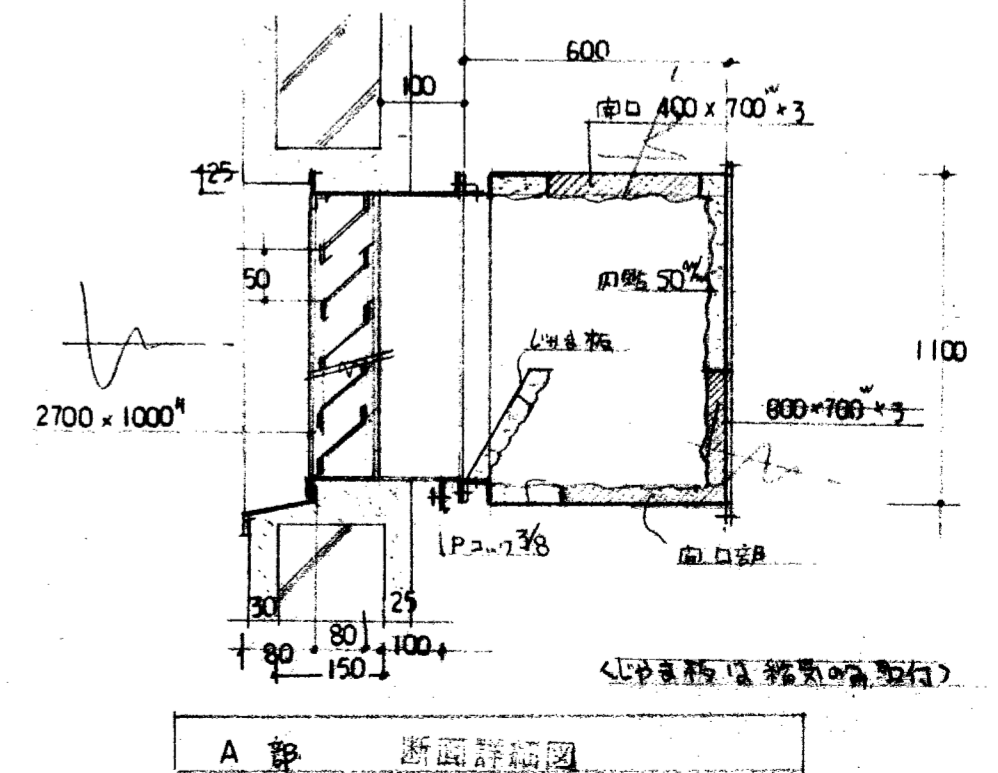
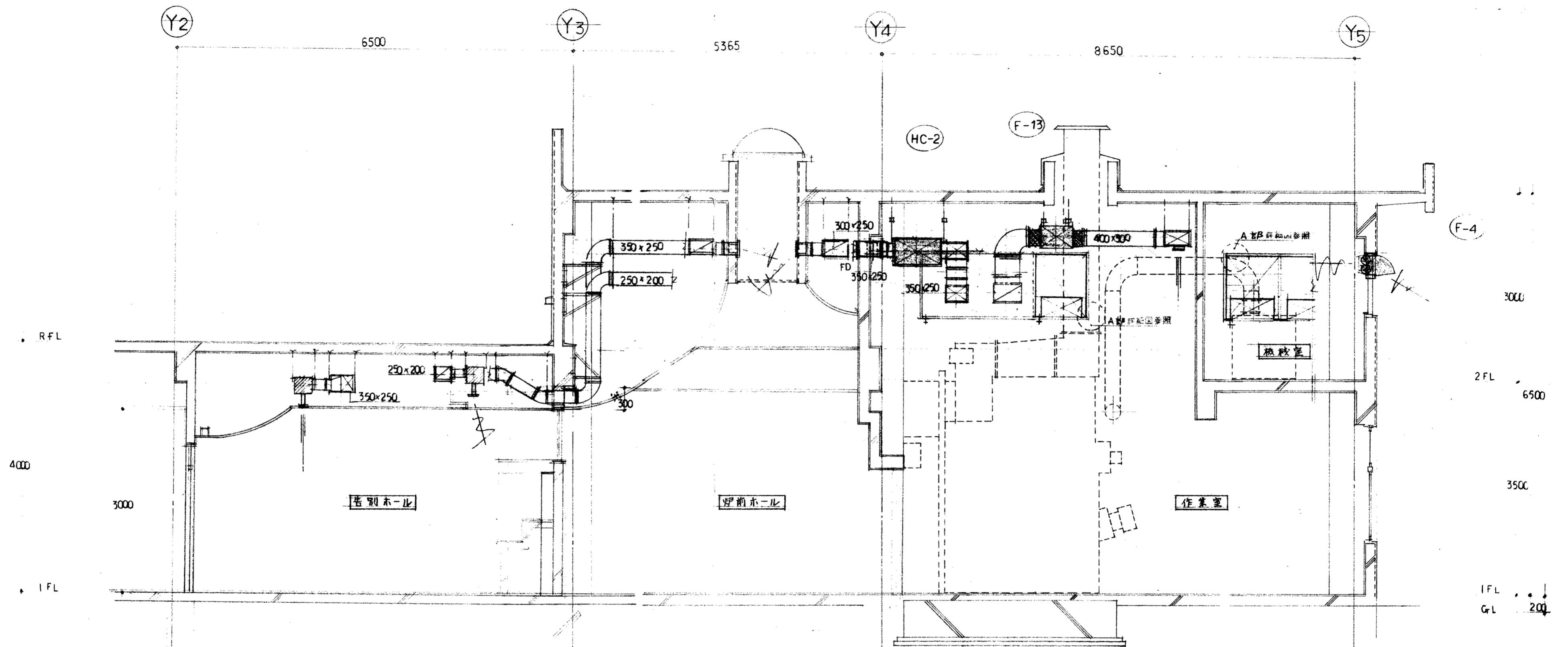
吸込口
VHS 300 x 150
Q = 600 CMH
4

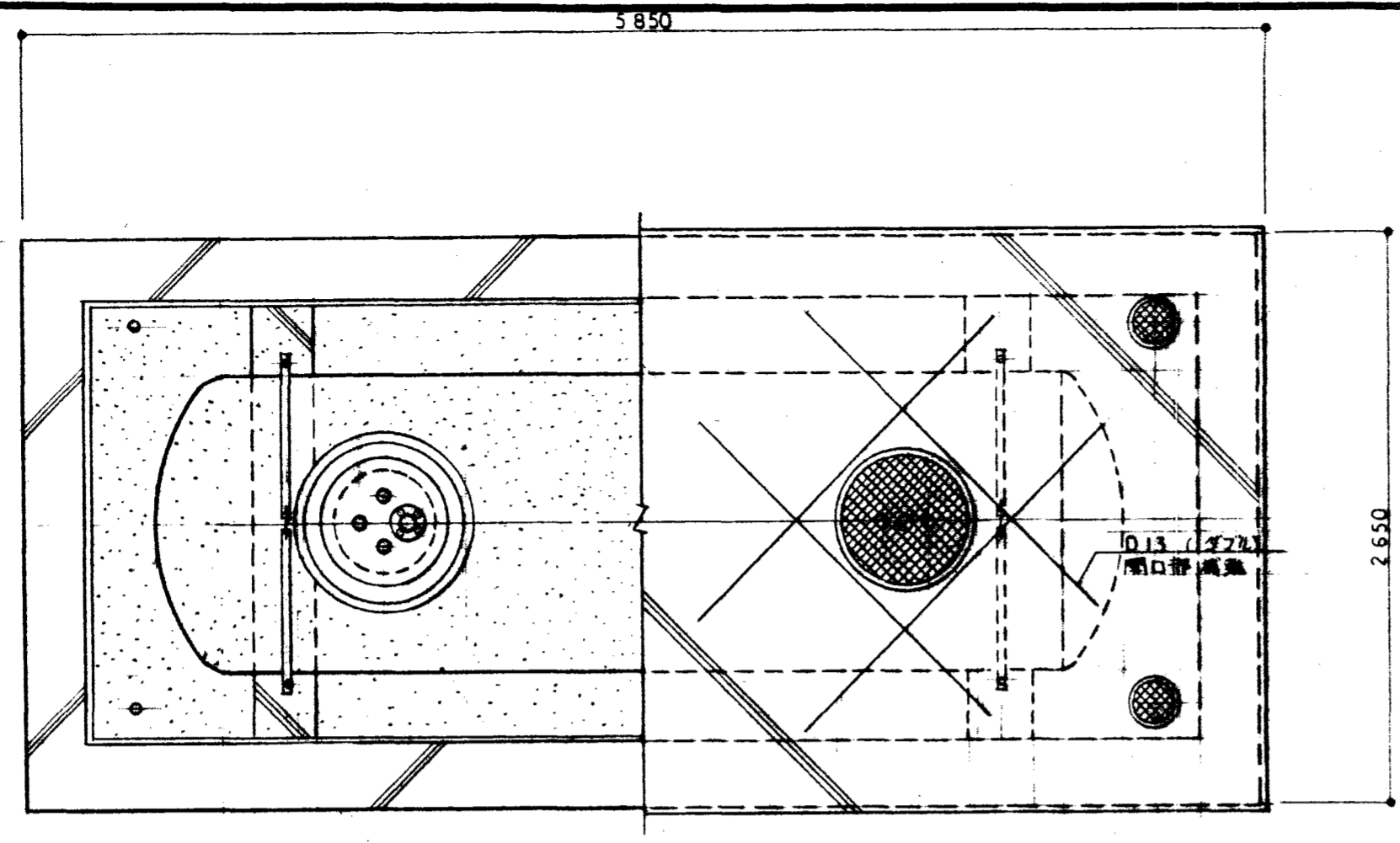
吸込口
HS 300 x 150
Q = 600 CMH
4



外気取り入れ/吐出 断絶部 壁厚11M以上
 吐出カットOP停止部

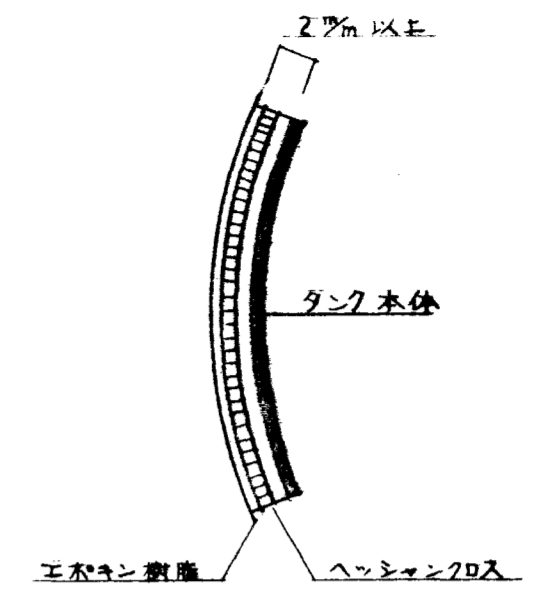
2 階 空調設備図 S=1:100





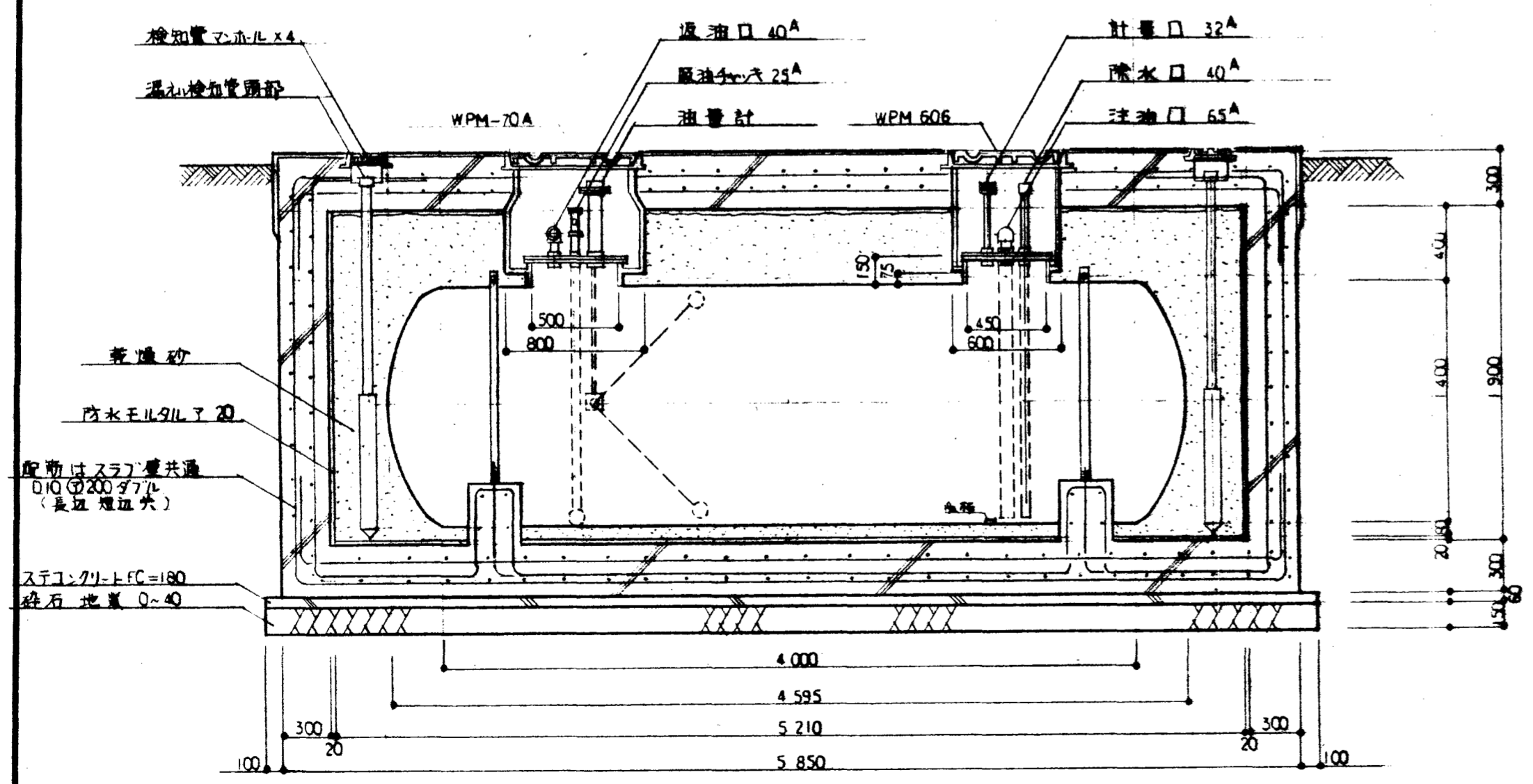
オイル地下タンク詳細図 S=1:30

オイル地下タンク仕様				
寸法	1400 x 4000 (4595)			
容量	6000 ^ℓ			
板厚	鋼	6.0	鏡	6.0
注油口	65	ストレー		
計量口	32			
汲油口	25	アングルチャッキ弁		
溢油口	40			
除水口	40			
通気口	32			
油面計取付口	100	ELL-5192G		
付属品				
プロテクター	800 ^ℓ x 700 ^ℓ x 1 600 ^ℓ x 1			
漏えい検知管及び小径	200 ^ℓ x 4 ^ℓ			
マンホール	600 ^ℓ x 1 700 ^ℓ x 1 (WPM)			
固定バンド	FB 50 x 6			



エポキシ樹脂塗リ

オイル地下タンク詳細図 S=1:30



オイル地下タンク詳細図 S=1:30

